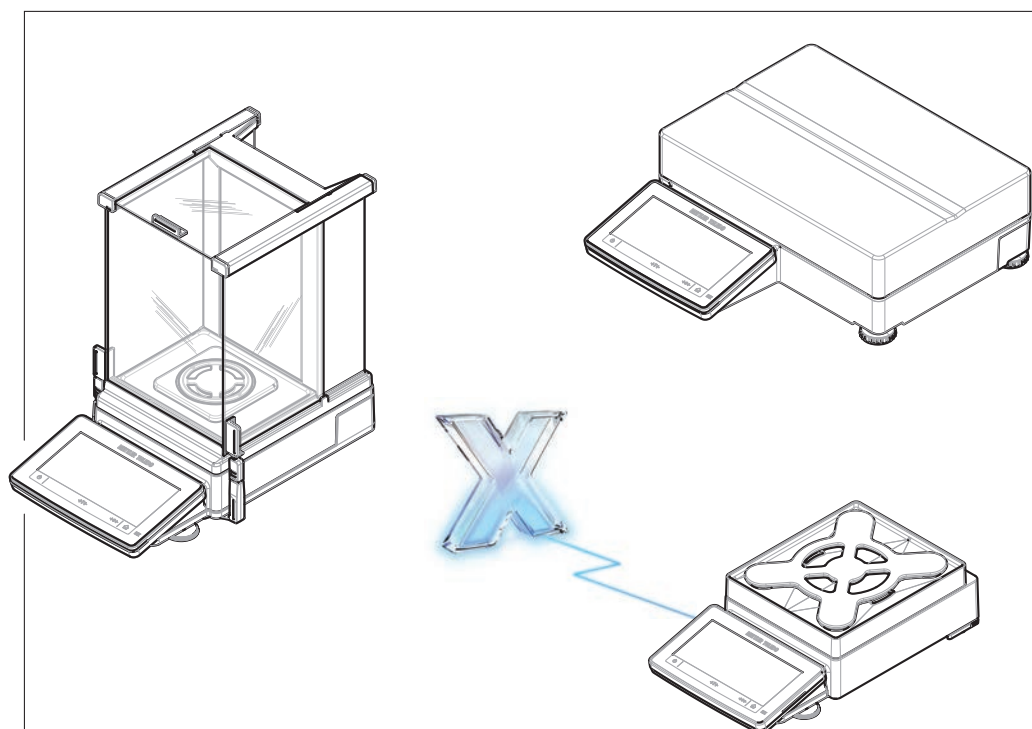




METTLER TOLEDO

目次

1	はじめに	9
1.1	ドキュメントの目的	9
1.2	その他の文書と情報	9
1.3	使用規則及びシンボルの説明	9
1.4	頭字語と略語	10
1.5	製品ライン	11
1.5.1	MX分析天びん	11
1.5.2	MX上皿天びん（小型）	12
1.5.3	MX上皿天びん（大型）	12
2	安全上の注意	13
2.1	注意喚起と警告記号の定義	13
2.2	製品固有の安全注記	13
3	機器構成と機能	15
3.1	分析天びんの概要	15
3.2	上皿天びん（小）の概要	16
3.2.1	風防を備えた天びん	16
3.2.2	風防の無い天びん	17
3.3	上皿天びん（大）の概要	18
3.4	端子の概要	18
3.5	インターフェース接続の概要	19
3.6	部品詳細	19
3.6.1	風防	19
3.6.2	計量皿	20
3.6.3	ドラフト保護エレメント	20
3.6.4	ドリフトトレイ	20
3.6.5	ドアハンドル	20
3.6.6	エルゴドアハンドル	21
3.6.7	水平調整脚	21
3.6.8	端子	21
3.6.9	風防用QuickLock	21
3.6.10	上部ドアとフロントパネル用QuickLock	22
3.6.11	サイドドア用QuickLock	22
3.6.12	バックパネル用リリースボタン	22
3.7	機器情報ラベルの概要	22
3.8	ユーザーインターフェース	23
3.8.1	メインセクションの概要	23
3.8.2	メイン計量画面	23
3.8.3	天びんメニュー	24
3.8.4	メイン設定	25
3.8.5	アプリケーション	25
3.8.6	アイコンおよび記号	26
3.8.6.1	システムステータスアイコン	26
3.8.6.2	計量ステータスアイコン	26
3.8.6.3	プロセスステータスアイコン	26

4	設置および準備	28
4.1	設置場所の選定	28
4.2	天びんの開梱	28
4.3	設置	29
4.3.1	風防を備えた天びん	29
4.3.2	風防の無い天びん	32
4.3.2.1	1 mg天びんの組み立て	32
4.3.2.2	0.01 g天びんの組み立て	32
4.3.2.3	0.1 g天びんの組み立て	32
4.3.3	天びん、大型	33
4.4	準備	33
4.4.1	天びんの接続	33
4.4.2	天びんの電源を入れる	34
4.4.3	天びんの水平調整	34
4.4.4	内部分銅調整の実行	35
4.4.5	スタンバイモードの開始/終了	35
4.4.6	省電力モードの開始 / 終了	35
4.4.7	天びんの電源を切る	36
4.5	機器をLabXに接続する	36
4.6	ログインとログアウト (LabXユーザ)	38
4.7	単純計量の実施	38
4.7.1	風防ドアの開閉	38
4.7.2	天びんのゼロ点設定	39
4.7.3	天びんの風袋引き	40
4.7.4	計量の実行	40
4.8	運搬、梱包、保管	40
4.8.1	近距離での天びんの運搬	40
4.8.2	天びんの長距離の運搬	41
4.8.3	梱包および保管	41
4.9	床下計量	42
5	操作	43
5.1	タッチスクリーン	43
5.1.1	アイテムの選択または起動	43
5.1.2	スクロール	43
5.1.3	フライインパネルを開く	43
5.1.4	文字と数字の入力	43
5.1.5	値の変更	44
5.1.6	スライド	45
5.2	天びんの一般設定	45
5.2.1	日付／時間／言語	45
5.2.2	画面/ステータスライト/音声	45
5.2.3	スタンバイ, 省電力モード	46
5.2.4	計量/品質	47
5.2.5	計量プロファイル	47
5.2.5.1	インジケータ	47
5.2.5.2	校正証明書	48
5.2.5.3	環境	48

5.2.5.4	計量モード	48
5.2.5.5	値リリース	48
5.2.5.6	計量結果の最小表示	49
5.2.5.7	最小正味重量	49
5.2.6	点検用分銅	49
5.2.6.1	LabXから点検用分銅を追加	49
5.2.6.2	各点検用分銅の作成	50
5.2.6.3	点検用組分銅の作成	50
5.2.6.4	点検用分銅の削除	51
5.3	計量アプリケーション	51
5.3.1	計量アプリケーションの概要	51
5.3.2	計量アプリケーションの一般設定	51
5.3.2.1	LabXからメソッドを選択	51
5.3.2.2	新規メソッドの作成	52
5.3.2.3	メソッドの削除	52
5.3.2.4	目標重量と公差の定義	52
5.3.2.5	サンプルIDの定義	53
5.3.2.6	計量アプリケーションの設定	54
5.3.2.7	計量シリーズの設定	54
5.3.2.8	自動化された機能の使用	55
5.3.2.9	レポートの設定	56
5.3.3	「一般計量」アプリケーション	56
5.3.4	「個数計算」アプリケーション	57
5.3.5	アプリケーション「チェック計量」	58
5.3.6	アプリケーション「ダイナミック計量」	59
5.3.7	アプリケーション「調合」	60
5.3.8	アプリケーション「合計」	62
5.3.9	アプリケーション「バック計量」	63
5.3.10	アプリケーション「密度」	63
5.3.11	「質量差測定」アプリケーション	64
5.4	調整	66
5.4.1	調整方法	66
5.4.2	調整の編集	66
5.4.3	内部分銅調整の実行	67
5.4.4	外部調整の実行	67
5.5	テスト	68
5.5.1	テストの編集	68
5.5.2	テストの実施	69
5.5.2.1	感度テスト	69
5.5.2.2	繰り返し性テスト	70
5.5.2.3	偏置誤差テスト	71
5.6	インタフェース	71
5.6.1	イーサネット	71
5.6.2	Bluetooth	72
5.7	デバイス／プリンタ	73
5.7.1	プリンタ	73
5.7.1.1	USBプリンタのインストール	73
5.7.1.2	RS232プリンタのインストール	74

5.7.1.3	Bluetooth経由のプリンタのインストール	74
5.7.2	バーコードリーダー	76
5.7.2.1	バーコードリーダーによるサンプルIDのスキャン	76
5.7.3	フットスイッチ	77
5.7.4	キーボード	77
5.7.5	デバイスの追加と削除	78
5.7.6	機器の設定の編集	78
5.8	サービス	78
5.8.1	サービスの設定	79
5.8.1.1	ファイルサーバー	79
5.8.2	サービスへのデータ転送	79
5.8.2.1	データの転送: ファイルサーバー	79
5.9	出力	80
5.9.1	データの印刷	80
5.9.1.1	USB経由で結果を手動で印刷	80
5.9.1.2	Bluetooth経由での結果の自動印刷	81
5.9.2	USBメモリへのデータのエクスポート	81
5.9.3	発行オプション	82
5.9.4	重量測定結果を表示するインジケータ	82
5.10	パスワード保護	83
5.10.1	パスワードのリセット	83
5.10.2	天びんのブロックと解除	83
6	ソフトウェアの説明	84
6.1	ローカル管理者の設定	84
6.1.1	履歴	84
6.1.1.1	サービス履歴	84
6.1.1.2	ソフトウェア更新履歴	84
6.1.1.3	エラーログ	85
6.1.2	情報	85
6.1.2.1	天びん情報	85
6.1.2.2	サービスおよびサポート情報	85
6.1.3	設定	85
6.1.3.1	設定: 天びん	86
6.1.3.1.1	設定: 日付 / 時刻	86
6.1.3.2	設定: インタフェース	86
6.1.3.2.1	設定: イーサネット	86
6.1.3.3	設定: LabX	87
6.1.4	メンテナンス	87
6.2	天びんメニュー設定	87
6.2.1	水平調整	87
6.2.2	履歴	88
6.2.2.1	サービス履歴	88
6.2.2.2	ソフトウェア更新履歴	88
6.2.2.3	エラーログ	89
6.2.3	情報	89
6.2.3.1	天びん情報	89
6.2.3.2	サービスおよびサポート情報	89

6.2.4	設定	89
6.2.4.1	設定: 天びん	90
6.2.4.1.1	設定: 計量/品質	90
6.2.4.1.2	設定: 計量プロファイル	90
6.2.4.1.3	設定: 点検用分銅	92
6.2.4.1.4	設定: 調整方法	93
6.2.4.1.5	設定: 出力	93
6.2.4.1.6	設定: 日付/時間/言語	94
6.2.4.1.7	設定: 画面/ステータスライト/音声	94
6.2.4.1.8	設定: 一般	95
6.2.4.2	設定: インタフェース	95
6.2.4.2.1	設定: イーサネット	96
6.2.4.2.2	設定: Bluetooth	96
6.2.4.3	設定: デバイス/プリンタ	97
6.2.4.4	設定: サービス	97
6.2.4.4.1	設定: ファイルサーバー	97
6.2.4.4.2	設定: CA証明書 / TLS	98
6.2.4.5	設定: LabX	98
6.2.5	メンテナンス	98
6.3	計量アプリケーションの設定	98
6.3.1	設定: 「一般計量」アプリケーション	98
6.3.1.1	メイン	99
6.3.1.2	ID形式	99
6.3.1.3	計量	100
6.3.1.4	オートメーション	101
6.3.1.5	レポート	101
6.3.2	設定: 「個数計算」アプリケーション	102
6.3.2.1	メイン	102
6.3.2.2	ID形式	103
6.3.2.3	計量	103
6.3.2.4	オートメーション	104
6.3.2.5	レポート	105
6.3.3	設定: アプリケーション「チェック計量」	105
6.3.3.1	メイン	105
6.3.3.2	ID形式	106
6.3.3.3	計量	106
6.3.3.4	オートメーション	107
6.3.3.5	レポート	108
6.3.4	設定: アプリケーション「ダイナミック計量」	108
6.3.4.1	メイン	108
6.3.4.2	ID形式	109
6.3.4.3	計量	109
6.3.4.4	オートメーション	110
6.3.4.5	レポート	110
6.3.5	設定: アプリケーション「調合」	111
6.3.5.1	メイン	111
6.3.5.2	ID形式	111
6.3.5.3	計量	112

6.3.5.4	オートメーション.....	112
6.3.5.5	レポート.....	113
6.3.6	設定: アプリケーション「合計」.....	113
6.3.6.1	メイン.....	113
6.3.6.2	ID形式.....	113
6.3.6.3	計量.....	114
6.3.6.4	オートメーション.....	115
6.3.6.5	レポート.....	115
6.3.7	設定: アプリケーション「バック計量」.....	115
6.3.7.1	メイン.....	116
6.3.7.2	ID形式.....	116
6.3.7.3	計量.....	117
6.3.7.4	オートメーション.....	118
6.3.7.5	レポート.....	118
6.3.8	設定: アプリケーション「密度」.....	118
6.3.8.1	メイン.....	119
6.3.8.2	ID形式.....	119
6.3.8.3	計量.....	120
6.3.8.4	レポート.....	120
6.3.9	設定: 「質量差測定」アプリケーション.....	121
6.3.9.1	メイン.....	121
6.3.9.2	ID形式.....	122
6.3.9.3	計量.....	123
6.3.9.4	オートメーション.....	123
6.3.9.5	レポート.....	124
6.4	調整設定.....	124
6.4.1	設定: 内部分銅調整.....	124
6.4.2	設定: 外部分銅調整.....	126
6.5	テスト設定.....	126
6.5.1	設定: 感度テスト.....	126
6.5.2	設定: 繰り返し性テスト.....	128
6.5.3	設定: 偏置誤差テスト.....	130

7	メンテナンス	132
7.1	メンテナンス作業.....	132
7.2	洗浄.....	132
7.2.1	清掃のために分解.....	132
7.2.1.1	風防を備えた天びん.....	133
7.2.1.2	風防の無い天びん.....	135
7.2.1.3	天びん、大型.....	135
7.2.2	洗浄剤.....	136
7.2.3	天びんの清掃.....	137
7.2.4	清掃後における機器の準備.....	137
7.3	サービス.....	138
7.4	ソフトウェアアップデート.....	138
7.4.1	ソフトウェアのアップデート.....	138
7.4.2	ソフトウェアアップデートの操作の準備.....	139
7.5	水平の調整.....	139

8	トラブルシューティング	140
8.1	エラーメッセージ	140
8.2	エラーの症状	142
8.3	LabXのトラブルシューティング	146
8.3.1	LabXセットアップメニューセクションへのログイン	146
8.3.2	日付と時刻に関連する設定の変更	146
8.3.3	イーサネットの設定	147
8.3.4	証明書のアップロード	147
8.3.5	LabXを無効にする	147
8.4	サポートファイルの保存	148
8.5	エラー修正後の稼働の準備	148
9	技術仕様	149
9.1	一般仕様	149
9.2	材料	150
9.3	電源供給メトラー・トレドAC/DC アダプタについて	151
9.4	モデル別仕様	152
9.4.1	分析天びん、最小表示 0.01 mg または 0.1 mg	152
9.4.2	上皿天びん、最小表示 1 mg	154
9.4.3	上皿天びん、最小表示0.01 g/0.1 g	156
9.4.4	上皿天びん、大型	159
9.5	寸法	160
9.5.1	分析天びん、最小表示 0.01 mg	160
9.5.2	MX分析天びん、最小表示 0.1 mg	161
9.5.3	MX上皿天びん、最小表示1 mg、風防付き	162
9.5.4	MX上皿天びん、最小表示 1 mg、風防なし	163
9.5.5	MX上皿天びん、最小表示0.01 g	164
9.5.6	MX上皿天びん、最小表示0.1 g	165
9.5.7	MX大型天びん、最小表示0.1 g/1 g	166
9.6	インターフェース仕様	167
9.6.1	イーサネット	167
9.6.2	USB-Aポート	167
9.6.3	USB-Cポート	168
9.6.4	Bluetooth	168
10	アクセサリとスペアパーツ	169
10.1	アクセサリ	169
10.2	スペアパーツ	176
10.2.1	MX分析天びん、最小表示 0.01 mg	176
10.2.2	MX分析天びん、最小表示 0.1 mg	177
10.2.3	MX上皿天びん、最小表示1 mg、風防付き	178
10.2.4	MX上皿天びん、最小表示 1 mg、風防なし	181
10.2.5	MX上皿天びん、最小表示0.01 g	183
10.2.6	MX上皿天びん、最小表示0.1 g	184
10.2.7	MX大型天びん、最小表示0.1 g/1 g	185
10.2.8	AC/DCアダプタ	186
10.2.8.1	AC/DCアダプタ	186
10.2.8.2	AC/DCアダプタ、ユニバーサル	187

10.2.9	パッケージング（梱包）	188
10.2.9.1	風防を備えた天びん	188
10.2.9.2	風防の無い天びん.....	189
10.2.9.3	天びん、大型.....	189
11	廃棄	190
12	コンプライアンス情報	191
	索引	193

1 はじめに

METTLER TOLEDOの天びんをお選びいただきありがとうございます。天びんは、高性能および使いやすさを兼ね備えています。

本書は、ソフトウェアバージョンV 2.0に基づいています。

EULA

本製品のソフトウェアは、METTLER TOLEDOソフトウェア用のエンドユーザーライセンス契約（EULA）に基づきライセンス許諾されています。

本製品を使用する場合は、EULAの条件に同意する必要があります。

▶ www.mt.com/EULA

1.1 ドキュメントの目的

本リファレンスマニュアルでは、ラボ用ソフトウェアLabXに接続した機器の使用方法について詳しく説明しています。

1.2 その他の文書と情報

この文書はオンラインで他の言語で利用可能です。



▶ www.mt.com/MX-LCM-RM

製品ページ：

▶ www.mt.com/MX-balances

天びんを清掃する手順、「8 Steps to a Clean Balance」：

▶ www.mt.com/lab-cleaning-guide

ソフトウェアの検索：

▶ www.mt.com/labweighing-software-download

ドキュメントの検索：

▶ www.mt.com/library

詳細については、METTLER TOLEDO 代理店またはサービス担当者にお問い合わせください。

▶ www.mt.com/contact

1.3 使用規則及びシンボルの説明

表示規則と記号

操作キーとボタンの名称や、表示文は、画像やボールドテキストとして表示してあります（例えば、**■**、**発行**）。

 注

製品についての役立つ情報。



外部文書を参照。

説明の要素

本マニュアルでは、段階的な説明を次のように示しています。例で示されているように、作業ステップには番号が付けられており、前提条件や中間結果、結果が含まれています。2ステップに満たない順序には、番号が付けられていません。

- 個々のステップを実行する前に満たす必要がある前提条件を、実行することができます。

1 ステップ1

➡ 中間結果

2 ステップ2

➡ 結果

1.4 頭字語と略語

元の用語	翻訳された用語	説明
AC		Alternating Current (交流)
ASTM		American Society for Testing and Materials (米国材料試験協会)
DC		Direct Current (直流)
EMC		Electromagnetic Compatibility (電磁両立性)
FCC		Federal Communications Commission (連邦通信委員会)
GWP		Good Weighing Practice
ID		Identification (識別)
IP		Ingress Protection
LAN		Local Area Network (ローカルエリアネットワーク)
LED		Light-Emitting Diode (発光ダイオード)
LPS		Limited Power Source (有限電源)
MAC		Media Access Control (メディアアクセス制御)
NA		Not Applicable
OIML		Organisation Internationale de Métrologie Légale (国際法定計量機関)

RM	Reference Manual (リファレンスマニュアル)
SOP	Standard Operating Procedure (標準作業手順)
TDNR	Type Definition Number
UM	User Manual (ユーザマニュアル)
USB	Universal Serial Bus
USP	United States Pharmacopeia (米国薬局方)

1.5 製品ライン

1.5.1 MX分析天びん

天びん	モデル指定
	最小表示: 0.01 mg • MX105 • MX105DU • MX205DU
	最小表示: 0.1 mg • MX104 • MX204 • MX304

1.5.2 MX上皿天びん（小型）

天びん	モデル指定
	最小表示：1 mg 風防付き： • MX303 • MX603 • MX1203 風防なし： • MX303N • MX603N • MX1203N
	最小表示：0.01 g • MX2002 • MX4002 • MX6002 • MX6002DR • MX12002
	最小表示：0.1 g • MX6001 • MX8001

1.5.3 MX上皿天びん（大型）

天びん	モデル指定
	最小表示：0.1 g/1 g • MX12001L • MX16001L • MX32001L • MX32000L

2 安全上の注意

本機器には「「ユーザーマニュアル」」と「「リファレンスマニュアル」」の二つの文書が用意されています。

- さまざまな言語で用意されたユーザーマニュアルは、オンラインで入手できます。
- 本機器には、印刷版のユーザーマニュアルが付属します。
- リファレンスマニュアルはオンラインで入手可能です。マニュアルには、本機器の説明と使用方法が詳細に記載されています。
- いつでも参照できるように両方のマニュアルを保管してください。
- 本機器を第三者に譲渡する場合は、両方のマニュアルも含めてください。

本機器の使用にあたっては、必ずユーザーマニュアルとリファレンスマニュアルに従ってください。これらのマニュアルに従わずに使用した場合や、機器を改造した場合は、機器の安全性が損なわれる可能性があります。Mettler-Toledo GmbH は一切の責任を負いません。

2.1 注意喚起と警告記号の定義

安全上の注意には、安全に関する重要な情報が記載されています。安全上の注意に従わない場合、人身事故や機器の損傷、誤動作や測定結果の誤りの原因となります。安全上の注意には、次の注意喚起（注意を促す語）および警告記号が表示されています。

警告レベル

危険	回避しないと、死亡事故または重度の事故や重傷を招く恐れや、高い危険性を伴う状況に対して発せられます。
警告	回避しなければ死亡または重度の傷害を負う可能性がある中程度の危険。
注意	軽度または中度の傷害を負う可能性がある、軽度の危険。
注記	装置やその他の器物の損傷、誤動作や結果の誤り、データ喪失を招く可能性がある、軽度の危険。

警告記号



一般的な危険性



備考

2.2 製品固有の安全注記

使用目的

この機器は、熟練したスタッフが使用するように設計されています。装置は計量を目的としています。

Mettler-Toledo GmbH の同意なしにMettler-Toledo GmbH が指定した使用限界を超えた使用および操作はすべて、用途外とみなされます。

機器所有者の責任

機器の所有者とは、機器の法的所有権を有し、また機器を使用やその他の人が使用することの管理を行う、または法的に機器のオペレーターになるとみなされる人のことです。機器の所有者は、機器の全ユーザーおよび第三者の安全に責任があります。

Mettler-Toledo GmbHは、機器の所有者がユーザーに対して、仕事場で機器を安全に使用し、潜在的な危険に対応するための研修を行うことを想定しています。Mettler-Toledo GmbHは、機器の所有者が必要な保護用具を提供することを想定しています。

安全上の注意



警告

感電による死亡事故または重傷

通電部品に触れると負傷や死亡事故を招く恐れがあります。

- 1 機器にあわせて設計されている、METTLER TOLEDO電源ケーブルやAC/DCアダプタのみをご使用ください。
- 2 電源ケーブルをアース付き電源コンセントに接続します。
- 3 電気ケーブルと接続部材はすべて、液体や湿気から離れた場所に保管してください。
- 4 ケーブルと電源プラグに損傷がないことを確認し、損傷があれば交換してください。



注記

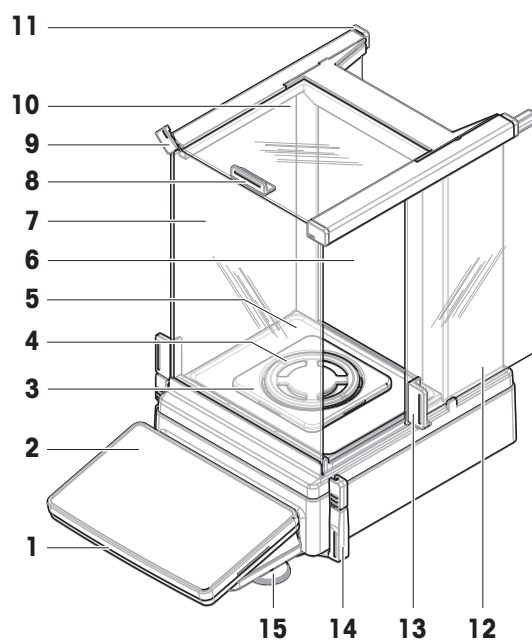
部品を正しく使用しないと機器の損傷や故障を招く恐れがある

- お使いの機器専用のMETTLER TOLEDOからの部品のみを使用してください。

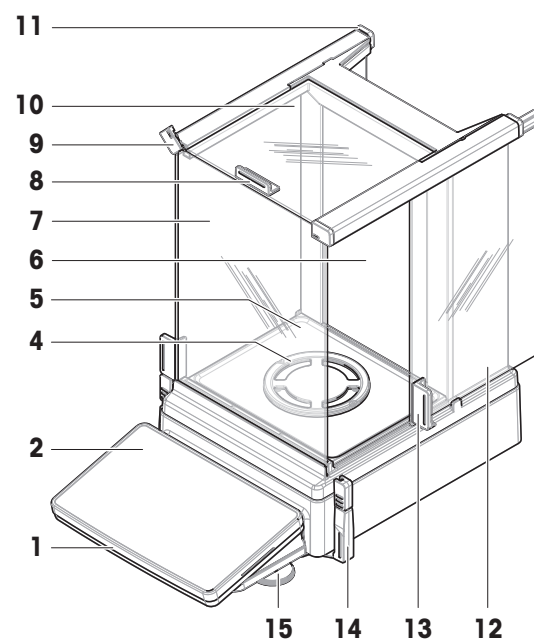
3 機器構成と機能

3.1 分析天びんの概要

0.01 mg



0.1 mg



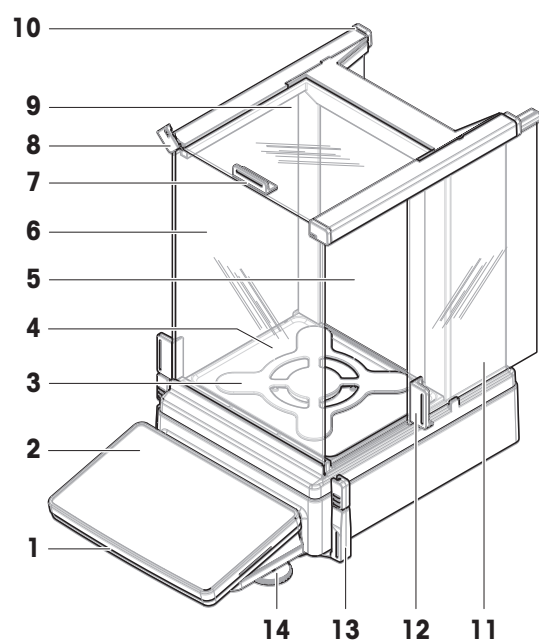
1	StatusLight	9	QuickLock、上部ドア / パネル
2	端子	10	上部ドア、風防
3	ドラフト保護エレメント	11	QuickLock、サイドドア
4	計量皿	12	サイドドア、風防 (右/左)
5	ドリップトレイ	13	ハンドル、サイドドア
6	背面パネル*、風防	14	ErgoDoor/ハンドル
7	フロントパネル、風防	15	水平調整脚
8	ハンドル、上部ドア		

* 最小表示 0.01 mg の天びんでは、背面パネルにバックライトがついています。

3.2 上皿天びん（小）の概要

3.2.1 風防を備えた天びん

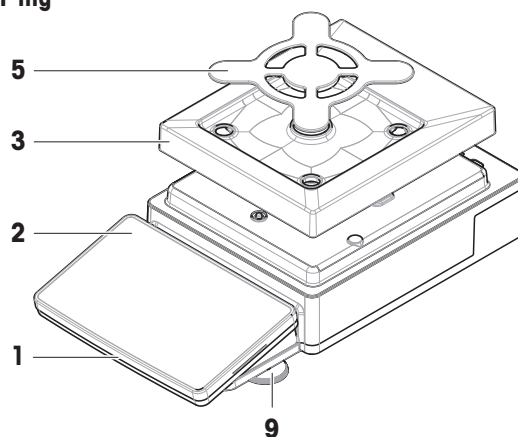
1 mg



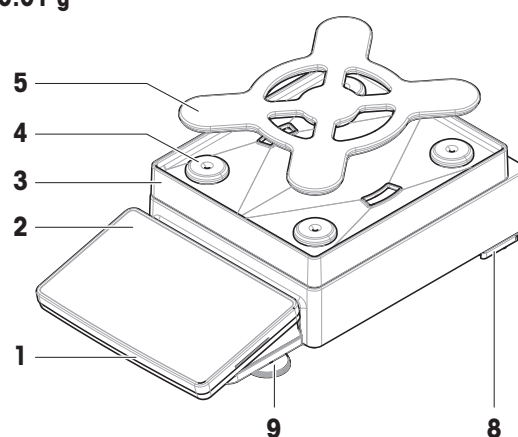
1	StatusLight	8	QuickLock、上部ドア / パネル
2	端子	9	上部ドア、風防
3	SmartPan 計量皿	10	QuickLock、サイドドア
4	ドリップトレイ	11	サイドドア、風防 (右/左)
5	バックパネル、風防	12	ハンドル、サイドドア
6	フロントパネル、風防	13	ErgoDoor/ハンドル
7	ハンドル、上部ドア	14	水平調整脚

3.2.2 風防の無い天びん

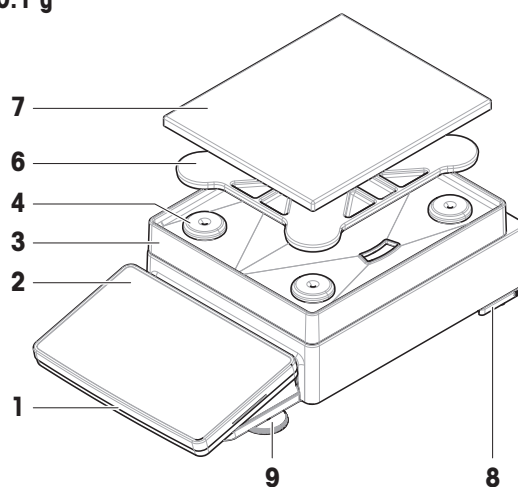
1 mg



0.01 g



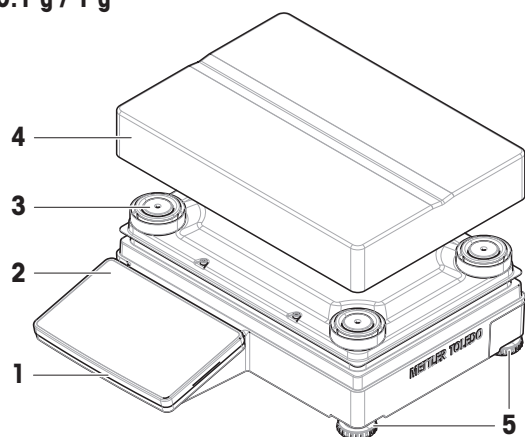
0.1 g



1	StatusLight	6	計量皿サポート
2	端子	7	計量皿
3	ドリップトレイ	8	サポート脚
4	計量皿サポートキャップ	9	水平調整脚
5	SmartPan 計量皿		

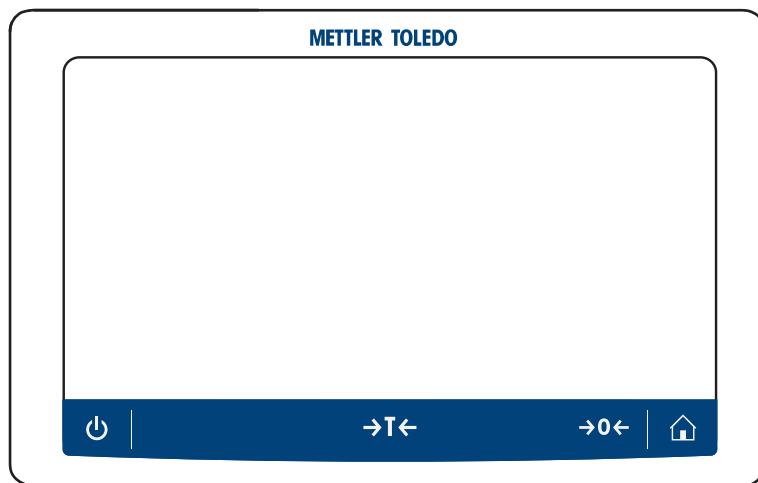
3.3 上皿天びん（大）の概要

0.1 g / 1 g



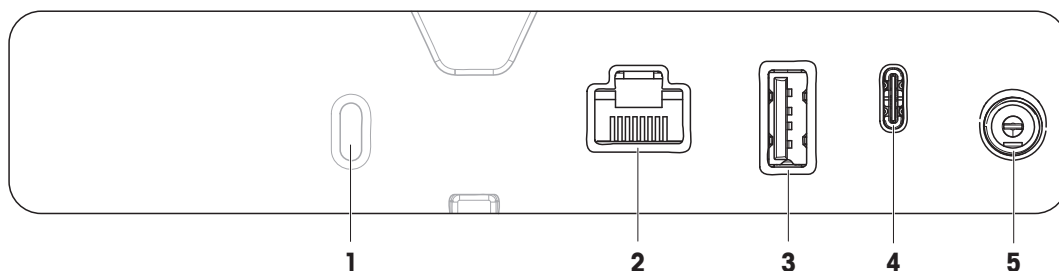
1	StatusLight	4	計量皿
2	端子	5	水平調整脚
3	計量皿サポートキャップ		

3.4 端子の概要



名前	製品名
⏻ スタンバイ / 省電力モード	⏻をタップすると、天びんはスタンバイモードになります。⏻をタップして長押しすると、天びんは省電力モードになります。天びんの電源を完全にオフにするには、電源から切り離す必要があります。 注 長期間天びんを使用しない場合を除き、天びんを電源から切り離さないでください。装置の電源を入れた後、正確な結果を出す前にウォームアップする必要があります。
→T← 風袋引き	天びんの風袋引きを行います。 この機能は、計量プロセスに容器を用いる場合に使用します。天びんの風袋引きが終了すると、スクリーンに、表示重量がすべて正味重量であることを示すNetが表示されます。
→0← ゼロ点設定	天びんのゼロ点を設定します。 計量プロセスを開始する前に、天びんを必ずゼロに設定します。天びんは新しいゼロ点を設定します。
🏠 ホーム	メニュー レベルの画面から計量のメイン画面に戻る

3.5 インターフェース接続の概要

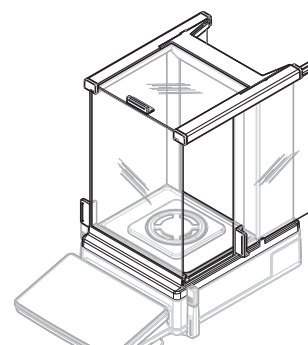


1	盗難防止ケーブル用スロット	4	USB-C ソケット
2	イーサネットポート (LAN)	5	AC/DCアダプタ用ソケット
3	USB-Aポート		

3.6 部品詳細

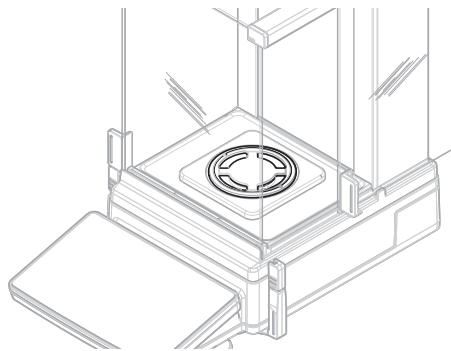
3.6.1 風防

風防は、風や水蒸気などの小さな環境的影響から計量エリアを保護します。サイドドアと上部ドアは、手動で開くことができます。



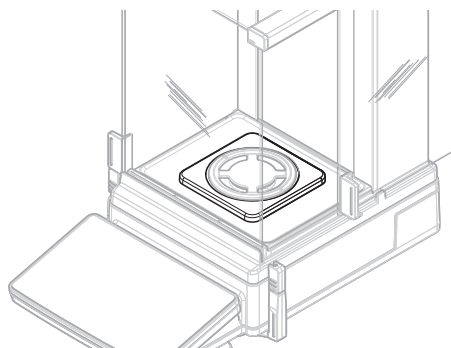
3.6.2 計量皿

計量皿は、荷重伝達装置で計量アイテムをのせるために提供されます。



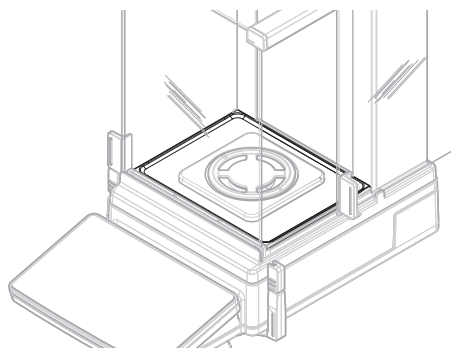
3.6.3 ドラフト保護エレメント

ドラフト保護エレメントが計量皿を通風から守ります。このエレメントは、最小表示 0.01 mg の天びんでのみ利用できます。



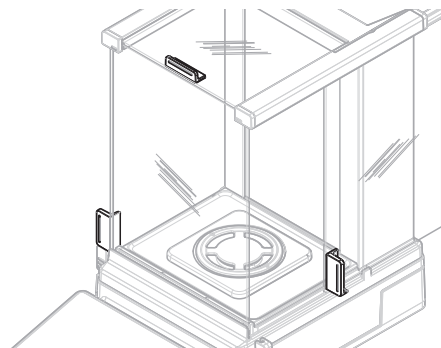
3.6.4 ドリップトレイ

ドリフトトレイは、計量皿の下に配置されています。ドリフトトレイの主な目的は、天びんの迅速なクリーニングを保证することです。



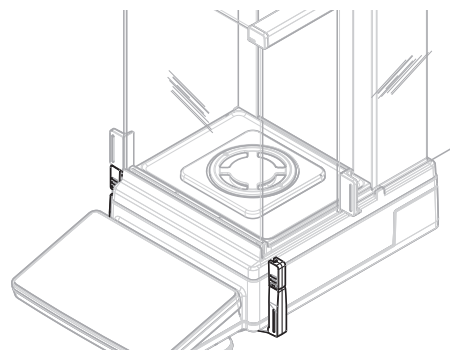
3.6.5 ドアハンドル

ドアハンドルは風防ドアに取り付けられています。ハンドルは、風防のサイドドアと上部ドアを手動で開くために使用します。



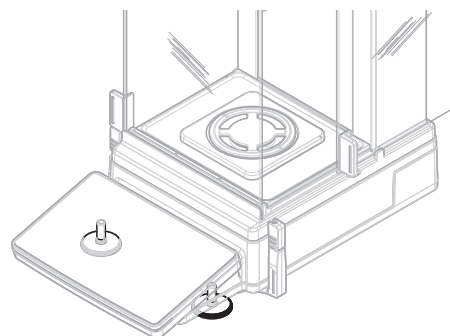
3.6.6 エルゴドアハンドル

ErgoDoorハンドルは、プラットフォームに取り付けられています。ErgoDoorハンドルは、サイドドアのハンドルと連動させることができます。これにより、必要に応じてサイドドアの開閉をカスタマイズできます。



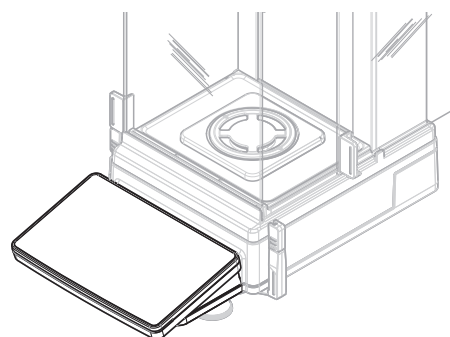
3.6.7 水平調整脚

天びんは、高さが調節可能な脚部の上に設置されます。これらの脚部は、天びんを水平にするために使用します。



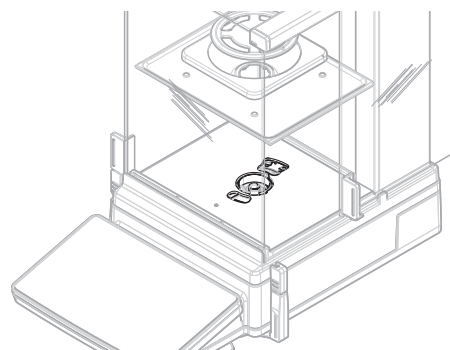
3.6.8 端子

天びん端子は7インチのタッチセンサー式ディスプレイを備えています。さらに、端子の前面には、天びんの現在の状態を示すStatusLightLEDストリップがあります。端子は付け外しが可能なカバーで保護されています。



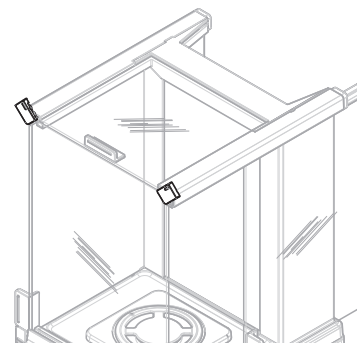
3.6.9 風防用QuickLock

風防用QuickLockは、風防をプラットフォームに固定するために使用します。



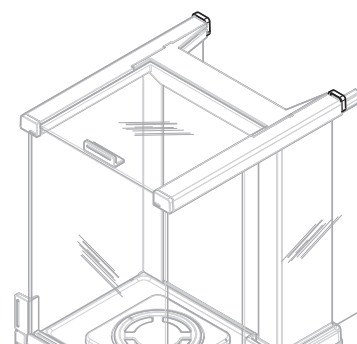
3.6.10 上部ドアとフロントパネル用QuickLock

位置に応じて、QuickLockは、風防の上部ドアと前面パネルをロック / ロック解除するために使用します。



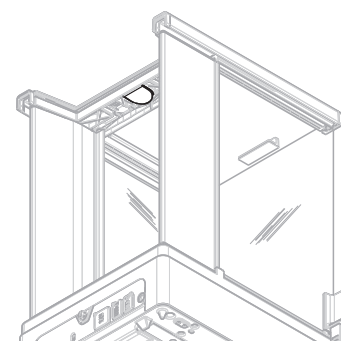
3.6.11 サイドドア用QuickLock

QuickLockは、風防のサイドドアをロック / ロック解除するために使用します。



3.6.12 バックパネル用リリースボタン

リリースボタンは、風防のバックパネルをロック / ロック解除するために使用します。この機能は、最小表示が 0.1 mg および 1 mg の天びんの風防でのみ利用できます。



3.7 機器情報ラベルの概要

機器情報ラベルの情報は天びんの識別に役立ちます。機器情報ラベルのレイアウトと内容は、天びんのモデルによって異なる場合があります。



1	天びんモデル	5	製造元
2	製造年度	6	天びんのシリアル番号
3	最大ひょう量	7	消費電力
4	最小表示		

3.8 ユーザーインターフェース

3.8.1 メインセクションの概要

メイン計量画面 (1) はすべてのメニューと設定を開くことができる中心的なナビゲーションポイントです。セクション **天びんメニュー** (2), **メイン設定** (3) およびアプリケーションセクション (4) は、該当するアイコンまたはタブをタップすると開きます。



以下も参照してください

- [メイン計量画面 ▶ 23 ページ](#)
- [天びんメニュー ▶ 24 ページ](#)
- [メイン設定 ▶ 25 ページ](#)
- [アプリケーション ▶ 25 ページ](#)

3.8.2 メイン計量画面



	名前	製品名
1	計量結果のプリントアウト	現在の計量プロセスの結果を表示します。
2	水準器	天びんが正しく水平調整されている (緑) かそうでない (赤) かを示します。
3	アプリケーション	使用可能なアプリケーションにアクセスします： 計量, 調整, テスト 。
4	最小表示およびひょう量	天びんの最小表示とひょう量を表示します。
5	追加情報	現在の活動に関する補足情報を表示します。 例：他のユニットにおける現在の計量値
6	情報および警告	情報、警告およびエラーメッセージを表示します。
7	機能領域	現在の計量アプリケーションの設定に従ってアクティブな機能を表示します。
8	発行 ボタン	現在の計量アプリケーションの設定に従って結果を発行します。 選択した計量アプリケーションによって、ボタンの機能は異なります。
9	アクションバー	現在の計量アプリケーションと関係する操作が含まれます。
10	天びんメニュー	天びんのプロパティを表示します。
11	SmartTrac	目標重量と許容範囲を設定するための計量支援として使用されます。
12	メイン設定	現在の計量アプリケーションの構成オプションにアクセスします。

3.8.3 天びんメニュー

機器がLabXに接続されている場合、使用可能な機能はわずかに異なる場合があります。



	名前	製品名
1	水平調整	水平調整ダイアログを開きます。
2	履歴	履歴ダイアログを開きます。
3	情報	天びん情報を開きます。
4	ユーザー管理	ユーザー管理ダイアログを開きます（有効な場合のみ表示）。
5	設定	設定ダイアログを開きます。
6	メンテナンス	メンテナンスダイアログを開きます。

	名前	製品名
7	ログアウト, ブロック	現在のユーザのログアウトと機器のブロックに使用します。

3.8.4 メイン設定

機器がLabXに接続されている場合、使用可能な機能はわずかに異なる場合があります。



	名前	製品名
1	メイン	メイン設定を開きます。
2	ID形式	サンプルID設定を開きます。
3	計量	計量設定を開きます。
4	オートメーション	自動化構成を開きます。
5	レポート	レポート設定を開きます。

3.8.5 アプリケーション



	名前	製品名
1	計量	利用可能な計量アプリケーションが含まれます。
2	調整	利用可能な調整が含まれます。
3	テスト	使用可能なテストが含まれます。

3.8.6 アイコンおよび記号

3.8.6.1 システムステータスアイコン

システムメッセージは、ユーザーアクション、ユーザー入力、またはシステムプロセスによって表示されます。アイコンをタップすると、対応するシステムメッセージが表示されます。

アイコン	名称	説明
	水平	天びんが正しく水平調整されているかどうかを示します。
	水平調整されていない	天びんが水平でないことを示します。
	情報	現在のアクションまたはプロセスに関する情報を提供します。
	警告	注意が必要な重要事項に関する情報を提供します。
	エラー	失敗したアクションまたはプロセスに関する情報を提供します。

3.8.6.2 計量ステータスアイコン

アイコン	名称	説明
	安定性インジケータ	計量プロセスが進行中であることを示します。計量結果がまだ安定していません。
	正味インジケータ	風袋重量を風袋引きした後に風袋キーを押すと表示されます。
	計算済みの値	現在の計量値が計算されました。このシンボルは、 プリセット風袋機能 を使用して天びんの風袋引きを行う場合にも表示されます。
	最小計量値に対する違反	現在の計量値は、定義された最小計量値より小さいです。分銅は最小計量値より重くなければなりません。

3.8.6.3 プロセスステータスアイコン

アイコン	名称	説明
	開始	プロセスを開始します。
	一時停止	プロセスを一時停止します

アイコン	名称	説明
	継続	一時停止したプロセスを継続します。
	追加	表示された結果を測定シリーズに追加します。
	完了	プロセスを完了します。
	停止	プロセスを停止します。

4 設置および準備

4.1 設置場所の選定

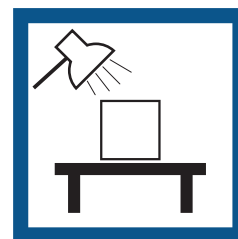
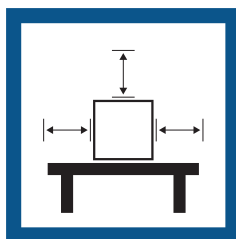
天びんは高感度の精密機器です。天びんが設置される場所によって、計量結果の精度に多大な影響を及ぼします。

据付場所の要件

室内の安定したテーブルに配置
十分な間隔を確保

機器を水平に調整

適切な明るさを確保

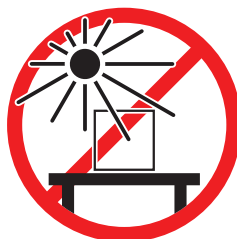


直射日光が当たらない

振動しない

強風に晒されない

温度変化が少ない



環境条件を考慮します。「技術データ」を参照してください。

天秤の十分な間隔：全方向に装置の周り > 15 cm

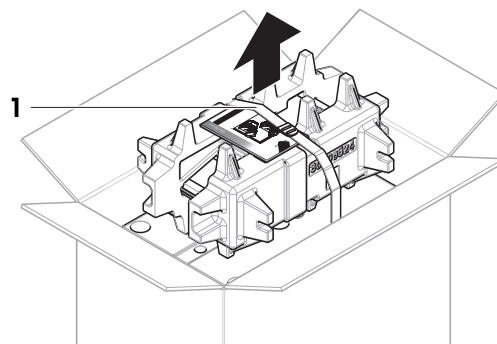
4.2 天びんの開梱

パッケージを確認して、抜けているものがないか、また損傷している部品がないか確認します。万が一部品が損傷している場合は、METTLER TOLEDO 代理店にお問い合わせください。

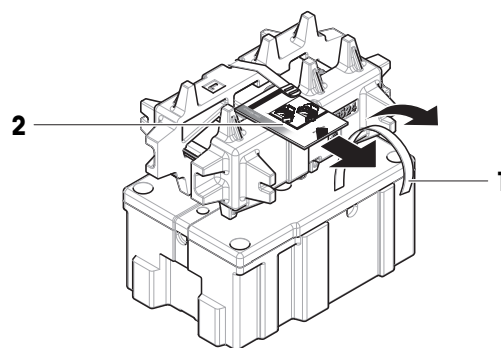
注

天びんのモデルによって、梱包材と部品の見た目が異なることがあります。

- 1 箱を開き、持ち上げストラップ(1)を使ってパッケージを取り出します。



- 2 持ち上げストラップ(1)を開いて、ユーザマニュアル(2)を取り外します。

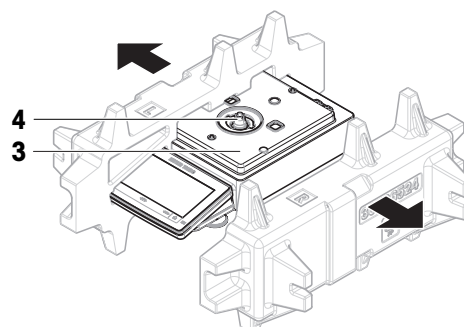


- 3 プラットフォームの上部を取り外し、注意して開梱します (3)。

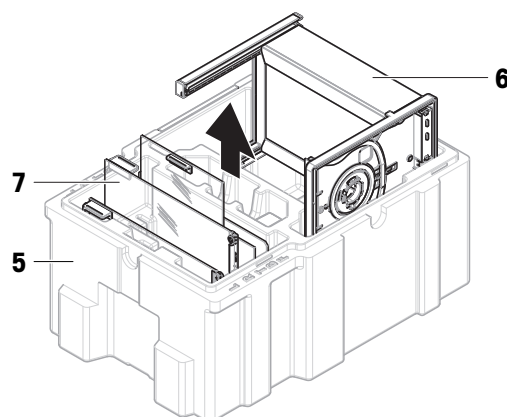
注記: 機器の損傷

プラットフォームから突き出ている円柱形部分 (4) に触れないでください。

- 4 保護バッグを取り外します。
5 保護カバーは、プラットフォーム上およびターミナルに取り付けたままにしてください。



- 6 パッケージ (5) の下部を開きます。
7 風防 (6)、風防ドア (7)、および他のすべてのアイテムを慎重に取り出します。
8 梱包されているすべての部品を、今後のために安全な場所に保管してください。
➡ 天びんを組み立てる準備ができました。



4.3 設置

注

天びんのモデルによって、見た目が異なることがあります。

4.3.1 風防を備えた天びん



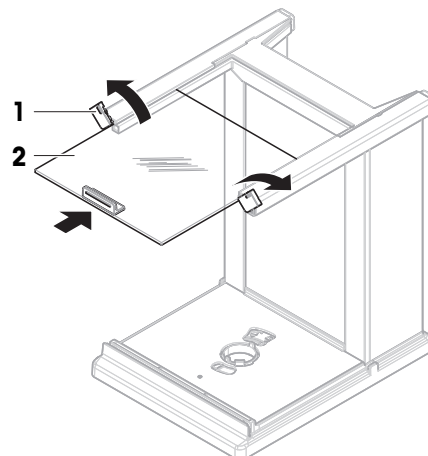
⚠ 注意

鋭い物体や破損したガラスによる負傷

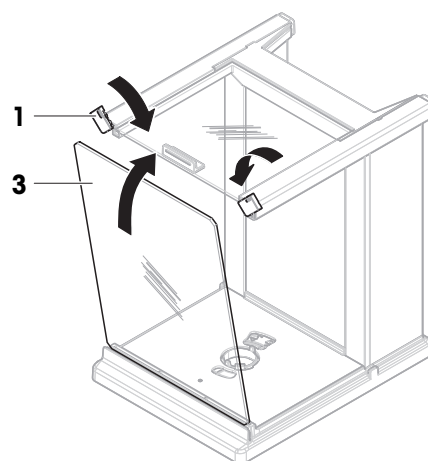
ガラスなどの機器コンポーネントが破損して負傷することがあります。

– いつも慎重に集中して行ってください。

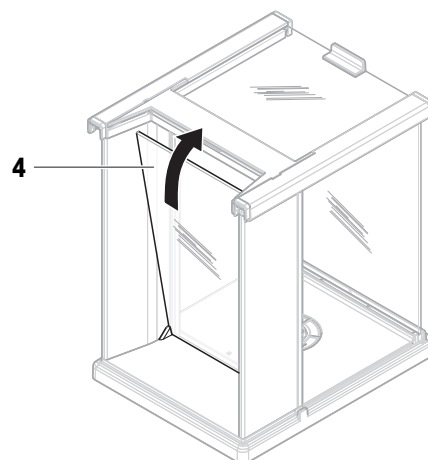
- 1 風防を組み立てます。QuickLock (1、右、左) を回し、上部ドア (2) をスライドさせます。



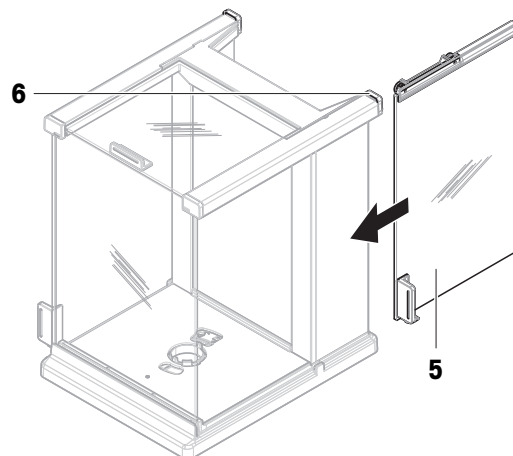
- 2 フロントパネル (3) を取り付け、次にQuickLock (1、右、左) を回してパネルを所定の位置に保持します。



- 3 バックライトなしの天びんの場合：滑らかな面を前方に向けて、背面パネル (4) を取り付けます。



- 4 サイドドア (5) をQuickLock (6) がパチンとはまるまで (右、左) 押し込みます。
➡ 風防が組み立てられました。

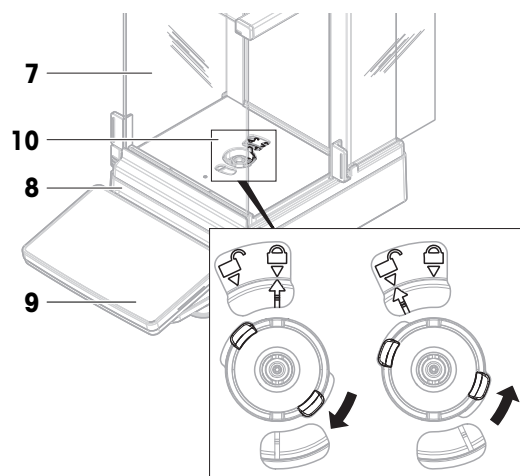


- 5 風防 (7) をプラットフォーム (8) の上に置きます。

注

天びんを保護するには、プラットフォーム (8) およびターミナル (9) に保護カバーを取り付けてください。

- 6 風防 (7) をプラットフォーム (8) に固定するため、QuickLock (10) を回します。

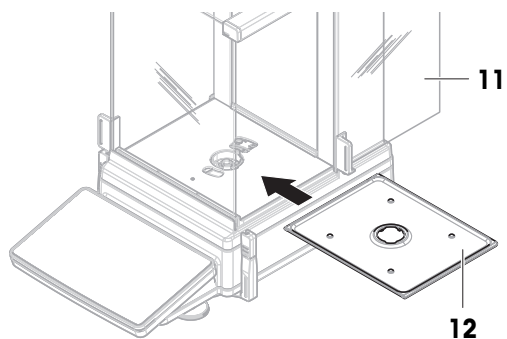


- 7 サイドドア (11) を完全に開きます。

- 8 ドリフトレイ (12) を挿入します。

注

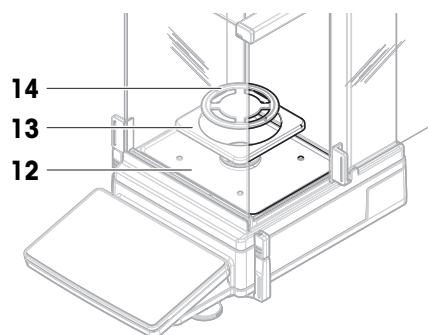
ドリフトレイを正しく設置できない場合は、QuickLock (10) が正しくロックされていることを確認します。



- 9 最小表示0.01 mgの天びんのみ：風防エレメント (13) をドリフトレイ (12) の上に置きます。

- 10 計量皿 (14) を取り付けます。

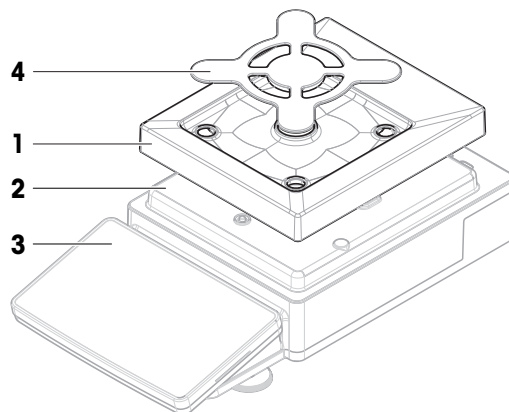
➡ 天びんは使用するための準備が整っています。



4.3.2 風防の無い天びん

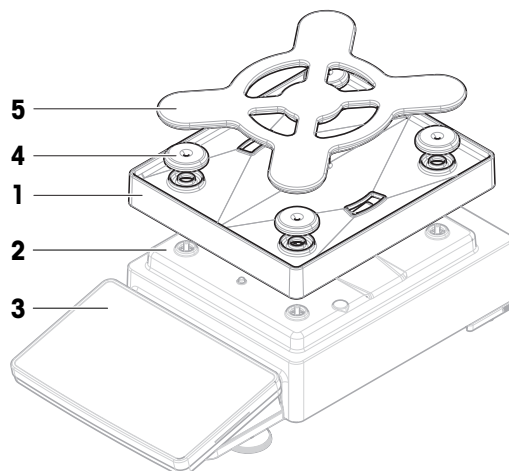
4.3.2.1 1 mg天びんの組み立て

- 1 ドリップトレイ (1) をプラットフォーム (2) の上に置きます。
[注]
天びんを保護するには、プラットフォーム (2) およびターミナル (3) に保護カバーを取り付けてください。
- 2 計量皿 (4) をドリップトレイ (1) の上に置きます。
➡ 天びんは使用するための準備が整っています。



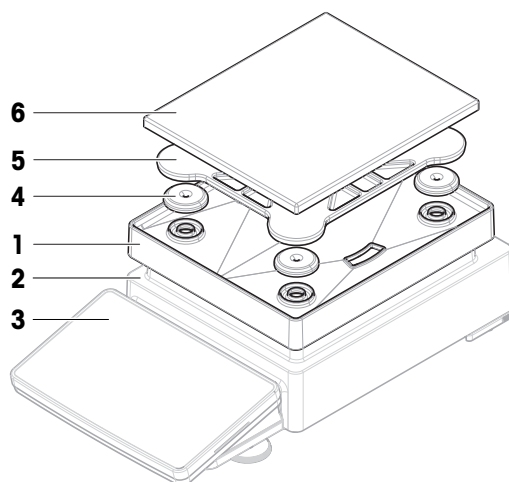
4.3.2.2 0.01 g天びんの組み立て

- 1 ドリップトレイ (1) をプラットフォーム (2) の上に置きます。
[注]
天びんを保護するには、プラットフォーム (2) およびターミナル (3) に保護カバーを取り付けてください。
- 2 サポートキャップ (4) を取り付けます。
- 3 計量皿 (5) をサポートキャップ (4) の上に置きます。
➡ 天びんは使用するための準備が整っています。



4.3.2.3 0.1 g天びんの組み立て

- 1 ドリップトレイ (1) をプラットフォーム (2) の上に置きます。
[注]
天びんを保護するには、プラットフォーム (2) およびターミナル (3) に保護カバーを取り付けてください。
- 2 サポートキャップ (4) を取り付けます。
- 3 計量皿サポート (5) を、計量皿サポートキャップ (4) の上に置きます。
- 4 計量皿 (6) を、計量皿サポート (5) の上に置きます。
➡ 天びんは使用するための準備が整っています。



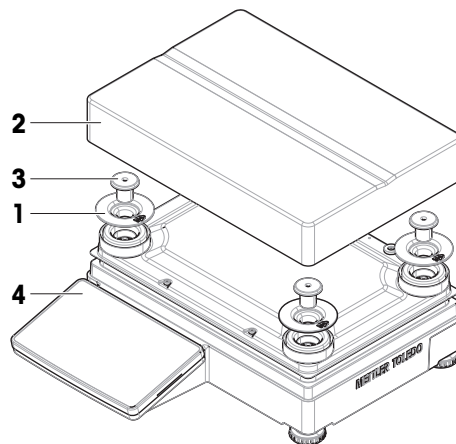
4.3.3 天びん、大型

- 1 運搬用ロック (1) を取り除きます。
- 2 計量皿(2)をサポートキャップ(3)の上に置きます。

[i] 注

天びんを保護するには、保護カバーをターミナル (4) に取り付けただままにします。

- ➡ 天びんは使用するための準備が整っています。



4.4 準備

4.4.1 天びんの接続



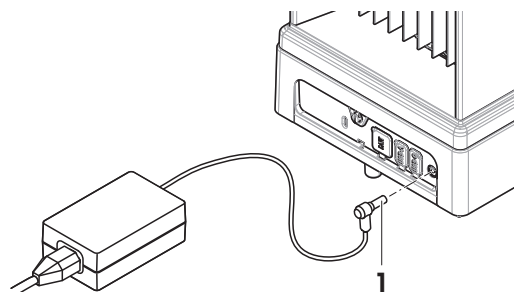
警告

感電による死亡事故または重傷

通電部品に触れると負傷や死亡事故を招く恐れがあります。

- 1 機器にあわせて設計されている、METTLER TOLEDO電源ケーブルやAC/DCアダプタのみをご使用ください。
- 2 電源ケーブルをアース付き電源コンセントに接続します。
- 3 電気ケーブルと接続部材はすべて、液体や湿気から離れた場所に保管してください。
- 4 ケーブルと電源プラグに損傷がないことを確認し、損傷があれば交換してください。

- 1 ケーブルは、破損しないように、また作業の妨げにならないように設置します。
- 2 AC/DCアダプターのプラグ (1) を装置の電源コンセントに差し込みます。
- 3 刻み付きナットを固く締めて、プラグを固定します。
- 4 電源ケーブルのプラグを、手の届きやすい場所にある接地付き電源コンセントに挿入します。
 - ➡ 天びんは自動的にオンになります。



[i] 注

装置をスイッチで制御されたコンセントに繋がないでください。装置の電源を入れた後、正確な結果を出す前にウォームアップする必要があります。

以下も参照してください

🔗 一般仕様 ▶ 149 ページ

4.4.2 天びんの電源を入れる

電源に接続すると、天びんは自動的にオンになります。

EULA (エンドユーザライセンス契約)

天びんの電源を最初にオンにしたとき、画面にEULA (エンドユーザライセンス契約) が表示されます。

- 1 条件を読みます。
- 2 次をタップし、**ライセンス契約の条項に同意します** 次を押して確定します： **✓ OK**.
➡ メイン計量画面が表示されます。

順応とウォームアップ

天びんが正確な測定を行うためには、以下が必要です。

- 室温に順応させる。
- 電源に接続してウォームアップする。

天びんの順応時間とウォーミングアップ時間については、「一般データ」で確認できます。

i 注

天びんがスタンバイモードを終了すると、すぐに使用できます。

以下も参照してください

🔗 一般仕様 ▶ 149 ページ

🔗 スタンバイモードの開始/終了 ▶ 35 ページ

🔗 省電力モードの開始 / 終了 ▶ 35 ページ

🔗 天びんの電源を切る ▶ 36 ページ

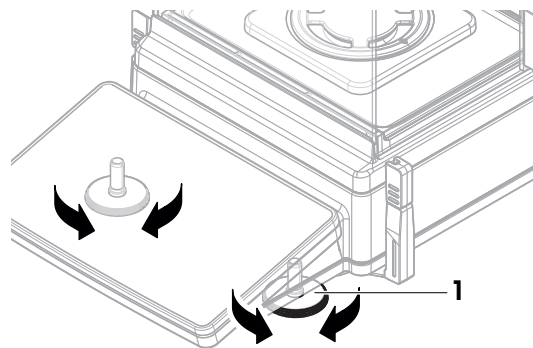
4.4.3 天びんの水平調整

確実に水平に安定して取り付けることは、繰り返し性と正確性を備えた測定結果を得る上での欠かせない条件です。

天びんが水平でない場合、メイン画面のレベルコントロールが赤くなります。

- 1 メイン計量画面で、🔴をタップします。
➡ ダイアログ **水平調整** が開きます。
- 2 レベルコントロールの中心にアライメントドットが来るまで、画面上の説明のとおり水平調整脚 (1) を回転させます。

ダイアログへの代替アクセス方法 **水平調整**:



≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ㊦ 水平調整

以下も参照してください

🔗 水平の調整 ▶ 139 ページ

4.4.4 内部分銅調整の実行

≡ ナビゲーション：▼ > ㊦ アプリケーション > ㊦ 調整

- 調整方法セクションで、内部調整オプションが選択されています。

- 1 オプション1: メイン計量画面で ㊦ 調整 をタップします。
オプション2: アプリケーションセクションを開き、㊦ 調整 をタップして、調整を選択し、▶ 開始 をタップします。
 - ➡ 調整が実施されました。
 - ➡ 調整結果が表示されます。
- 2 次をタップし、✓ 終了。
 - ➡ 天びんの準備ができています。

以下も参照してください

🔗 設定: 内部分銅調整 ▶ 124 ページ

4.4.5 スタンバイモードの開始/終了

- 1 スタンバイモードに入るには、⏻ を短く押します。
 - ➡ 表示が青色になります。天びんに関する詳細情報のQRコードが表示されます。
- 2 スタンバイモードを終了するには、⏻ を短く押します。
 - ➡ 表示がオンになります。

4.4.6 省電力モードの開始 / 終了

- 1 省電力モードに入るには、⏻ を長押しします（2 秒以上）。
 - ➡ 画面が暗くなります。天びんは省電力モードになっています。
- 2 省電力モードを終了するには、⏻ を長押しします。
 - ➡ 天びんの電源は入っています。

📘 注

節電時間を設定することをお勧めします。天びんは自動的に省電力モードを終了し、ウォームアップします。天びんは定義された時間で使用できます。

省電力モードを手動で終了した場合、天びんを使用する前にウォームアップする必要があります。

以下も参照してください

🔗 一般仕様 ▶ 149 ページ

🔗 スタンバイ, 省電力モード ▶ 46 ページ

4.4.7 天びんの電源を切る

天びんを完全に切るには、電源から切り離す必要があります。⏻を押すと、天びんはスタンバイモードまたは省電力モードに移行します。

注

天びんの電源を完全にオフにしてから、しばらく期間が経過したときは、使用できるようになる前にウォームアップをする必要があります。

以下も参照してください

-  天びんの電源を入れる ▶ 34 ページ
-  スタンバイモードの開始/終了 ▶ 35 ページ
-  省電力モードの開始 / 終了 ▶ 35 ページ

4.5 機器をLabXに接続する

ローカルアドミニストレータとLabX管理者

この手順は、ローカルアドミニストレータが実行します。この役割を持つ人も**LabXセットアップメニュー**セクションにアクセスできます。

LabX接続が設定されると、ユーザはLabX資格証明で機器にログインできます。LabXユーザは異なるアクセス権を持つことができます。LabX管理者の役割を持つユーザは、**LabXセットアップメニュー**セクションを除き、機器で使用可能なすべての設定にアクセスできます。

準備

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定

- 1 **設定 > インタフェース > イーサネット**セクションに移動します。
- 2 機能を有効にします。
- 3  **保存**をタップします。
 - ➡ **設定**セクションが表示されます。
- 4 **天びん > 日付／時間／言語**セクションに移動します。
- 5 **タイムゾーン**パラメータをタップします。
- 6 機能を有効にし、適切なタイムゾーンを選択します。
- 7  **OK**をタップします。
 - ➡ **日付／時間／言語**セクションが表示されます。
- 8 **時刻同期**パラメータをタップします。
- 9 機能を有効にし、目的のタイムサーバーを入力します。
例：time.windows.com
- 10 または、**同期モード**パラメータをタップして、**DHCP**オプションを選択します。
- 11  **OK**をタップします。
- 12  **保存**をタップします。
 - ➡ **設定**セクションが表示されます。
- 13 **天びん > 一般 > ユーザー管理**セクションに移動します。
- 14 機能を有効にします。
- 15  **OK**をタップします。

- 16 **✓ 保存**をタップします。
- 17 **✓ OK**をタップします。
- 18 **天びんメニュー > ユーザー管理 > ユーザ**セクションに移動します。
- 19 **Administrator**パラメータをタップします。
- 20 **パスワード**パラメータをタップします。
- 21 機能を有効にし、パスワードを設定します。
- 22 **✓ OK**をタップします。
- 23 確認のために、再度パスワードを入力します。
- 24 **✓ OK**をタップします。
- 25 **✓ 保存**をタップします。
- 26 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ これで機器をLabXに接続できます。

LabXに接続する

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ✖ LabX

- ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。
- 1 **設定 > LabX**セクションに移動します。
 - 2 **LabXセットアップと登録**オプションをタップします。
 - 3 画面に表示されるガイダンスに従います。
 - 4 ➡ **次へ**をタップします。
 - 5 **✓ OK**をタップします。
 - 6 **ドメイン名**パラメータをタップして、適切なドメイン名を入力します。
 - 7 該当する場合は、LabXサーバーとの通信に適したTLS証明書をアップロードします。
 - [i] 注**
証明書のファイル拡張子は.crtである必要があります。
 - 8 **✓ OK**をタップします。
 - 9 **✓ 接続**をタップします。
 - ➡ LabXログインダイアログが表示されます。
 - 10 LabXで定義されているLabXユーザ名とパスワードを入力します。
 - ➡ LabX登録プロセスが開始します。
 - 11 オプション：**機器名**パラメータをタップします。
 - 12 機器の名前を編集します。
 - 13 **✓ OK**をタップします。
 - 14 **機器ID**パラメータをタップします。
 - 15 機器の識別子を入力します。
 - 16 ➡ **次へ**をタップします。
 - 17 LabXに設定データをアップロードします。
 - 18 ➡ **次へ**をタップします。
 - 19 次をタップし、**✓ 終了**。
 - ➡ 機器が再起動します。

➡ 機器がLabXに登録されます。

以下も参照してください

[🔗 LabXのトラブルシューティング ▶ 146 ページ](#)

[🔗 ローカル管理者の設定 ▶ 84 ページ](#)

4.6 ログインとログアウト (LabXユーザ)

LabXへのログイン

- LabXはセットアップされています。
- LabXでユーザとして定義されています。
- 1 機器をオンにします。
 - ➡ LabXログイン画面が表示されます。
- 2 LabXユーザ名とパスワードを入力します。
- 3 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メイン計量画面が表示されます。

LabXからのログアウト

- LabXにログインしています。
- 1 **≡ メニュー**をタップします。
- 2 **👤 ログアウト**をタップします。
 - ➡ LabXログイン画面が表示されます。

4.7 単純計量の実施

i 注

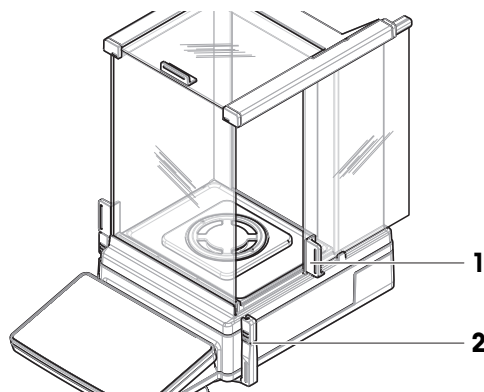
測定手順を説明するため、風防を装備した天びんを使用しています。風防を装備していない天びんの場合、風防に関する手順は省略してください。

4.7.1 風防ドアの開閉

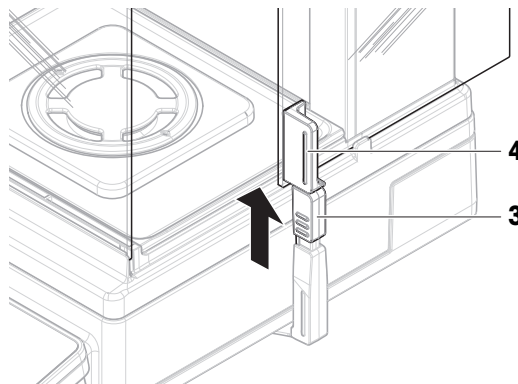
- 1 ドアハンドル (1) を使ってドアを手動で開けます。
- 2 または、ErgoDoorハンドル (2) を使用してサイドドアを開きます。

i 注

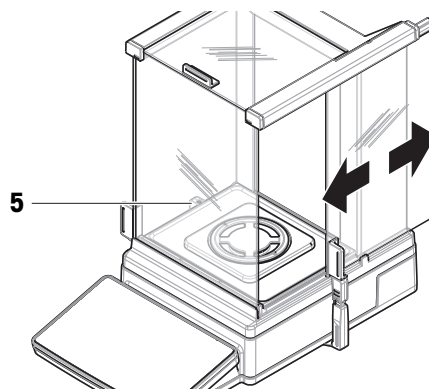
以下の説明では、右側からサンプルを計量する際の 1 つの使用事例について説明します。



- 3 ErgoDoorハンドル (3) を右側のドアハンドル (4) に接続します。



- 4 左側のErgoDoorハンドル (5) を動かして右側のドアを開いて閉じます。



以下も参照してください

[エルゴドアハンドル](#) ▶ 21 ページ

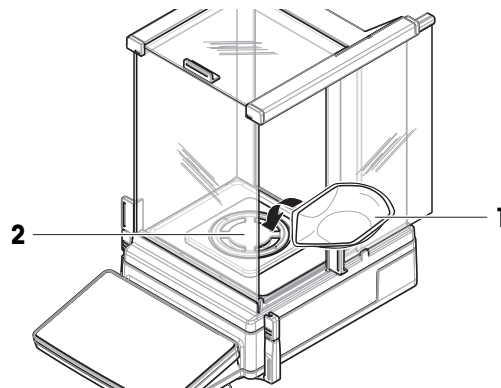
4.7.2 天びんのゼロ点設定

- 1 風防を開きます。
- 2 計量皿を空にします。
- 3 風防を閉じます。
- 4 **→0←**を押して天びんをゼロ点に戻します。
➡ 天びんがゼロ点に設定されます。

4.7.3 天びんの風袋引き

サンプル容器が使用される場合は、天びんを風袋引きする必要があります。

- 天びんがゼロ点に設定されます。
- 1 サンプル容器 (1) を計量皿 (2) に載せます。
- 2 →T←を押すと天びんの風袋引きが実施されます。
 - ➡ 天びんが風袋引きされます。アイコンNetが表示されます。



4.7.4 計量の実行

- 1 風防を開きます。
- 2 サンプル容器に被計量物をのせます。
- 3 風防を閉じます。
 - ➡ 結果が表示されます。
- 4 **■発行**をタップして計量結果を発行します。LabX
- 5 オプション（プリンタが接続されている場合）：**■発行**をタップして計量結果を印刷します。

4.8 運搬、梱包、保管

4.8.1 近距離での天びんの運搬



注記

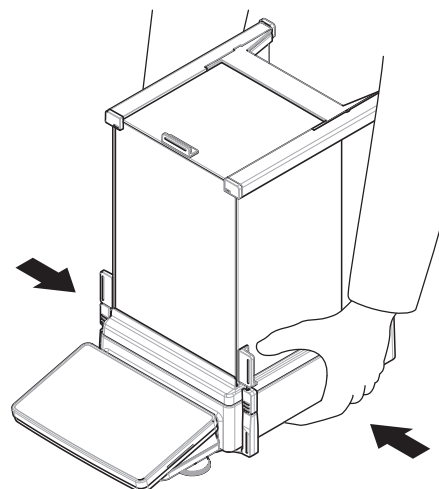
風防を取り外したことによるバックライトの点滅（最小表示0.01 mgの天びん）

プラットフォームを使用して、天びんを持ちます。風防を使用して天びんを持ち上げないでください。

- 1 AC/DCアダプターを外し、インターフェースケーブルをすべて抜きます。
- 2 天びんを両手で持ち、目的の位置まで水平に運びます。使用場所の要件を考慮してください。

天びんを使用できる状態にするには、次の手順を実行します：

- 1 逆の順序で接続します。
- 2 天びんがウォームアップするまで十分な時間待ちます。
- 3 天びんの水平調整を行います。
- 4 内部分銅調整を実施します。



以下も参照してください

- 🔗 設置場所の選定 ▶ 28 ページ
- 🔗 天びんの電源を入れる ▶ 34 ページ
- 🔗 天びんの水平調整 ▶ 34 ページ
- 🔗 内部分銅調整の実行 ▶ 35 ページ

4.8.2 天びんの長距離の運搬

METTLER TOLEDO 天びんや天びんの構成部品の長距離輸送または発送の際には、オリジナルの梱包材を使用することを推奨します。オリジナルの梱包材は、天びんとその構成部品に合わせて特別に開発されたものであり、輸送中に最善の保護を提供します。

以下も参照してください

- 🔗 天びんの開梱 ▶ 28 ページ

4.8.3 梱包および保管

天びんの梱包

全部の梱包材を安全な場所に保管してください。オリジナルの梱包材は、天びんとその構成部品に合わせて特別に開発されたものであり、輸送または保管に最善の保護を提供します。

天びんの保管

天びんは、必ず以下の条件下で保管してください：

- 室内で純正の梱包箱を使用
- 環境条件を遵守。「技術データ」をご参照ください。

i 注

保管期間が6か月を超えると、充電式バッテリーの充電が必要になっている可能性があります（日付、時刻のみリセットされます）。

以下も参照してください

- 🔗 技術仕様 ▶ 149 ページ

4.9 床下計量

計量作業テーブルの下で計量するために (床下計量作業)、天びんには計量フックが用意されています。

- 計量テーブルまたはワークベンチを利用することができ、そこから計量フックにアクセスすることができます。

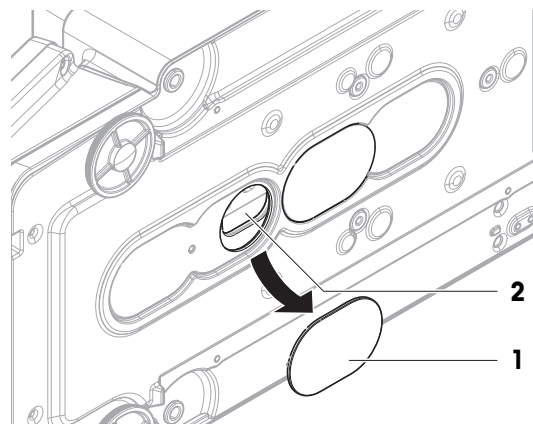
- 1 AC/DCアダプターから天びんを切断します。
- 2 すべてのインターフェイス ケーブルを取り外します。
- 3 天びんを慎重に横に傾けます。
- 4 計量フックカバー (1) を外します。

[i] 注

計量フックの位置は天びんモデルによって異なります。

➡ フック (2) にアクセスすることができます。

- 5 慎重に天びんを元に戻します。
 - 6 AC/DCアダプタとインターフェースケーブルを再接続します。
- ➡ 計量フックが利用できるので、これを床下計量に使用します。



以下も参照してください

🔗 寸法 ▶ 160 ページ

5 操作

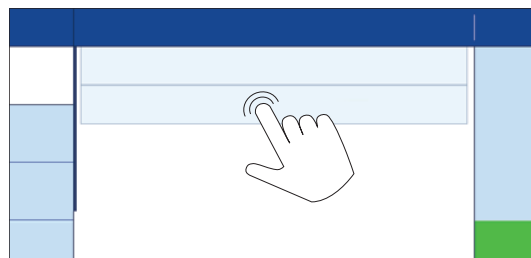
注

使用可能な設定は、LabXのユーザ権限によって異なります。

5.1 タッチスクリーン

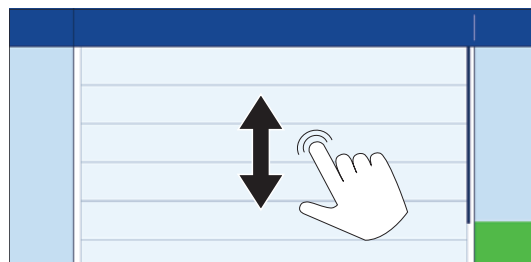
5.1.1 アイテムの選択または起動

1. 選択または有効化したい項目または機能をタップします。



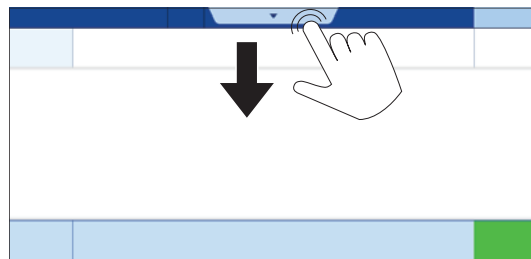
5.1.2 スクロール

1. 上下にスクロールすることにより、すべての項目を表示できます。



5.1.3 フライインパネルを開く

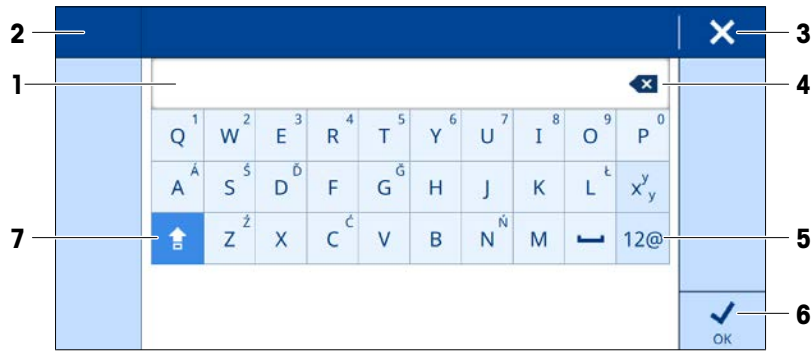
1. タブをタップするか、タブを下に引いてフライインパネルを開きます。



5.1.4 文字と数字の入力

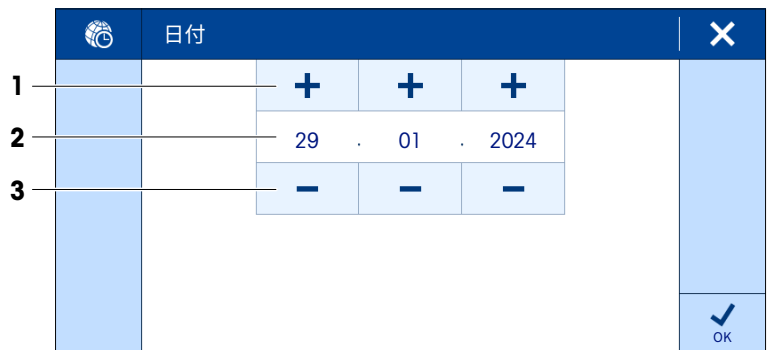
注

文字をタップして長押しすると、特殊文字にアクセスできます。



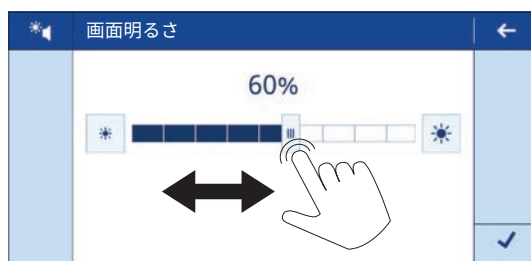
	名前	製品名
1	入力フィールド	入力した文字と数字を表示します。
2	セクションタイトル	現在のセクションのアイコンとタイトルを表示します。
3	破棄	キーボードダイアログを閉じます。
4	バックスペース	バックスペースアイコンをタップすると、入力の最後の文字が削除されます。バックスペースアイコンをタップして長押しすると、入力全体が削除されます。
5	数字と特殊文字	特殊文字を入力できます。
6	確定	入力したデータを確認します。
7	シフト	大文字と小文字を切り替えます。

5.1.5 値の変更



	名前	製品名
1	プラスボタン	値を大きくします。
2	値フィールド	定義された値を表示します。
3	マイナスボタン	値を小さくします。

5.1.6 スライド



- スライダーを左右に動かして値を変更します。

5.2 天びんの一般設定

5.2.1 日付／時間／言語

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🗣️ 天びん > 📅 日付／時間／言語

- 日付／時間／言語設定が開きます。

- 1 オプション: 日付形式設定と時間形式設定をタップして、日付と時刻の表示方法を定義します。
- 2 設定をタップして調整します。
- 3 ✓ OKをタップします。
- 4 ✓ 保存をタップします。

📌 注

システム言語設定がLabXIに定義されます。

以下も参照してください

🔗 設定: 日付／時間／言語 ▶ 94 ページ

5.2.2 画面/ステータスライト/音声

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🗣️ 天びん > 🔊 画面/ステータスライト/音声

- 画面/ステータスライト/音声設定が開きます。

- 1 画面明るさ設定をタップして、表示の明るさを調整します。
- 2 ✓ OKをタップします。
- 3 バックリット風防つきの天びん: 風防バックライト明るさ設定をタップして明るさを調整します。

📌 注

この機能は無効にすることができます。

- 4 ✓ OKをタップします。
- 5 音量設定をタップして音量を調整します。
- 6 ✓ OKをタップします。
- 7 StatusLight設定をタップして、ターミナルのライトストリップを調整します。

📌 注

この機能は無効にすることができます。

- 8 ✓ OKをタップします。

- 9 利用可能な場合: **ステータスライト明るさ**設定をタップして明るさを調整します。
- 10 **✓ OK**をタップします。
- 11 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

 設定: 画面/ステータスライト/音声 ▶ 94 ページ

5.2.3 スタンバイ、省電力モード

スタンバイ機能は、作業時間中の電力消費の保存に役立ちます。**省電力モード**機能は、作業時間外に天びんを休止状態にします。

スタンバイ状態から天びんをオンにした場合、すぐに使用できる状態になります。**省電力モード**状態から天びんをオンにした場合、使用前に天びんをウォームアップする必要があります。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  設定 >  天びん >  一般

■ 一般設定が開きます。

- 1 **スタンバイ**設定をタップします。

 **注**

この機能は有効または無効にすることができます。

- 2 天びんがスタンバイ状態になるまでの時間を入力します。
- 3 **✓ OK**をタップします。
- 4 **省電力モード**設定をタップします。

 **注**

この機能は有効または無効にすることができます。

- 5 **作業を開始**と**作業を終了**の設定を定義します。

 **注**

定義した時刻に天びんが省電力モードを自動的に終了すると、天びんはすぐに使用できます。

- 6 営業日を選択します。

 **注**

定義された設定**作業を開始**と**作業を終了**の間では、天びんは省電力モードになりません。

- 7 **✓ OK**をタップします。
- 8 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

 設定: 一般 ▶ 95 ページ

5.2.4 計量/品質

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 天びん > 計量/品質

水平警告

通常、水平調整は必要なときに行います。強制水平調整オプションが選択されている場合、天びんを使用する前に水平調整を行う必要があります。

■ 計量/品質設定が開きます。

1 水平警告設定をタップします。

① 注

この機能は有効または無効にすることができます。

2 希望するオプションを選択します。

3 ✓ OKをタップします。

校正リマインダ

この機能を有効にすると、天びんまたはテスト用分銅の校正が必要な時期を天びんがリマインドします。

– 校正リマインダ設定をタップして、この機能を有効または無効にします。

校正の有効期限切れ

この機能が有効になっている場合、校正が有効期限切れになると天びんは使用できません。

– 校正の有効期限切れ設定をタップして、この機能を有効または無効にします。

サービスリマインダ

この機能を有効にすると、天びんはサービスの期限を知らせます。

– サービスリマインダ設定をタップして、この機能を有効または無効にします。

以下も参照してください

🔗 設定: 計量/品質 ▶ 90 ページ

5.2.5 計量プロファイル

計量プロファイルは、天びんを特定の要件に適合させるために使用されます。最大3つの計量プロファイルを定義できます。

以下も参照してください

🔗 設定: 計量プロファイル ▶ 90 ページ

5.2.5.1 インジケータ

この設定は、インジケータアイコンの色とテキストを定義するために使用します。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 天びん > 計量プロファイル

■ 計量プロファイル設定が開きます。

1 インジケータ設定をタップします。

2 機能を有効にします。

3 色を選択します。

4 テキストセクションをタップして名前を入力します。

5 ✓ OKをタップします。

5.2.5.2 校正証明書

この設定は、証明書のID、作成日、有効期限を定義するために使用します。

① 注

新しい証明書は実行された天びんの校正に基づき、サービス技術者のみが作成することができます。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

1 校正証明書設定をタップします。

2 機能を有効にします。

3 証明書の識別情報を入力します。

4 日付セクションをタップして、校正日を入力します。

5 次回日付セクションをタップして、次の校正日を入力します。

6 ✓ OKをタップします。

5.2.5.3 環境

この設定により、天びんを特定の場所に適応させることができます。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

1 プロファイルの名前を入力します。

2 環境設定をタップします。

3 環境条件に適合するオプションを選択します。

4 ✓ OKをタップします。

5.2.5.4 計量モード

この設定では、計量信号のフィルタリング方法を定義します。標準的な計量アプリケーションには、オプション一般が適しています。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

1 計量モード設定をタップします。

2 ニーズに合ったオプションを選択します。

3 ✓ OKをタップします。

5.2.5.5 値リリース

この設定は、計量結果が安定しているとみなされる時間を定義します。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 音 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

- 1 値リリース設定をタップします。
- 2 ニーズに合ったオプションを選択します。
- 3 ✓ OKをタップします。

5.2.5.6 計量結果の最小表示

この設定は、画面に表示される計量値の最小表示を定義します。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 音 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

- 1 計量結果の最小表示設定をタップします。
- 2 ニーズに合ったオプションを選択します。
- 3 ✓ OKをタップします。

5.2.5.7 最小正味重量

この設定は、最小正味重量を定義するために使用します。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 音 天びん > ⚙ 計量プロフィール

■ 計量プロフィール設定が開きます。

- 1 最小正味重量設定をタップします。
- 2 機能を有効にします。
- 3 値を入力します。
- 4 オプション：重量単位をタップして、重量単位を選択します。
- 5 ✓ OKをタップします。

5.2.6 点検用分銅

以下も参照してください

🔗 設定: 点検用分銅 ▶ 92 ページ

5.2.6.1 LabXから点検用分銅を追加

■ 点検用分銅セクションが開きます。

- 1 +をタップします。
- 2 既存の分銅をLabXから追加オプションを選択します。
- 3 → 次へをタップします。
- 4 追加する分銅を選択します。
- 5 → 次へをタップします。
- 6 ✓ 保存をタップします。
 - ➡ 新しい点検用分銅が、使用可能な点検用分銅のリストに追加されます。

5.2.6.2 各点検用分銅の作成

ユーザは、対応する証明書に基づいて各点検用分銅に関連するデータを入力する必要があります。これにより、各点検用分銅を特定の証明書に明確に割り当てることができます。最大20個の点検用分銅を設定できます。これらの点検用分銅は、テストや調整に使用できます。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 天びん > 点検用分銅

注

各点検用分銅に対して、実際の重量を定義する必要があります。理想的には、外部調整用の点検用分銅は天びんのひょう量に対応します。または、この天びんモデルに推奨される最大OIML分銅を使用します。

■ 点検用分銅セクションが開きます。

- 1 **+**をタップします。
- 2 **分銅を新規作成**オプションを選択します。
- 3 **→ 次へ**をタップします。
- 4 点検用分銅の名前を入力します。
- 5 **→ 次へ**をタップします。
- 6 点検用分銅の公称重量を入力します。
- 7 **→ 次へ**をタップします。
- 8 **従来の質量**パラメータをタップして、点検用分銅の実際の重量を入力します。
- 9 **✓ OK**をタップします。
- 10 **✓ 保存**をタップします。
➡ 新しい点検用分銅が、使用可能な点検用分銅のリストに追加されます。

5.2.6.3 点検用組分銅の作成

単一基準分銅として利用できない試験荷重ひょう量を達するためにユーザーは試験荷重を結合できます。例えば 10 g の分銅と 20 g の分銅を結合して、30 g の試験荷重として使用できます。各合計試験荷重は二つや三つの試験荷重を含むことができます。特定の合計分銅のクラスの高さは、中に含まれる最もクラスの低い試験荷重と同じにしなければなりません。その他のいかなる試験荷重と同じく、合計試験荷重は外部テストと調整を実施するのに使用されます。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 天びん > 点検用分銅

■ 点検用分銅セクションが開きます。

- 1 **+**をタップします。
- 2 **合計重量を新規作成**オプションを選択します。
- 3 **→ 次へ**をタップします。
- 4 組分銅の名前を入力します。
- 5 **→ 次へ**をタップします。
- 6 適切な分銅クラスを選択します。
- 7 **→ 次へ**をタップします。
- 8 組み合わせる分銅を選択します。
- 9 **✓ 保存**をタップします。
➡ 新しい点検用分銅が、使用可能な点検用分銅のリストに追加されます。

- ➡ 組分銅の公称重量が自動的に計算されます。

5.2.6.4 点検用分銅の削除

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ⚖ 天びん > 点検用分銅

- 点検用分銅セクションが開きます。

- 1 ❏ をタップします。
- 2 削除する分銅を選択します。
- 3 ✓ OK をタップします。

- ➡ 点検用分銅はリストから削除されますが、LabXからは削除されません。

5.3 計量アプリケーション

計量アプリケーションは、特定の計量タスクを実行するために使用されます。天びんはデフォルトパラメータと共にさまざまな計量アプリケーションを提供します。

5.3.1 計量アプリケーションの概要

このセクション計量では、天びんで使用可能な計量アプリケーションの概要を提供します。このセクションは、特定の計量手順に適した計量アプリケーションの選択に役立ちます。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 計量

以下の計量アプリケーションを選択できます。

- ⚖ 一般計量
- 個数計算
- ✂ チェック計量
- 動的 ダイナミック計量
- 調合
- Σ 合計
- △ バック計量
- 密度
- 質量差測定

5.3.2 計量アプリケーションの一般設定

5.3.2.1 LabXからメソッドを選択

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 一般計量 > 一般計量

この例では、LabXのメソッドを一般計量アプリケーションに追加する方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 1 一般計量アプリケーションに移動します。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 2 ❏ をタップします。
 - ➡ メインセクションが開きます。
- 3 使用中のメソッドオプションの隣にある≡をタップします。

- 4 LabXからメソッドを選択します。
- 5 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ LabXのメソッドがアプリケーションに使用されます。

5.3.2.2 新規メソッドの作成

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量 > .

この例では、**一般計量**アプリケーションの新しいメソッドを作成する方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 1 **一般計量**アプリケーションに移動します。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 2  をタップします。
 - ➡  **メインセクション**が開きます。
- 3 **使用中のメソッド**オプションの隣にある**≡**をタップします。
- 4 **+**をタップします。
- 5 使用可能なオプションの一つを選択します。
- 6 **➡ 次へ**をタップします。
- 7 設定を定義します。
- 8 **➡ 次へ**をタップします。
- 9 **✓ 保存**をタップします。
 - ➡ 新しいメソッドがアプリケーションで使用されます。

5.3.2.3 メソッドの削除

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量 > .

この例では、**一般計量**アプリケーションのメソッドを削除する方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 1 **一般計量**アプリケーションに移動します。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 2  をタップします。
 - ➡  **メインセクション**が開きます。
- 3 **使用中のメソッド**オプションの隣にある**≡**をタップします。
- 4  をタップします。
- 5 削除するメソッドを選択します。
- 6 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メソッドは天びんとLabXから削除されました。

5.3.2.4 目標重量と公差の定義

一部の計量アプリケーションでは、目標重量を定義するオプションがあります。また、計量結果の公差範囲を定義することもできます。 $\pm$ 公差範囲の代わりに、上限 (+) および / または下限 (-) 公差を定義できます。計量結果が範囲外の場合、メイン計量画面に表示されます。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 一般計量 > 。

この例では、一般計量アプリケーションの目標重量と公差範囲の定義方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

■ 目標と公差設定が開きます。

1 目標と公差設定をタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

➡  目標セクションが開きます。

2 目標重量を入力します。

または、 をタップして実際の重量で目標値を定義します。

3 + 公差をタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

4 公差範囲 [%またはg] を入力します。

注

%とグラムを切り替えるには、対応するアイコンをタップします。

5 OKをタップします。

6 保存をタップします。

➡ 目標重量と公差範囲がメイン計量画面に表示されます。

以下も参照してください

 メイン ▶ 99 ページ

5.3.2.5 サンプルIDの定義

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 一般計量 > 。

この例では、一般計量アプリケーションのサンプルIDを定義する方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

■ 計量アプリケーションの設定セクションが開きます。

1 ID形式をタップします。

2 サンプル IDをタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

3 デフォルト値をタップして値を入力します。

4 OKをタップします。

説明の追加

サンプル1件につき最大3つの説明を追加できます。

■ ID形式セクションが開きます。

1 説明 1をタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

2 タイプをタップしてサンプルオプションを選択します。

- 3 ラベルをタップして説明を入力します。
- 4 ✓ OKをタップします。
- 5 デフォルト値をタップして値を入力します。
- 6 ✓ OKをタップします。
- 7 プロンプト入力をタップします。このオプションを有効にすると、サンプルIDの値を入力するよう求められます。
- 8 ✓ OKをタップします。
- 9 ✓ 保存をタップします。

以下も参照してください

 ID形式 ▶ 99 ページ

5.3.2.6 計量アプリケーションの設定

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量 > .

この例では、一般計量アプリケーションの設定方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 計量アプリケーションの設定セクションが開きます。

- 1  計量をタップします。
- 2 情報重量をタップして、メイン計量画面に表示される二次重量の単位を選択します。

 注

この機能は有効または無効にすることができます。

- 3 計量プロファイルをタップして、目的のオプションを選択します。
- 4 ✓ OKをタップします。
- 5 重量値取得モードをタップして、目的のオプションを選択します。
- 6 ✓ 保存をタップします。

以下も参照してください

 計量 ▶ 103 ページ

5.3.2.7 計量シリーズの設定

一部の計量アプリケーションでは、計量シリーズを定義するオプションがあります。このオプションを有効にすると、天びんは統計計算もできるようになります。

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量 > .

この例では、一般計量アプリケーションの計量シリーズの設定方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 計量アプリケーションの設定セクションが開きます。

- 1 有効化されている場合、任意で  をタップしてID形式、その後説明をタップします。
- 2 タイプをタップしてSeriesオプションを選択します。
- 3 ✓ OKをタップします。

- 4 自動タイムスタンプを有効にする場合は、自動値をタップします。

[i] 注

有効にすると、この設定はオプションデフォルト値とプロンプト入力を無効にします。

- 5 ✓ OKをタップします。
- 6 ※ 計量をタップします。
- 7 測定シリーズをタップして、この機能を有効にします。
- 8 オプション：統計計算をタップして、この機能を有効にします。
- 9 オプション：許容範囲をタップして値を入力します。

[i] 注

この機能は有効または無効にすることができます。

- 10 ✓ OKをタップします。
- 11 ✓ 保存をタップします。

以下も参照してください

🔗 計量 ▶ 103 ページ

5.3.2.8 自動化された機能の使用

ほとんどの計量アプリケーションでは、特定の機能を自動化するオプションがあります。たとえば、自動風袋引きオプションを使用すると、天びんは自動的に最初の安定重量を風袋重量として保存します。

≡ ナビゲーション：▼ > 📊 計量 > ⚙️ 一般計量 > ⚙️。

この例では、一般計量アプリケーションの自動機能の選択方法を示します。すべての機能は個別に有効または無効にすることができます。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- ⚙️ オートメーションセクションが開きます。

- 1 自動ゼロ点設定をタップして、天びんが自動的にゼロ設定されるしきい値を入力します。

[i] 注

希望の単位を設定します。

- 2 ✓ OKをタップします。
- 3 自動風袋引きをタップして、この機能を有効または無効にします。
- 4 プリセット風袋をタップして、固定風袋重量を入力します。
または、👉 をタップして、実際の風袋容器を使用して値を定義します。

[i] 注

希望の単位を設定します。

- 5 ✓ OKをタップします。
- 6 重量リコールをタップして、目的のオプションを選択します。
- 7 ✓ OKをタップします。
- 8 ✓ 保存をタップします。
➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 ➡PT← をタップして、プリセット風袋重量値を設定します。
- 10 プリセット風袋重量を入力します。
- 11 ✓ 適用をタップします。
➡ プリセット風袋重量が質量測定メイン画面に表示されます。

以下も参照してください

 オートメーション ▶ 101 ページ

5.3.2.9 レポートの設定

初期設定では、計量値と重量単位のみが発行されます。レポートが、さらに詳細な情報を表示するように設定できます。レポートは、次の発行戦略のコンテンツを定義します。

- プリンタでのデータの印刷
- USBメモリ上のファイルへのデータのエクスポート

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量 > .

この例では、**一般計量**アプリケーションのレポートを設定する方法を示します。他の計量アプリケーションの手順も同様です。

- 計量アプリケーションの設定セクションが開きます。
- 1  **レポート**をタップします。
- 2 **ヘッダとフッタ**をタップします。
- 3 レポートに表示したい項目をタップします。
- 4 **タイトル**をタップしてタイトル名を入力します。
- 5  **OK**をタップします。
- 6 **空白のライン**をタップして数字を入力します。
- 7  **OK**をタップします。
- 8  をタップして、レポート設定の次のセクションに進みます。
- 9 レポートに表示したい項目をタップします。
- 10 レポート設定の最後のセクションに達するまで継続します。
- 11  **保存**をタップします。

以下も参照してください

 レポート ▶ 101 ページ

5.3.3 「一般計量」アプリケーション

アプリケーション**一般計量**は基本的な計量機能を提供します。このアプリケーションは、単純な計量タスクや一連の測定を実行するために使用します。

目標重量や公差などの計量アイテムの設定を指定できます。

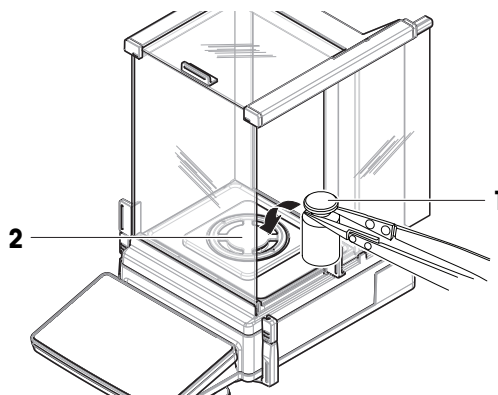
≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  一般計量

測定手順の例

この例では、サンプルの計量方法を示します。ここでは風防付きの天びんを使用します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡  **計量**セクションが選択されます。
- 2  **一般計量**をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 4  **メイン**セクションが開きます。

- 5 **使用中のメソッド**オプションの隣にある**≡**をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 **→0←**を押して天びんをゼロ点に戻します。
- 10 風防ドアを開きます（該当する場合）。
- 11 計量皿（**2**）にサンプル（**1**）を載せます。
- 12 風防ドアを閉じます（該当する場合）。
- 13 重量が安定するのを待ちます。
➡ 結果が表示されます。
- 14 オプション、設定に応じて：**🖨 発行**をタップして計量結果を印刷またはエクスポートします。



以下も参照してください

🔗 設定：「一般計量」アプリケーション ▶ 98 ページ

5.3.4 「個数計算」アプリケーション

アプリケーション**個数計算**は、計量皿に載せた個数を測定するために使用します。基準量は、定義された数の基準となるピースの平均重量に基づいて決定されるため、すべてのピースがほぼ等しい重量であると有利です。

≡ ナビゲーション：▼ > 📊 計量 > 📊 個数計算

測定手順の例

この例では、サンプル容器内でピースの個数を数える方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
➡ 📊 計量セクションが選択されます。
- 2 📊 個数計算をタップします。
➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、📊 をタップします。
- 4 📊 メインセクションが開きます。
- 5 **使用中のメソッド**オプションの隣にある**≡**をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 タイトルセクション**基準**をタップします。
または、📊 をタップしてこの設定にアクセスします。

- ➡ 参照重量を定義する画面が開きます。
- 10 左のタイトルセクションをタップして、基準ピースの数を定義します。たとえば、5を入力します。
- 11 **✓ OK**をタップします。
- 12 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
- 13 **→T←**を押すと天びんの風袋引きが実施されます。
- 14 5つの基準ピースをサンプル容器に入れます。
 - ➡ 基準ピースの総重量が表示されます。
- 15 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ 基準ピースの数が示されます。
 - ➡ 基準ピース1つ分の重量が左のタイトルセクションに表示されます。
- 16 サンプル容器にピースを入れます。
 - ➡ サンプル容器内の合計個数が表示されます。

以下も参照してください

🔗 設定：「個数計算」アプリケーション ▶ 102 ページ

5.3.5 アプリケーション「チェック計量」

チェック計量アプリケーションは、基準目標重量に対する公差範囲内のサンプル重量の偏差をチェックします。

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  チェック計量

測定手順の例

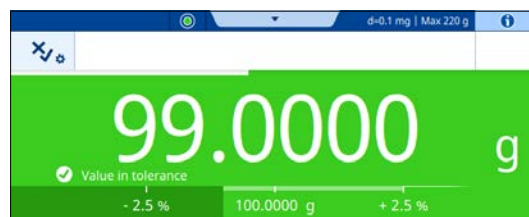
この例では、目標重量に対してサンプルをチェックする方法を示します。ここでは、±公差範囲を使用します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡  計量セクションが選択されます。
- 2  チェック計量をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 4  メインセクションが開きます。
- 5 使用中のメソッドオプションの隣にある≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 9  をタップします。
 - ➡ **メイン設定**が開きます。
- 10 **目標重量**をタップして基準サンプルの値を入力します。
 - または、 をタップして基準サンプルを計量します。
- 11  をタップして公差の値を入力します。

- 12 **✓ OK**をタップします。
➡ **メイン設定**が開きます。
- 13 **確認しきい値**をタップして値を入力します。
- 14 **✓ OK**をタップします。
➡ **メイン設定**が開きます。
- 15 **✓ 保存**をタップします。
➡ メインの計量画面が開きます。
- 16 計量皿にサンプルを載せます。
➡ 結果が表示されます。

[i] 注

結果が公差範囲内にある場合、背景は緑色になります。



結果が公差範囲外の場合、背景は赤色になります。



以下も参照してください

🔗 設定: アプリケーション「チェック計量」 ▶ 105 ページ

5.3.6 アプリケーション「ダイナミック計量」

ダイナミック計量アプリケーションは不安定なサンプルの重量を測定します。また、不安定な環境条件下での計量も可能です。計算される重量は、定義された時間にわたる複数の計量の平均です。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > **ダイナミック計量**

測定手順の例

この例では、サンプル容器での動物計量を手動で開始する方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
➡ **計量**セクションが選択されます。
- 2 **ダイナミック計量**をタップします。
➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 4 **メイン**セクションが開きます。
- 5 **使用中のメソッド**オプションの隣にある≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。

- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 タイトルセクションをタップして、測定時間を秒単位で定義します。たとえば、5を入力します。
または、**⌚**をタップしてこの設定にアクセスします。
- 10 **✓ OK**をタップします。
- 11 **モード開始**をタップします。
- 12 **手動**を選択します。
- 13 **✓ OK**をタップします。
- 14 **✓ 保存**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 15 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
- 16 **→T←**を押すと天びんの風袋引きが実施されます。
 - ➡ **Net** 表示されます。
- 17 サンプルをサンプル容器に入れます。
 - ➡ 結果が表示されます。
- 18 **▶ 開始**をタップします。
 - ➡ 天びんは定義された測定時間にわたって動的な重量を取得しています。
 - ➡ 結果は青色の背景に表示されます。
- 19 次をタップし、**✓ 終了**。

以下も参照してください

🔗 設定: アプリケーション「ダイナミック計量」▶ 108 ページ

5.3.7 アプリケーション「調合」

アプリケーション**調合**は、複数のコンポーネントを順番に計量するために使用されます。天びんは、追加されたコンポーネントの総重量を表示します。**⚖️ 充填する**機能は、定義された目標重量に達するために成分を追加する際に使用されます。

≡ ナビゲーション: ▼ > ⚖️ 計量 > 🧪 調合

測定手順の例調合

この例では、サンプル容器にコンポーネントを追加する方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡ **⚖️ 計量**セクションが選択されます。
- 2 **🧪 調合**をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、**🧪**をタップします。
- 4 **🏠 メイン**セクションが開きます。
- 5 **使用中のメソッド**オプションの隣にある**≡**をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。

- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 **→0←**を押して天びんをゼロ点に戻します。
- 10 **▶ 開始**をタップします。
- 11 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
- 12 **→T←**を押すと天びんの風袋引きが実施されます。
 - ➡ Net 表示されます。
- 13 最初の成分をサンプル容器に加えます。
- 14 **+** 追加をタップします。
- 15 2番目の成分をサンプル容器に加えます。
- 16 **+** 追加をタップします。
- 17 **■ 完了**をタップします。
 - ➡ 結果が表示されます。

測定手順の例充填する

この例では、定義された目標重量に達するためにサンプルに液体を添加する方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡ **📊 計量**セクションが選択されます。
- 2 **🔍 調合**をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 **→0←**を押して天びんをゼロ点に戻します。
- 4 **▶ 開始**をタップします。
- 5 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
- 6 **→T←**を押すと天びんの風袋引きが実施されます。
 - ➡ Net 表示されます。
- 7 サンプルをサンプル容器に入れます。
- 8 **+** 追加をタップします。
- 9 別のサンプルをサンプル容器に入れます。
- 10 **+** 追加をタップします。
 - ➡ サンプルの総重量がタイトルバーに表示されます。
- 11 すべてのサンプルで測定手順を繰り返します。
- 12 **📊 充填する**をタップします。
 - ➡ サンプルの総重量が表示されます。
- 13 目的の目標重量が表示されるまで、サンプル容器に液体を加えます。
 - ➡ 追加された液体の重量がタイトルセクションに表示されます。
- 14 **✓ OK**をタップします。
- 15 **■ 完了**をタップします。
 - ➡ サンプル数とサンプルの総重量が表示されます。

以下も参照してください

🔗 設定: アプリケーション「調合」 ▶ 111 ページ

5.3.8 アプリケーション「合計」

アプリケーション**合計**は、異なるサンプルを個別に計量するために使用されます。天びんは計量の合計を自動的に計算します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  計量 > Σ 合計

測定手順の例

この例では、個別に計量されたサンプルの合計重量を自動的に計算する方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡  計量セクションが選択されます。
- 2 Σ 合計をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、Σ*をタップします。
- 4  メインセクションが開きます。
- 5 使用中のメソッドオプションの隣にある≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、+をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 ✓ OKをタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 →0←を押して天びんをゼロ点に戻します。
- 10 ▶ 開始をタップします。
- 11 最初のサンプルを計量皿に載せます。
- 12 重量が安定するのを待ちます。
- 13 + 追加をタップします。
- 14 計量皿からサンプルを取り除きます。
- 15 計量皿に別のサンプルを載せます。
- 16 重量が安定するのを待ちます。
- 17 + 追加をタップします。
 - ➡ 両方のサンプルの合計重量がタイトルセクションに表示されます。
- 18 計量皿からサンプルを取り除きます。
- 19 すべてのサンプルで測定手順を繰り返します。
- 20  完了をタップします。
 - ➡ サンプル数と合計重量が表示されます。
- 21 ✓ 完了をタップします。

以下も参照してください

🔗 設定: アプリケーション「合計」 ▶ 113 ページ

5.3.9 アプリケーション「バック計量」

バック計量アプリケーションは、2つの計量値の差を計算するために使用します。

≡ ナビゲーション：▼ >  計量 >  バック計量

測定手順の例

この例では、サンプル容器を空にした後、サンプル容器に残っているサンプルの量を計算する方法を示します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
➡  計量セクションが選択されます。
- 2  バック計量をタップします。
➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 4  メインセクションが開きます。
- 5 使用中のメソッドオプションの隣にある≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、 をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8  OKをタップします。
➡ メインの計量画面が開きます。
- 9  開始をタップします。
- 10 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
➡ 天びんは風袋引きを行います。
- 11 サンプルをサンプル容器に入れます。
➡ **最初の重量**：サンプルの重量が表示されます。
- 12 計量皿からサンプル容器を取り外し、サンプルを取り除きます。
- 13 サンプル容器を計量皿に載せます。
➡ **最終重量**：残りのサンプルの重量が表示されます。
➡ δ ：タイトルセクションに取り除いたサンプルの重量が表示されます。
- 14  完了をタップします。
➡ 結果が表示されます。
- 15 次をタップし、 終了。

以下も参照してください

 設定: アプリケーション「バック計量」 ▶ 115 ページ

5.3.10 アプリケーション「密度」

密度アプリケーションは、固体の密度を測定するために使用されます。密度測定は、**アルキメデスの原理**に基づいて行われます。液体に浸された物体は、それが置き換えた液体の重量に等しい重量の損失を経験する。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 密度

測定手順の例

この例では、密度測定キットを使って固体の密度を測定する方法について説明します。置換液として蒸留水が使用されます。

- 密度測定キットはこの天びんで使用可能です。

1 アプリケーションセクションを開きます。

➡ 計量セクションが選択されます。

2 密度をタップします。

➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。

3 メソッドが選択されていない場合は、密度をタップします。

4 メインセクションが開きます。

5 使用中のメソッドオプションの隣にある≡をタップします。

6 LabXからメソッドを選択します。

7 または、+をタップして新しいメソッドを作成します。

8 ✓ OKをタップします。

➡ メインの計量画面が開きます。

➡ タイトルセクションに置換液炭酸水が表示されます。

注

カスタム置換液の場合は、タイトルセクションをタップしてカスタムオプションを選択します。次にカスタム置換液の密度を定義します。

または、密度をタップしてこれらの設定にアクセスします。

9 ▶ 開始をタップします。

10 置換液を含む密度測定キットを計量皿に載せます。

11 ✓ OKをタップします。

➡ Net 表示されます。

12 計量皿にサンプルを載せます。

13 ✓ OKをタップします。

14 置換液にサンプルを入れます。

15 ✓ OKをタップします。

➡ 結果が表示されます。

16 次をタップし、✓ 終了。

以下も参照してください

🔗 設定: アプリケーション「密度」▶ 118 ページ

5.3.11 「質量差測定」アプリケーション

質量差測定アプリケーションは、2つ以上の重量測定値の差を計算するために使用します。バック計量アプリケーションと似ていますが、より多くのオプションがあります。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 質量差測定

測定手順の例

この例では、重量計測シーケンス**最初の重量が初め**を使用します。

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
 - ➡  計量セクションが選択されます。
- 2  質量差測定をタップします。
 - ➡ 対応する計量アプリケーションが開きます。
- 3 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 4  メインセクションが開きます。
- 5 **使用中のメソッド**オプションの隣にある≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 9 タイトルセクションをタップして、サンプル数と重量計測シーケンスを定義します。
または、 をタップしてこれらの設定にアクセスします。
- 10 **✓ 保存**をタップします。
- 11 **▶ 開始**をタップします。
- 12 計量皿に空のサンプル容器を載せます。
 - ➡ 天びんは風袋引きを行います。
 - ➡ Net 表示されます。
- 13 サンプルをサンプル容器に入れます。
 - ➡ **最初の重量**：サンプルの重量が表示されます。
- 14 **✓ OK**をタップします。
- 15 計量皿からサンプル容器を取り除きます。
- 16 **➡ 次へ**をタップします。
- 17 各サンプルに対して手順を繰り返します。
- 18 処理済みのサンプル1が入ったサンプル容器を計量皿に置きます。
 - ➡ **最終重量**：サンプルの重量が表示されます。
- 19 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ δ ：タイトルセクションに重量差が表示されます。
- 20 計量皿からサンプル容器を取り除きます。
- 21 **➡ 次へ**をタップします。
- 22 各サンプルに対して手順12～15を繰り返します。
- 23 **✓ OK**をタップします。
- 24  **完了**をタップします。
 - ➡ 結果が発行されます。

以下も参照してください

 設定：「質量差測定」アプリケーション ▶ 121 ページ

5.4 調整

このセクションでは、内部または外部調整の設定と実行方法について説明します。

内部分銅調整は内蔵分銅を使用して天びんを調整します。通常、天びんは特定のイベント後に内部分銅調整を自動的に実行するように設定されます。

外部分銅による調整には、天びんの調整に分銅が必要です。通常、外部調整はお客様のSOPで要求された場合にのみ実行されます。

以下も参照してください

 点検用分銅 ▶ 49 ページ

5.4.1 調整方法

この設定は、調整を開始するたびに実行する調整タイプを定義します。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー >  設定 >  天びん >  調整方法

- 1 調整方法セクションに移動します。
- 2 使用可能なオプションの一つを選択します。
- 3  保存をタップします。

以下も参照してください

 設定: 調整方法 ▶ 93 ページ

5.4.2 調整の編集

この例では、調整タイプ**内部**の編集方法を示します。調整タイプ**外部**の編集手順も同様です。

≡ ナビゲーション：▼ >  アプリケーション >  調整

- 1 アプリケーションセクションを開きます。
- 2  調整をタップします。
- 3  内部をタップします。
⇒ メインの計量画面が開きます。
- 4  をタップします。
⇒ 設定のあるセクションが開きます。
- 5 メソッドが選択されていない場合は、**使用中のメソッド**オプションの隣の≡をタップします。
- 6 LabXからメソッドを選択します。
- 7 または、 をタップして新しいメソッドを作成します。
- 8  OKをタップします。
- 9 必要に応じて設定を変更します。
- 10  保存をタップします。
⇒ メインの計量画面が開きます。

以下も参照してください

 調整設定 ▶ 124 ページ

5.4.3 内部分銅調整の実行

≡ ナビゲーション：▼> アプリケーション> 調整

- 調整方法セクションで、**内部調整**オプションが選択されています。

- 1 オプション1: メイン計量画面で **調整**をタップします。
オプション2: アプリケーションセクションを開き、 **調整**をタップして、調整を選択し、▶ **開始**をタップします。
 - ➡ 調整が実施されました。
 - ➡ 調整結果が表示されます。
- 2 次をタップし、**✓ 終了**。
 - ➡ 天びんの準備ができています。

以下も参照してください

 設定: 内部分銅調整 ▶ 124 ページ

5.4.4 外部調整の実行

外部調整用の外部試験荷重は、天びんのひょう量の少なくとも10%の重さでなければなりません。天びんのひょう量の10%を下回る外部試験荷重は、天びんに表示されません。

≡ ナビゲーション：▼> アプリケーション> 調整

この例では、点検用分銅の定義方法と外部調整の実施方法を示します。

- 調整方法セクションで、**外部調整**オプションが選択されています。

- 1 オプション1: メイン計量画面で **調整**をタップします。
オプション2: アプリケーションセクションを開き、 **調整**をタップして、調整を選択し、▶ **開始**をタップします。
- 2 メソッドが選択されていない場合は、 をタップします。
- 3 **使用中のメソッド**オプションの隣にある をタップします。
- 4 LabXからメソッドを選択します。
- 5 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。
- 6 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 7 適切な点検用分銅が定義されていない場合は、 をタップします。
- 8  をタップします。
 - ➡ **点検用分銅**が開きます。
- 9 目的の点検用分銅をタップします。
適切な点検用分銅を使用できない場合は、**+**をタップして点検用分銅を追加します。
- 10 **従来の質量**パラメータをタップして、点検用分銅の実際の重量を入力します。
- 11 **✓ OK**をタップします。
- 12 **✓ 保存**をタップします。
- 13 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 14 ▶ **開始**をタップします。

15 指示されたら、計量皿に点検用分銅を置きます。

➡ 調整が実施されました。

16 指示されたら、計量皿から分銅を外します。

➡ 調整結果が表示されます。

17 次をタップし、**✓ 終了**。

➡ 天びんの準備ができています。

以下も参照してください

 [設定: 外部分銅調整 ▶ 126 ページ](#)

 [点検用分銅 ▶ 49 ページ](#)

5.5 テスト

日常点検は、GWP®、または他の品質管理システムによる正確な計量結果を確保します。テストは一定の間隔で定期的に行い、結果は文書化して記録に残します。

METTLER TOLEDO プロセス要件に基づき実行する日常点検を定義することをお手伝いをいたします。詳細内容については、お近くのMETTLER TOLEDO販売代理店にお問い合わせください。

≡ ナビゲーション: ▼ >  アプリケーション >  テスト

以下も参照してください

 [点検用分銅 ▶ 49 ページ](#)

5.5.1 テストの編集

この例では、感度テストの編集方法を示します。他の日常点検の編集手順も同様です。

1 アプリケーションセクションを開きます。

2  **テスト**をタップします。

3  **感度**をタップします。

➡ メインの計量画面が開きます。

4  をタップします。

➡ 設定のあるセクションが開きます。

5 メソッドが選択されていない場合は、**使用中のメソッド**オプションの隣の**≡**をタップします。

6 LabXからメソッドを選択します。

7 **✓ OK**をタップします。

8 または、**+**をタップして新しいメソッドを作成します。

9 必要に応じて、 をタップして、使用可能なテスト用分銅のリストにアクセスします。

10 目的の点検用分銅をタップします。

11 適切な点検用分銅がない場合、**+**をタップして点検用分銅を追加します。

12 必要に応じて設定を変更します。

13 **✓ OK**をタップします。

➡ メインの計量画面が開きます。

以下も参照してください

- 🔗 点検用分銅 ▶ 49 ページ
- 🔗 設定:感度テスト ▶ 126 ページ
- 🔗 設定:繰り返し性テスト ▶ 128 ページ
- 🔗 設定:偏置誤差テスト ▶ 130 ページ

5.5.2 テストの実施



注記

点検用分銅の誤った取り扱いによる誤った計量結果。

- 点検用分銅は、手袋、ピンセット、計量フォーク、または分銅用ハンドルでのみ取り扱ってください。

5.5.2.1 感度テスト

天びんの感度は天びんの指示値と実際の荷重間の偏差を定義します。感度テストでは、1つまたは2つのテストポイントを使用して感度を測定できます。

≡ ナビゲーション: ▼ > 📱 アプリケーション > 📄 テスト > 📄 感度テスト

この例では、1つのテストポイントで感度テストを実行する方法を示します。2つのテストポイントまたは風袋容器を使用した測定手順は類似していますが、追加のテスト用分銅とテスト容器が必要です。

- **テストポイント 1**が定義されます。
- 点検用分銅と点検用分銅を取り扱うための適切なツールが利用可能です。
- 1 アプリケーションセクションを開きます。
- 2 📄 **テスト**をタップします。
- 3 **感度**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 4 📄 をタップします。
 - ➡ 設定のあるセクションが開きます。
- 5 メソッドが選択されていない場合は、**使用中のメソッド**オプションの隣の≡をタップします。
- 6 メソッドを選択します。
- 7 ✓ **OK**をタップします。
- 8 必要に応じて、📄 をタップして、使用可能なテスト用分銅のリストにアクセスします。
- 9 ✓ **OK**をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 10 ▶ **開始**をタップします。
 - ➡ 天びんがゼロ点設定中です。
- 11 計量皿に点検用分銅を置いてください。
- 12 指示されたら、計量皿から点検用分銅を外します。
 - ➡ 結果が表示されます。
- 13 次をタップし、✓ **終了**。

以下も参照してください

 設定:感度テスト ▶ 126 ページ

5.5.2.2 繰り返し性テスト

天びんの繰り返し性を測定するために、繰り返し性テストでは1個の試験荷重によって一連の測定の標準偏差を計算します。

繰り返し性は周囲環境条件（通風、温度変化、振動）および計量実施者の経験にも依存します。したがって、一連の計量値は、同一のオペレーターが、同じ場所で、一定の周囲環境条件の下で中断することなく実行する必要があります。

≡ ナビゲーション: ▼ > アプリケーション > テスト > 繰り返し性テスト

この例では、繰り返し性テストの実施方法を示します。

- 点検用分銅と点検用分銅を取り扱うための適切なツールが利用可能です。
- 1 アプリケーションセクションを開きます。
- 2  テストをタップします。
- 3 繰り返し性をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 4  をタップします。
 - ➡ 設定のあるセクションが開きます。
- 5 メソッドが選択されていない場合は、**使用中のメソッド**オプションの隣の≡をタップします。
- 6 メソッドを選択します。
- 7  OKをタップします。
- 8 必要に応じて、 をタップして、使用可能なテスト用分銅のリストにアクセスします。
- 9 繰返し数を定義します。
- 10  保存をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 11  開始をタップします。
- 12 計量皿に点検用分銅を置いてください。
- 13 指示されたら、点検用分銅を外します。
 - ➡ 天びんがゼロ点設定中です。
- 14 この測定手順を定義されている回数繰り返します。
- 15 指示されたら、点検用分銅を外します。
 - ➡ 結果が表示されます。
- 16 次をタップし、 終了。

以下も参照してください

 設定:繰り返し性テスト ▶ 128 ページ

5.5.2.3 偏置誤差テスト

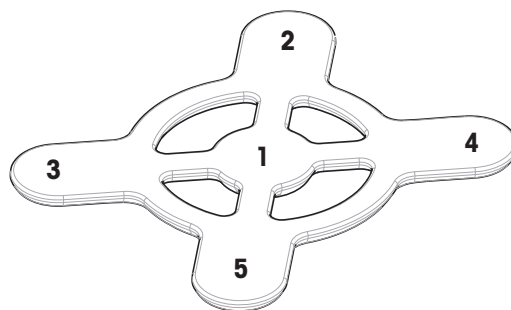
偏置荷重テストは、偏置荷重誤差 (コーナー荷重誤差) が必要なユーザー SOP 許容範囲内に留まることを確認します。偏置誤差は荷重負荷点が中心にない (偏心) ことによって発生する計量誤差です。偏置誤差は荷重の重量が大きくなるほど、計量皿の中心点 (1) からの距離が離れるほど増加します。計量皿の異なる部分に同じ荷重を置いても表示が安定している場合は、その天びんには偏置誤差はありません。

結果は、測定された4つの偏置誤差 (2~5) のうち、最高値を採用します。

≡ ナビゲーション: ▼ > 𠂆 アプリケーション > 𠂆 テスト > 𠂆 偏置誤差テスト

この例では、偏置誤差テストの実施方法を示します。

- 点検用分銅と点検用分銅を取り扱うための適切なツールが利用可能です。
- 1 アプリケーションセクションを開きます。
- 2 𠂆 テストをタップします。
- 3 偏置誤差をタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 4 𠂆 をタップします。
 - ➡ 設定のあるセクションが開きます。
- 5 メソッドが選択されていない場合は、**使用中のメソッド**オプションの隣の≡をタップします。
- 6 メソッドを選択します。
- 7 ✓ OKをタップします。
- 8 必要に応じて、𠂆 をタップして、使用可能なテスト用分銅のリストにアクセスします。
- 9 ✓ OKをタップします。
 - ➡ メインの計量画面が開きます。
- 10 ▶ 開始をタップします。
- 11 指示されたら、点検用分銅を計量皿の適切な位置に置きます。
- 12 指示されたら、点検用分銅を外します。
 - ➡ 結果が表示されます。
- 13 次をタップし、✓ 終了。



以下も参照してください

🔗 設定:偏置誤差テスト ▶ 130 ページ

5.6 インタフェース

5.6.1 イーサネット

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 𠂆 インタフェース

この例では、周辺機器またはサービスとイーサネット経由で通信できるように天びんを設定する方法を示します。



注記

他の装置による電磁干渉の可能性

イーサネットケーブルの長さが30メートル以上の場合、他の装置との電磁干渉が発生する可能性があります。

- 30メートル未満のイーサネットケーブルを使用してください。

■ インタフェースセクションが開きます。

- 1 イーサネット機能をタップします。
- 2 必要に応じて、機能を有効にします。

注

ホスト名パラメータを変更するには、**天びんメニュー** > **設定** > **天びん** > **一般** > **機器名**セクションに移動します。

- 3 ネットワーク設定パラメータをタップします。
- 4 希望するオプションを選択します。
- 5 ✓ OKをタップします。
- 6 手動オプションを選択した場合：必要に応じて、他のパラメータを変更します（例：IP アドレス）。
- 7 ✓ OKをタップします。
- 8 ✓ 保存をタップします。

以下も参照してください

 設定: インタフェース ▶ 95 ページ

5.6.2 Bluetooth

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 📶 インタフェース

この例では、天びんがBluetooth経由でプリンタと通信できるように設定する方法を示します。

注

この機能はBluetoothアダプタが天びんに接続されている場合にのみ使用できます。

- Bluetoothアダプタが天びんに接続されています。
- インタフェースセクションが開きます。

- 1 Bluetooth機能をタップします。
- 2 必要に応じて、機能を有効にします。

注

Bluetooth IDパラメータを変更するには、**天びんメニュー** > **設定** > **天びん** > **一般** > **機器名**セクションに移動します。

- 3 Bluetooth ID/パラメータをタップして名前を変更します。
- 4 ✓ OKをタップします。
- 5 ✓ 保存をタップします。

以下も参照してください

 設定: インタフェース ▶ 95 ページ

5.7 デバイス／プリンタ

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

以下も参照してください

🔗 設定: デバイス／プリンタ ▶ 97 ページ

5.7.1 プリンタ

プリンタはプロセスと結果の文書化に使用されます。各計量アプリケーションでは、印刷プロセスを手動で開始できます。結果が自動的に印刷されるように天びんを設定することもできます。



注記

不適切な使用による機器の損傷

- ご使用になる前に、ユニットのユーザーマニュアルをご覧ください。

5.7.1.1 USBプリンタのインストール

プリンタのインストールと接続

この例では、USBプリンタのインストール方法とUSBケーブルで天びんに接続する方法について説明します。

📌 注

適切に機能させるためには、METTLER TOLEDOの適切なケーブルを使用してください。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- USBプリンタをオンにします。
- プリンタを天びんに接続するための適切なケーブルが入手可能です。
- 天びんの質量測定メイン画面が開きます。
 - 1 ケーブルをUSBプリンタに接続します。
 - 2 ケーブルを天びんのUSB-Aポートに接続します。
 - ➡ プリンタが🖨 デバイス／プリンタリストに表示されます。
 - ➡ プリンタを使用できます。

テストページの印刷

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- プリンタが天びんに接続されます。
- メイン計量画面が開きます。
 - 1 セクション🖨 デバイス／プリンタに移動します。
 - 2 適切なプリンタをタップします。
 - 3 🖨 をタップします。
 - ➡ プリンタは短いテキストを印刷します。
 - 4 ✓ OKをタップします。

5.7.1.2 RS232プリンタのインストール

プリンタのインストールと接続

この例では、RS232プリンタを設置し、USBケーブルで天びんに接続する方法について説明します。

注

適切に機能させるためには、METTLER TOLEDOの適切なケーブルを使用してください。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- RS232プリンタがオンになっています。
- プリンタを天びんに接続するための適切なケーブルが入手可能です。
- 天びんのメイン計量画面が開きます。
 - 1 ケーブルをRS232プリンタに接続します。
 - 2 ケーブルを天びんのUSB-Aポートに接続します。
 - 3 セクション**デバイス／プリンタ**に移動します。
 - 4 **+**をタップします。
 - 5 オプション**USB-RS232変換器**を選択します。
 - 6 **→ 次へ**をタップします。
 - 7 プリンタを設定します。
 - 8 **✓ 保存**をタップします。
 - ➡ プリンタが**🖨 デバイス／プリンタ**リストに表示されます。
 - ➡ プリンタの使用準備ができました。

テストページの印刷

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- プリンタが天びんに接続されます。
- メイン計量画面が開きます。
 - 1 セクション**🖨 デバイス／プリンタ**に移動します。
 - 2 適切なプリンタをタップします。
 - 3 **🖨**をタップします。
 - ➡ プリンタは短いテキストを印刷します。
 - 4 **✓ OK**をタップします。

5.7.1.3 Bluetooth経由のプリンタのインストール

この例では、プリンタのインストール方法とBluetooth経由で天びんに接続する方法について説明します。



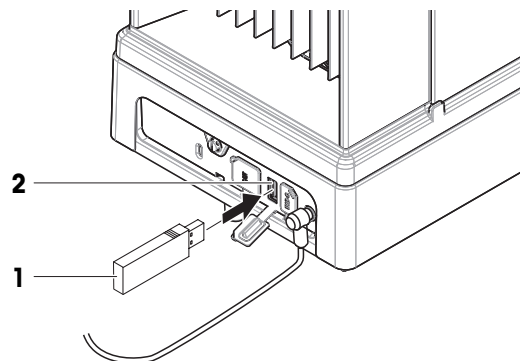
Bluetooth アダプタの取付方法につきましては、同梱の設置説明書をご参照ください。

天びんへのプリンタ接続

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 📶 インタフェース > 📶 Bluetooth

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- プリンタのスイッチがオンになっている。
 - Bluetooth RS アダプタ（プリンタに接続）と Bluetooth USB アダプタ（天びんに接続）が使用できます。
 - Bluetooth RS アダプタのスイッチはDCEの位置にあります。
 - Bluetooth RS アダプタで MAC アドレス（固有デバイスアドレス）を特定しました。
 - メイン計量画面が開きます。
- 1 Bluetooth USB アダプタ（1）を天びんのUSB-Aポート（2）に接続します。



- 2 Bluetooth RSアダプタ（3）をプリンタ（4）に接続します。

➡ Bluetooth RSアダプタのライトが点滅し始めます。

- 3 セクションBluetoothに移動して機能を有効にします。

- 4 ✓ 保存をタップします。

- 5 🖨 デバイス／プリンタをタップします。

- 6 +をタップします。

- 7 オプションBluetoothを選択します。

- 8 ➡ 次へをタップします。

➡ 天びんはデバイスを検索しています。

- 9 Bluetooth RSアダプタのMACアドレスを選択します（3）。

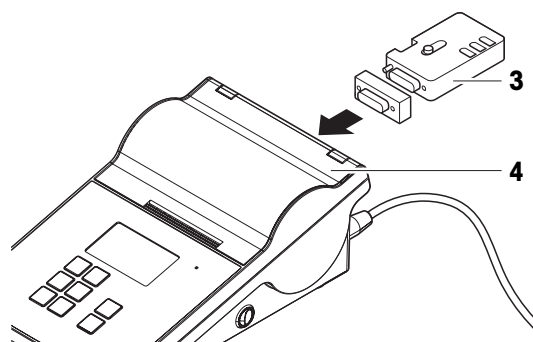
- 10 ➡ 次へをタップします。

➡ 天びんは、プリンタの Bluetooth USBアダプタ（1）とBluetooth RSアダプタ（3）をペアリングしています。

- 11 ➡ 次へをタップします。

➡ 天びんはプリンタに接続中です。

- 12 次をタップし、✓ 終了。



テストページの印刷

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

- プリンタが天びんに接続されます。
- メイン計量画面が開きます。
- 1 セクション🖨 デバイス／プリンタに移動します。
- 2 適切なプリンタをタップします。
- 3 🖨をタップします。
 - ➡ プリンタは短いテキストを印刷します。
- 4 ✓ OKをタップします。

以下も参照してください

🔗 設定: Bluetooth ▶ 96 ページ

5.7.2 バーコードリーダー

バーコードリーダーを使用して、ディスプレイ上の任意の文字入力フィールドにテキストまたは数字を入力できます。フィールドのフォーマットは、スキャンされたコードと互換性がある必要があります。



注記

不適切な使用による機器の損傷

- ご使用になる前に、ユニットのユーザーマニュアルをご覧ください。

5.7.2.1 バーコードリーダーによるサンプルIDのスキャン

この例では、**一般計量**アプリケーションでバーコードリーダーを使用してサンプルIDをスキャンする方法を示します。

バーコードリーダーの取り付け

- バーコードリーダーを使用できます。
- メイン計量画面が開きます。
- バーコードリーダーのUSBケーブルを天びんの適切なUSBポートに接続します。
 - ➡ 天びんはバーコードリーダーを自動的に検出します。
 - ➡ バーコードリーダーが🖨 デバイス／プリンタリストに表示されます。
 - ➡ バーコードリーダーの使用準備ができました。

バーコードリーダーによるサンプルIDのスキャン

- バーコードリーダーは次のように設定されています。**ライン終端文字** が「」に設定されています。」を入力します。
- バーコードリーダーが天びんに接続されています。
- **一般計量**アプリケーションが開きます。
- 1 🏠をタップして設定を開きます。
- 2 🆔 ID形式をタップします。

- 3 サンプル ID をタップします。
- 4 デフォルト値 をタップします。
- 5 バーコードリーダーでサンプルIDのコードをスキャンします。
 - ➡ スキャンしたサンプルIDが対応するフィールドに表示されます。
- 6 オプション：もう一度デフォルト値 をタップして、スキャンしたサンプルIDを手動で変更します。
- 7 ✓ OK をタップします。
- 8 ✓ 保存 をタップします。

5.7.3 フットスイッチ

フットスイッチを使用して、ターミナルを使用せずに天びんの特定の操作を実行できます。



注記

不適切な使用による機器の損傷

- ご使用になる前に、ユニットのユーザーマニュアルをご覧ください。

この例では、フットスイッチをUSB経由で取り付けて使用する方法を示します。

フットスイッチの取り付けと設定

- フットスイッチが使用できます。
 - メイン計量画面が開きます。
- 1 フットスイッチのUSBケーブルを天びんの適切なUSBポートに接続します。
 - ➡ 天びんはフットスイッチを自動的に検出します。
 - ➡ フットスイッチが **デバイス／プリンタ** リストに表示されます。
 - 2 フットスイッチをタップします。
 - 3 **機能** をタップして、フットスイッチの使用方法を設定します。
 - 4 ✓ OK をタップします。
 - 5 ✓ 保存 をタップします。
 - ➡ これでフットスイッチの使用準備ができました。

5.7.4 キーボード

キーボードを使用して、ターミナルを使用せずに天びんの特定の操作を実行できます。



注記

不適切な使用による機器の損傷

- ご使用になる前に、ユニットのユーザーマニュアルをご覧ください。

この例では、キーボードをUSB経由でインストールして使用する方法を示します。

キーボードのインストールと設定

- USBケーブル付きのキーボードを準備します。
- メイン計量画面が開きます。
- 1 キーボードのUSBケーブルを天びんの適切なUSBポートに接続します。
 - ➡ 天びんはキーボードを自動的に認識します。
 - ➡  **デバイス／プリンタ** リストにキーボードが表示されます。
- 2  **OK**をタップします。
 - ➡ キーボードの使用準備ができました。

5.7.5 デバイスの追加と削除

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  **設定** >  **デバイス／プリンタ**

この例では、USBインターフェイス付きプリンタの追加と削除の方法を示します。

デバイスの追加

- 1 設定セクション**デバイス／プリンタ**を開きます。
- 2  をタップします。
- 3 オプション**USB**を選択します。
- 4  **次へ**をタップします。
- 5 支持が表示されたら、機器を天びんに接続します。
 - ➡ デバイスは自動的に検出されます。
- 6  **保存**をタップします。
 - ➡ デバイスが**デバイス／プリンタ**リストに表示されます。

デバイスの削除

- 1 設定セクション**デバイス／プリンタ**を開きます。
- 2 削除するデバイスを選択します。
- 3  をタップします。
- 4  **OK**をタップします。

5.7.6 機器の設定の編集

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  **設定** >  **デバイス／プリンタ**

- 1 設定セクション**デバイス／プリンタ**を開きます。
 - ➡ 使用可能なデバイスのリストが表示されます。
- 2 必要に応じて設定を調整します。

5.8 サービス

天びんには、リモートで天びんを制御したり、データを管理したりする方法が複数あります。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > ☁️ サービス

以下も参照してください

🔗 設定: サービス ▶ 97 ページ

5.8.1 サービスの設定

5.8.1.1 ファイルサーバー

この例では、**ファイルサーバー**サービスを使用してデータを転送できるように天びんを設定する方法を示します。

天びんの設定

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > ☁️ サービス

- **イーサネット**インターフェースを有効にします。
- **サービス**セクションが開きます。
- 1 **ファイルサーバー**サービスをタップします。
 - 注**
この機能は有効または無効にすることができます。
- 2 **サーバー名**オプションをタップして、対象のサーバーの名前を入力します。
- 3 **✓ OK**をタップします。
- 4 **共有名**オプションをタップして、共有フォルダの名前を入力します。
- 5 **✓ OK**をタップします。
- 6 オプション: **資格証明**オプションを有効にして、ユーザ名とパスワードを定義します。
- 7 **✓ 保存**をタップします。
 - ➡ ファイルサーバーへの接続が検証されます。

以下も参照してください

🔗 イーサネット ▶ 71 ページ

🔗 設定: ファイルサーバー ▶ 97 ページ

🔗 データの転送: ファイルサーバー ▶ 79 ページ

5.8.2 サービスへのデータ転送

この設定は、ターゲットサービスに転送されるデータの種類を定義します。

以下も参照してください

🔗 設定: 出力 ▶ 93 ページ

5.8.2.1 データの転送: ファイルサーバー

この設定は、エクスポートするデータの保存場所とファイル形式を定義するために使用します。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > ㊄ 出力

- ファイルサーバーが天びんに接続されます。
- 計量アプリケーションのレポートセクションが設定されます。
- 出力セクションが開きます。

1  **ファイルをエクスポート**をタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

2 **エクスポート先**オプションをタップして、**ファイルサーバー**オプションを選択します。

3 **✓ OK**をタップします。

4 **ファイルタイプ**オプションをタップして、**フォーマット**を選択します。

5 **✓ OK**をタップします。

6 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

 ファイルサーバー ▶ 79 ページ

5.9 出力

天びんには、結果を発行したり、データを別の機器やサービスに転送したりするさまざまな方法があります。このセクションの設定は、天びん用に定義された機器に適用されます。サービスへの発行については、[サービスへのデータ転送 ▶ 79 ページ]を参照してください。

5.9.1 データの印刷

この設定は、ターゲットプリンタと印刷データの印刷フォーマットを定義するために使用します。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > ㊄ 出力

- プリンタは、天びんに接続されます。
- 出力セクションが開きます。

1 **印字機能**をタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

2 **✓ OK**をタップします。

3 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

 設定: 出力 ▶ 93 ページ

5.9.1.1 USB経由で結果を手動で印刷

この例では、USB経由で天びんに接続されたプリンタで結果を手動で印刷する方法を示します。

注

適切に機能させるためには、METTLER TOLEDOの適切なケーブルを使用してください。

- プリンタはUSB経由で天びんに接続されています。
 - 選択した任意の計量アプリケーションが開きます。
 - 計量アプリケーションの**レポート**セクションが設定されます。
- 1 計量皿にサンプルを載せます。
 - ➡ 結果が表示されます。
 - 2  **発行**をタップします。
 - ➡ レポートの設定に従って結果が印刷されます。

以下も参照してください

 RS232プリンタのインストール ▶ 74 ページ

 レポートの設定 ▶ 56 ページ

5.9.1.2 Bluetooth経由での結果の自動印刷

この例では、Bluetooth経由で天びんに接続されたプリンタで結果を自動的に印刷する方法を示します。

- プリンタはBluetooth経由で天びんに接続されています。
 - 任意の計量アプリケーション（例：**一般計量**）を開きます。
 - 計量アプリケーションの**レポート**セクションが設定されます。
- 1 計量アプリケーションの設定セクション（例：）に移動します。
 - 2  **計量**をタップします。
 - 3 **重量値取得モード**をタップします。
 - 4 オプション**自動、安定（ゼロを含まない）**または**自動、安定しています（ゼロを含む）**を選択します。
 - 5  **OK**をタップします。
 - 6  **保存**をタップします。
 - ➡ メイン計量画面が開きます。
 - 7 計量皿にサンプルを載せます。
 - ➡ 結果は、自動的に印刷されますので、

以下も参照してください

 Bluetooth経由のプリンタのインストール ▶ 74 ページ

 レポートの設定 ▶ 56 ページ

5.9.2 USBメモリへのデータのエクスポート

この設定は、エクスポートするデータの保存場所とファイル形式を定義するために使用します。

注

エクスポートには15秒以上かかります。データのエクスポート中は、USBメモリを取り外さないでください。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > 出力

- USBメモリを天びんに接続します。推奨のフォーマットはFAT32です。
- 計量アプリケーションのレポートセクションが設定されます。
- 出力セクションが開きます。

1 ファイルをエクスポートをタップします。

注

この機能は有効または無効にすることができます。

2 **エクスポート先**オプションをタップして、USBメモリを選択します。

3 **✓ OK**をタップします。

4 **ファイルタイプ**オプションをタップして、フォーマットを選択します。

5 **✓ OK**をタップします。

6 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

設定: 出力 ▶ 93 ページ

レポートの設定 ▶ 56 ページ

5.9.3 発行オプション

これらの設定は、特定のタイプの結果の発行方法を定義するために使用します。結果タイプとは、例えば、テスト結果です。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ≡ 天びん > 出力

- 出力セクションが開きます。

1 **単一の結果**をタップします。

➡ 動作がアプリケーション固有の設定で定義されていることを示す情報が表示されます **重量値取得モード**。

2 **✓ OK**をタップします。

3 **ワークフローの結果、調整結果、および/またはテスト結果**をタップします。

4 オプションを選択してください。

5 **✓ OK**をタップします。

6 **✓ 保存**をタップします。

以下も参照してください

設定: 出力 ▶ 93 ページ

5.9.4 重量測定結果を表示するインジケータ

発行されると、重量測定結果がインジケータでマークされる場合があります。

インジケータ	重量測定メイン画面	発行済み
正味重量	Net	N
風袋重量	—	T
プリセット風袋	—	PT

インジケータ	重量測定メイン画面	発行済み
総重量	—	G
計算された重量	*	*
不安定な重量	○	D

5.10 パスワード保護

パスワードはLabXで管理されますが、一部の機能は機器で使用できます。

5.10.1 パスワードのリセット

ローカル管理者がパスワードを忘れた場合は、パスワードのリセットをリクエストできます。LabXユーザはこの機能を使用できません。

- ログインダイアログが開きます。
- 1 終了してLabXセットアップへをタップします。
- 2 … さらにをタップします。
- 3 リセットパスワードを要求をタップします。
- 4 ユーザ名を入力します。
- 5 OKをタップします。
- 6 サービスコードを控え、 サービス要求をタップします。
 - ➡ METTLER TOLEDOサービス担当者の情報が表示されます。
- 7 METTLER TOLEDOサービス担当者に電話またはメールにてお問い合わせください。
 - ➡ 一度だけログインできる一時パスワードが与えられます。
- 8 一時パスワードでログインし、新しいパスワードを選択します。

5.10.2 天びんのブロックと解除

天びンをブロック/ブロック解除できます。対応する権限を持つユーザのみが、天びンをブロック/ブロック解除できます。

天びんのブロック

- 1 メニューをタップします。
- 2 ブロックをタップします。
- 3 天びンをブロックする理由を入力します。
- 4 ブロックをタップして確定します。

天びんのブロック解除

- 天びんはブロックされています。
- 1 天びんにログインします。
 - ➡ 天びンをブロック解除するダイアログが表示されます。
- 2 ブロック解除をタップします。
- 3 天びンをブロック解除する理由を入力します。
 - ➡ 天びんは使用するための準備が整っています。

6 ソフトウェアの説明

注

使用可能な設定は、LabXのユーザ権限によって異なります。

6.1 ローカル管理者の設定

以下も参照してください

 LabXのトラブルシューティング ▶ 146 ページ

6.1.1 履歴

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  履歴

メニュートップick履歴は、以下のセクションに分かれています。

-  サービス履歴
-  ソフトウェア更新履歴
-  エラーログ

6.1.1.1 サービス履歴

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  履歴 >  サービス履歴

最大100件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	発行	タップして表示されたエントリを発行または印刷します。
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.1.1.2 ソフトウェア更新履歴

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  履歴 >  ソフトウェア更新履歴

最大100件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	発行	タップして表示されたエントリを発行または印刷します。
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.1.1.3 エラーログ

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  履歴 >  エラーログ

最大500件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.1.2 情報

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  情報

メニュートップック情報は以下のセクションに分かれています：

-  天びん情報
-  サービスおよびサポート情報

6.1.2.1 天びん情報

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  情報 >  天びん情報

天びん情報セクションでは、以下のトピックについて説明します。

- 識別
- ログインユーザー
- ソフトウェア
- ハードウェア
- ネットワーク
- ユーザーライセンス契約を終了
- ライセンス情報

6.1.2.2 サービスおよびサポート情報

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  情報 >  サービスおよびサポート情報

セクションサービスおよびサポート情報では、以下のトピックについて説明します。

- サービス情報
- サービスサポート連絡先

6.1.3 設定

このセクションでは、特定要件を満たすために変更可能な天びんの設定について説明します。天びんの設定は、計量システム全体およびすべてのユーザーに適用されます。

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  設定

メニュートップック設定は、以下のセクションに分かれています。

-  天びん
-  インタフェース
-  LabX

6.1.3.1 設定: 天びん

≡ ナビゲーション: ≡ LabXセットアップメニュー > ⚙️ 設定 > 🏠 天びん

6.1.3.1.1 設定: 日付 / 時刻

≡ ナビゲーション: ≡ LabXセットアップメニュー > ⚙️ 設定 > 🏠 天びん > 🕒 日付 / 時刻

パラメータ	説明	値
日付	現在の日付を表示します。	編集不可
時間	現在の時刻を表示します。	編集不可
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。 タイムゾーンが設定されると、天びんは自動的に夏時間と冬時間を変更します。	有効 無効*
時刻同期	ネットワーク内のNTPサーバーとの同期が可能です。 この設定は、 タイムゾーン パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* テキスト (1...32文字)
日付形式	日付の表示形式を設定します。	DD.MM.YYYY* MM/DD/YYYY YYYY-MM-DD YYYY/MM/DD
時間形式	時刻の表示形式を設定します。	24.MM* 12:MM 24.MM 12.MM

* 工場出荷時設定

6.1.3.2 設定: インタフェース

≡ ナビゲーション: ≡ LabXセットアップメニュー > ⚙️ 設定 > 🌐 インタフェース

6.1.3.2.1 設定: イーサネット

≡ ナビゲーション: ≡ LabXセットアップメニュー > ⚙️ 設定 > 🌐 インタフェース > 🖱️ イーサネット

パラメータ	説明	値
ホスト名	天びんのホスト名を定義します。	編集不可
MACアドレス	ネットワークで天びんを一意に識別するために使用されるMACアドレスについての情報。	編集できません
ネットワーク設定	DHCP: イーサネット接続の設定が自動的に設定されます。 手動: イーサネット接続の設定は、ユーザーが手動で設定する必要があります。このオプションを選択すると、以下のパラメーターを編集できます。	DHCP* 手動
IP アドレス	天びんのIPアドレスを設定します。	000.000.000.000... 255.255.255.255
サブネットマスク	ホストがローカルまたはリモートサブネットのどちらにあるかを特定するために TCP/IP プロトコルが使用するサブネットマスクを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255

DNSサーバー	DNS（ドメイン名システム）サーバーのアドレスを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255
標準ゲートウェイ	ホストのサブネットを他のネットワークにリンクさせる、標準ゲートウェイのアドレスを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255

* 工場出荷時設定

6.1.3.3 設定: LabX

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー > ⚙️ 設定 > 🏠 LabX

パラメータ	説明	値
ドメイン名	LabXサーバーの名前を表示します。	編集不可
CA証明書 / TLS	証明書に関する情報を表示します。 証明書のアップロードまたは削除を許可します。LabXのデータは削除されません。 証明書の拡張子は.crtである必要があります。	編集不可
LabX無効化	機器とLabXの接続を解除するために使用します。 これにより、機器が工場出荷時の状態にリセットされます。	リセット

6.1.4 メンテナンス

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー > 🛠️ メンテナンス

メニュートップピックメンテナンスは、以下の機能をサポートします。

- 📄 サポートファイルの保存

以下も参照してください

🔗 サポートファイルの保存 ▶ 148 ページ

6.2 天びんメニュー設定

天びんメニューセクションには、一般的な設定と情報が含まれます。天びんメニューセクションを開くには、メイン画面の≡シンボルをタップします。

天びんメニューセクションは以下のトピックに分かれています。

- 📏 水平調整
- 📋 履歴
- 📄 情報
- ⚙️ 設定
- 🛠️ メンテナンス

6.2.1 水平調整

天びんを確実に水平に安定して設置することは、繰り返し性と正確性を備えた測定結果を得る上で欠かせない条件です。メニュートップピック**水平調整**は天びんの水平調整に使用します。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ④ 水平調整

注

天びんの水平調整後、内部部分銅調整を実施する必要があります。

以下も参照してください

 天びんの水平調整 ▶ 34 ページ

6.2.2 履歴

天びんは、メニュートップICK履歴で実行されたテストと調整を記録します。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ④ 履歴

メニュートップICK履歴は、以下のセクションに分かれています。

-  サービス履歴
-  ソフトウェア更新履歴
-  エラーログ

6.2.2.1 サービス履歴

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ④ 履歴 > サービス履歴

最大100件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	発行	タップして表示されたエントリを発行または印刷します。
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.2.2.2 ソフトウェア更新履歴

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ④ 履歴 > ソフトウェア更新履歴

最大100件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	発行	タップして表示されたエントリを発行または印刷します。
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.2.2.3 エラーログ

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  履歴 >  エラーログ

最大500件の登録を保存できます。この値を超えると、最も古い登録が上書きされます。

ボタン	名称	説明
	フィルター	タップしてリストをフィルタリングします。 • 日付でフィルタ • ユーザでフィルタ

6.2.3 情報

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  情報

メニュートップック情報は以下のセクションに分かれています:

-  天びん情報
-  サービスおよびサポート情報

6.2.3.1 天びん情報

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  情報 >  天びん情報

天びん情報セクションでは、以下のトピックについて説明します。

- 識別
- ログインユーザー
- ソフトウェア
- ハードウェア
- ネットワーク
- ユーザーライセンス契約を終了
- ライセンス情報

6.2.3.2 サービスおよびサポート情報

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  情報 >  サービスおよびサポート情報

セクションサービスおよびサポート情報では、以下のトピックについて説明します。

- サービス情報
- サービスサポート連絡先

6.2.4 設定

このセクションでは、特定要件を満たすために変更可能な天びんの設定について説明します。天びんの設定は、計量システム全体およびすべてのユーザーに適用されます。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  設定

メニュートップック設定は、以下のセクションに分かれています。

-  天びん
-  インタフェース
-  デバイス/プリンタ
-  サービス

-  LabX

6.2.4.1 設定: 天びん

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  設定 >  天びん

天びんセクションは、以下のサブセクションに分かれています。

-  計量/品質
-  計量プロファイル
-  点検用分銅
-  調整方法
-  出力
-  日付／時間／言語
-  画面/ステータスライト/音声
-  一般

6.2.4.1.1 設定: 計量/品質

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  設定 >  天びん >  計量/品質

パラメータ	説明	値
水平警告	天びんが水平でない場合のアクションを定義します。 承認済み天びんのデフォルト設定は 強制水平調整 です。	有効* 無効 オプションの水平調整* 強制水平調整
校正リマインダ	校正の次回の有効期限についてユーザーにリマインドするかを定義します。	有効* 無効
校正の有効期限切れ	校正の有効期限切れ時に天びんがブロックされるかどうかを設定します。	有効 無効*
サービスリマインダ	サービスの今度の期限についてユーザにリマインドするかどうかを定義します。	有効* 無効

* 工場出荷時設定

6.2.4.1.2 設定: 計量プロファイル

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー >  設定 >  天びん >  計量プロファイル

計量性能に関連する設定と天びん校正のデータは、計量プロファイルに保存できます。

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルには、特定の計量アプリケーションに必要な天びん設定が保存されます。さまざまな計量アプリケーション向けに個別の計量プロファイルを作成できます。	計量プロファイル2, 計量プロファイル3: 有効 無効
名前	プロファイル名を定義します。	テキスト (1...30文字)
ID	プロファイルの識別子を定義します。	テキスト (0...25文字)

インジケータ	インジケータアイコンの色とテキストを定義します。	有効 無効* カラー テキスト (1...3文字)
校正証明書	証明書のID、作成日、有効期限を定義します。新しい証明書は実行された天びんの校正に基づき、サービス技術者のみが作成することができます。	有効 無効* ID (1...32文字) 日付 次回日付
環境	天びんの環境条件を設定します。 安定 ：風や振動がほばない作業環境向けです。 標準 ：周囲環境の条件が穏やかに変化する平均的な作業環境向けです。 不安定 ：周囲環境の条件が変化する作業環境向けです。 非常に不安定 ：周囲環境の条件が急激に変化する作業環境向けです。	安定 標準* 不安定 非常に不安定
計量モード	天びんのフィルター設定を定義します。 一般 : 標準的なすべての計量アプリケーション向けです。 センサモード : 周囲環境条件の設定に応じて、計量値の信号は様々な強さのフィルターで処理されます。フィルターそのものは時間に応じて直線的に (他の設定条件には対応せず) 作用するため、計量値の連続プロセスに適しています。	一般* センサモード
値リリース	天びんの測定値が安定し、取得できる速度を定義します。 非常に速い : 迅速な結果が必要で、繰り返し性はあまり重要ではない場合に推奨されます。 高い信頼性 : 安定化時間は長くなりますが、非常に優れた測定結果の繰り返し性を提供します。	非常に速い 速い 迅速で信頼性が高い* 信頼性 高い信頼性
計量結果の最小表示	天びんの最小表示dを決定します。 1d：最大分解能 2d：1/2の分解能 5d：1/5の分解能 10d：1/10の分解能 100d：1/100の分解能 1000d：1/1000の分解能 特定計量器天びんでは、この設定で利用できる値は天びんのモデルによって異なります。	1d* 2d 5d 10d 100d 1000d
ゼロドリフト補正	ゼロからの偏差の継続的な補正を実行します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効* 無効
最小正味重量	最小正味重量を定義します。	有効 無効* 数字

* 工場出荷時設定

6.2.4.1.3 設定: 点検用分銅

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 天びん > 点検用分銅

パラメータ	説明	値
名前	点検用分銅の名前を定義します。	テキスト (1...30文字)
ID	点検用分銅の識別子を定義します。	テキスト (0...25文字)
公称重量	点検用分銅のおよその丸め値を定義します。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
分銅クラス	OIMLまたはASTMに従って分銅クラスを定義します。または、 独自 パラメータでカスタマイズされた公差クラスを作成します。	E1 E2 F1 F2* M1 M2 M3 ASTM000 ASTM00 ASTM0 ASTM1 ASTM2 ASTM3 ASTM4 ASTM5 ASTM6 ASTM7 独自
従来の質量	実際の重量を定義します。実際の重量は、分銅校正証明書に記された協定質量 (CMV) による特定の重量です。	数字
次回校正日	次の校正日を指定します。	有効 無効* 日付
分銅セット ID	分銅セットのIDを定義します。	テキスト (0...22文字)

* 工場出荷時設定

組分銅の追加設定

パラメータ	説明	値
名前	点検用組分銅の名前を定義します。	テキスト (1...30文字)
ID	点検用組分銅の識別子を定義します。	テキスト (0...25文字)
最小重量クラス	OIMLまたはASTMに従って分銅クラスを定義します。または、 独自 パラメータでカスタマイズされた公差クラスを作成します。	E1 E2 F1 F2* M1 M2 M3 ASTM000 ASTM00 ASTM0 ASTM1 ASTM2 ASTM3 ASTM4 ASTM5 ASTM6 ASTM7 独自

6.2.4.1.4 設定: 調整方法

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 天びん > ⚙ 調整方法

パラメータ	説明	値
調整方法	実行する調整のタイプを定義します。 承認された天びんではこのモードは選択できません。	調整なし 内部調整* 外部調整

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

🔗 調整方法 ▶ 66 ページ

🔗 調整設定 ▶ 124 ページ

6.2.4.1.5 設定: 出力

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 天びん > 🖨 出力

パラメータ	説明	値
印字	印刷先: 結果を印刷するプリンタを定義します。 プリンタタイプ: 結果の印刷方法を定義します。	有効* 無効
ファイルをエクスポート	エクスポート先: 結果のエクスポート先を定義します。 ファイルタイプ: エクスポートファイルのタイプを定義します。 • USB ストレージ: csv, txt, xml, pdf • ファイルサーバー: xml, pdf	有効 無効* USB ストレージ ファイルサーバー

* 工場出荷時設定

発行オプション

これらの設定は、利用可能なすべての発行オプションに適用されます。

パラメータ	説明	値
単一の結果	単一の結果は、設定で定義されているように 重量値取得モード 発行されます。	アプリケーション固有
ワークフローの結果	結果の計算直後にワークフロー結果を発行するかどうかを定義します。	自動* 手動
調整結果	結果の計算直後に調整結果を発行するかどうかを設定します。	自動 手動*
テスト結果	結果の計算直後にテスト結果を発行するかどうかを定義します。	自動 手動*
承認ブラケット	未認証の数字を示します。 承認済み天びんにのみ関連します。	有効 無効* • []: 小数点以下第1桁 • []: デュアルレンジ天びんの小数点以下第1桁

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

🔗 出力 ▶ 80 ページ

6.2.4.1.6 設定: 日付／時間／言語

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🗣️ 天びん > 📅 日付／時間／言語

パラメータ	説明	値
日付	現在の日付を表示します。	編集不可
時間	現在の時刻を表示します。	編集不可
システム言語	インターフェースナビゲーションの言語を定義します。	編集不可
日付/時刻を表示	画面上の現在の日付と時刻を定義された形式で表示します。	有効* 無効
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。 タイムゾーンが設定されると、天びんは自動的に夏時間と冬時間を変更します。	—
時刻同期	ネットワーク内のNTPサーバーとの同期が可能です。	テキスト (1...32文字)
日付形式	日付の表示形式を設定します。	DD.MM.YYYY* MM/DD/YYYY YYYY-MM-DD YYYY/MM/DD
時間形式	時刻の表示形式を設定します。	24:MM* 12:MM 24.MM 12.MM

* 工場出荷時設定

6.2.4.1.7 設定: 画面/ステータスライト/音声

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🗣️ 天びん > 📺 画面/ステータスライト/音声

パラメータ	説明	値
画面明るさ	画面の明るさを定義します。	10% ... 100% 60%*
風防バックライト明るさ	風防のバックライトの明るさを設定します (該当する場合)。	有効 無効* 10% ... 100%
音量	音量を設定します。	無効 低 中* 高
キー押下音	キーを押した時に音がするかどうかを定義します。	有効* 無効
フィードバック音	ディスプレイに情報が表示されたときに音がするかどうかを設定します。	有効* 無効
安定時の通知音	重量値が安定すると音がするかどうかを設定します。	有効* 無効

ステータスライト	ターミナルのライトストリップを使用して天びんの状態を表示するかどうかを設定します。 有効(グリーンライトなし): 天びんの状態は監視されますが、ライトストリップは赤または黄色でのみ点灯します。緑色のライトは使用されません。 - 赤色のライト: エラー。天びんはエラーが修正されるまで使用してはなりません。 - 黄色のライト: 警告。天びんはまだ使用できます。 例: 黄色のライトは、校正リマインダーの日付と次の校正のスケジュール日付の間に天びんを操作している場合に点灯します。 - 緑色のライト / 消灯: 問題は検出されませんでした。天びんは使用するための準備が整っています。	有効* 無効 有効* 有効(グリーンライトなし)
ステータスライト明るさ	ターミナルのライトバーの明るさを設定します (ステータスライト)。 この設定は、パラメータステータスライトが有効になっている場合にのみ使用できます。	10% ... 100%

* 工場出荷時設定

6.2.4.1.8 設定: 一般

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🏠 天びん > ⚙️ 一般

パラメータ	説明	値
機器名	天びんの名前を定義します。	テキスト (1...100文字)
機器ID	天びんのIDを定義します。この名前は、ネットワーク経由で天びんと通信するために使用できます。 空白または特殊文字は使用できません。	テキスト (1...24文字)
スタンバイ	使用していない天びんがスタンバイモードになるまでの時間を設定します。	有効* 無効 数字
省電力モード	作業時間と作業日を定義します。設定された時間外では、天びんは省電力モードに入ります。 作業を開始 設定は、天びんの使用準備ができるタイミングを定義します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.2.4.2 設定: インタフェース

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙️ 設定 > 🖥️ インタフェース

セクション**インタフェース**は以下のサブセクションに分かれています。

- 🌐 イーサネット
- 📶 Bluetooth

パラメータ	説明	値
イーサネット	イーサネットオプションにより、天びんはプリンタなどの周辺機器と通信できます。	–
Bluetooth	オプションBluetoothにより、天びんはプリンタなどの周辺機器と通信できます。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

 インタフェース ▶ 71 ページ

6.2.4.2.1 設定: イーサネット

イーサネットインターフェースにより、天びんをネットワークに接続して、計量結果をXMLまたはPDFファイルとして保存できます。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 インタフェース > 🌐 イーサネット

パラメータ	説明	値
ホスト名	天びんのホスト名を定義します。	編集不可
MACアドレス	ネットワークで天びんを一意に識別するために使用されるMACアドレスについての情報。	編集できません
ネットワーク設定	DHCP: イーサネット接続の設定が自動的に設定されます。 手動: イーサネット接続の設定は、ユーザーが手動で設定する必要があります。このオプションを選択すると、以下のパラメーターを編集できます。	DHCP* 手動
IP アドレス	天びんのIPアドレスを設定します。	000.000.000.000... 255.255.255.255
サブネットマスク	ホストがローカルまたはリモートサブネットのどちらにあるかを特定するために TCP/IP プロトコルが使用するサブネットマスクを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255
DNSサーバー	DNS（ドメイン名システム）サーバのアドレスを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255
標準ゲートウェイ	ホストのサブネットを他のネットワークにリンクさせる、標準ゲートウェイのアドレスを定義します。	000.000.000.000... 255.255.255.255

* 工場出荷時設定

6.2.4.2.2 設定: Bluetooth

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 インタフェース > 📶 Bluetooth

パラメータ	説明	値
Bluetooth ID	天びんの名前を表示します。	編集不可

6.2.4.3 設定: デバイス／プリンタ

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🖨 デバイス／プリンタ

パラメータ	説明	値
物理的接続	天びんと周辺機器間の物理的な接続のタイプを定義します。	USB* USB-RS232変換器 ネットワーク Bluetooth

* 工場出荷時設定

6.2.4.4 設定: サービス

天びんとの通信に使用できるサービスはいくつかあります。1 回に 1 つのサービスしか有効化できないことに留意してください。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🌐 サービス

サービスセクションは、以下のサブセクションに分かれています。

- 🖨 ファイルサーバー
- 📄 CA証明書 / TLS

以下も参照してください

🔗 サービス ▶ 78 ページ

6.2.4.4.1 設定: ファイルサーバー

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🌐 サービス > 🖨 ファイルサーバー

パラメータ	説明	値
サーバー名	対象のサーバー名を定義します。	テキスト (1...63文字)
共有名	共有フォルダ名を定義します。	テキスト (1...140文字)

資格証明

パラメータ	説明	値
ドメイン名	ユーザドメイン名を定義します。	テキスト (0...15文字)
User name	ファイルサーバーにアクセスするユーザー名を定義します。	テキスト (1...22文字)
パスワード	ファイルサーバーにアクセスするためのパスワードを定義します。	テキスト (1...22文字)

以下も参照してください

🔗 ファイルサーバー ▶ 79 ページ

6.2.4.4.2 設定: CA証明書 / TLS

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > ☁ サービス > 📄 CA証明書 / TLS

パラメータ	説明	値
CA証明書 / TLS	証明書に関する情報を表示します。 証明書のアップロードまたは削除を許可します。LabXのデータは削除されません。 証明書の拡張子は.crtである必要があります。	編集不可

6.2.4.5 設定: LabX

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ⚙ 設定 > 🏠 LabX

パラメータ	説明	値
ドメイン名	LabXサーバーの名前を表示します。	編集不可
CA証明書 / TLS	証明書に関する情報を表示します。 証明書のアップロードまたは削除を許可します。LabXのデータは削除されません。 証明書の拡張子は.crtである必要があります。	編集不可
LabX無効化	機器とLabXの接続を解除するために使用します。 これにより、機器が工場出荷時の状態にリセットされます。	リセット

6.2.5 メンテナンス

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > 🛠 メンテナンス

📌 注

このセクションは、対応する権限を持つユーザーのみがアクセスできます。
メニュートップメンテナンスは以下のセクションに分かれています。

- 📄 ソフトウェアアップデート
- 📄 サポートファイルの保存
- 🔧 水準器センター調整
- 📧 検証メッセージ
- 🔧 サービス準備完了モード

以下も参照してください

- 🔗 USBメモリへのデータのエクスポート ▶ 81 ページ
- 🔗 ソフトウェアのアップデート ▶ 138 ページ
- 🔗 サポートファイルの保存 ▶ 148 ページ

6.3 計量アプリケーションの設定

6.3.1 設定: 「一般計量」アプリケーション

このセクションでは、一般計量アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション：▼ > 計量 > 一般計量 > 一般計量

一般計量 - メイン設定		←
メイン	使用中のメソッド 一般計量	  OK
計量の初期値		
ID形式	単位 g	
計量	目標と公差 無効	
オートメーション		

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

- メイン
- ID形式
- 計量
- オートメーション
- レポート

以下も参照してください

🔗 「一般計量」アプリケーション ▶ 56 ページ

6.3.1.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	—
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
目標と公差	目標重量は、手動または計量によって追加できます。公差の定義はオプションです。 設定に応じて、メイン計量画面に目標重量と公差限度が表示されます。セクションSmartTracでは、現在の計量結果が公差限度内にあるかどうかを示します。	有効 無効* 数字 公差: % g

* 工場出荷時設定

6.3.1.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)

自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.1.3 計量

パラメータ	説明	値
情報重量	メイン計量画面に二次重量が表示されます。	有効 無効* 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定 ：天びんは重量の安定を待機します。 すぐに ：天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない) ：重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む) ：重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。 連続 ：結果は定義された間隔で発行されます。	安定* すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない) 自動、安定しています (ゼロを含む) 連続

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ 測定シリーズ が有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、 統計計算 パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

 計量プロファイル ▶ 47 ページ

6.3.1.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。
自動風袋引き	天びんでは、風袋重量として最初の安定重量を自動で保存します。	有効 無効*
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できます。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。
重量リコール	最後の計量結果を表示します。	有効 無効* 自動 手動*

* 工場出荷時設定

6.3.1.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン

品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチン テスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態 公差状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 情報重量 日付/時刻

6.3.2 設定：「個数計算」アプリケーション

このセクションでは、**個数計算**アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション：▼ >  >  個数計算 > .

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  オートメーション
-  レポート

以下も参照してください

 「個数計算」アプリケーション ▶ 57 ページ

6.3.2.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	—
基準個数	アイテムごとの平均重量を決定するために使用するアイテム数を定義します。	数字
基準平均重量	1個の平均重量を定義します。1個の平均重量は個数計算の基準になります。タスクの実行中、天びんは測定された重量と1個の平均重量に基づいて計量皿上の実際の個数を計算します。	数字
目標と公差	目標重量は、手動または計量によって追加できます。公差の定義はオプションです。 設定に応じて、メイン計量画面に目標重量と公差限度が表示されます。セクションSmartTracでは、現在の計量結果が公差限度内にあるかどうかを示します。	有効 無効* 数字 公差: PCS %

* 工場出荷時設定

6.3.2.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.2.3 計量

パラメータ	説明	値
情報重量	メイン計量画面に二次重量が表示されます。	有効 無効* 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d

重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。	安定* すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない) 自動、安定しています (ゼロを含む)
----------	---	--

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ測定シリーズが有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、統計計算パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

[🔗 計量プロファイル ▶ 47 ページ](#)

6.3.2.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
自動風袋引き	天びんでは、風袋重量として最初の安定重量を自動で保存します。	有効 無効*
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できます。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
重量リコール	最後の計量結果を表示します。	有効 無効* 自動 手動*

* 工場出荷時設定

6.3.2.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチンテスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態 公差状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 情報重量 日付/時刻

6.3.3 設定: アプリケーション「チェック計量」

このセクションでは、**チェック計量**アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  >  **チェック計量** > .

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  **メイン**
-  **ID形式**
-  **計量**
-  **オートメーション**
-  **レポート**

以下も参照してください

 アプリケーション「チェック計量」 ▶ 58 ページ

6.3.3.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

目標重量 ± 公差	目標重量は、手動または計量によって追加できます。公差の定義はオプションです。 設定に応じて、メイン計量画面に目標重量と公差限度が表示されます。セクションSmartTracでは、現在の計量結果が公差限度内にあるかどうかを示します。	数字 公差: 有効* 無効 % g
確認しきい値	目標閾値を設定します。定義されている閾値を下回る値はチェックされていません。	有効* 無効 数値 (%)

* 工場出荷時設定

6.3.3.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.3.3 計量

パラメータ	説明	値
情報重量	メイン計量画面に二次重量が表示されます。	有効 無効* 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。	安定* すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない) 自動、安定しています (ゼロを含む)

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ測定シリーズが有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、統計計算パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

以下も参照してください

🔗 計量プロファイル ▶ 47 ページ

6.3.3.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
自動風袋引き	天びんでは、風袋重量として最初の安定重量を自動で保存します。	有効 無効*
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できます。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

重量リコール	最後の計量結果を表示します。	有効 無効* 自動 手動*
--------	----------------	----------------------

* 工場出荷時設定

6.3.3.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチンテスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態 公差状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 情報重量 日付/時刻

6.3.4 設定: アプリケーション「ダイナミック計量」

このセクションでは、**ダイナミック計量**アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  >  **ダイナミック計量** > 

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  **メイン**
-  **ID形式**
-  **計量**
-  **オートメーション**
-  **レポート**

以下も参照してください

 アプリケーション「ダイナミック計量」▶ 59 ページ

6.3.4.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
測定期間	測定期間を秒単位で設定します。	数字

モード開始	測定の開始方法を定義します。	手動 自動 - 3秒後*
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.4.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文 字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義しま す。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは 編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文 字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文 字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義しま す。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.4.3 計量

パラメータ	説明	値
情報重量	メイン計量画面に二次重量が表示されます。	有効 無効* 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ 測定シリーズ が有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、 統計計算 パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

6.3.4.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
サンプル風袋引き	結果の計算後、計量皿からサンプルが削除済みの場合、天びんは自動的に風袋引きされます。	有効 無効
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。
自動風袋引き	天びんでは、風袋重量として最初の安定重量を自動で保存します。	有効 無効*
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できます。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.4.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン

品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチン テスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 情報重量 日付/時刻

6.3.5 設定: アプリケーション「調合」

このセクションでは、調合アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  >  調合 > .

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  オートメーション
-  レポート

以下も参照してください

 アプリケーション「調合」 ▶ 60 ページ

6.3.5.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

6.3.5.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません

プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*
---------	--	----------

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.5.3 計量

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。	安定* すぐに

* 工場出荷時設定

6.3.5.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによって異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.5.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチン テスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 日付/時刻

6.3.6 設定: アプリケーション「合計」

このセクションでは、合計アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  > Σ 合計 > Σ*

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  オートメーション
-  レポート

以下も参照してください

 アプリケーション「合計」 ▶ 62 ページ

6.3.6.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

6.3.6.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*

デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト（1...200文字）
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト（1...25文字）
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト（1...200文字）
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.6.3 計量

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。	安定* すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない) 自動、安定しています (ゼロを含む)

* 工場出荷時設定

6.3.6.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
自動風袋引き	天びんでは、風袋重量として最初の安定重量を自動で保 存します。	有効 無効*
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できま す。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.6.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番 号 ソフトウェア・ バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチン テスト情報 結果状 態 水平状態 MinWeigh 状態
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 日付/時 刻

6.3.7 設定: アプリケーション「バック計量」

このセクションでは、バック計量アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  >  バック計量 > .

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  オートメーション
-  レポート

以下も参照してください

🔗 アプリケーション「バック計量」▶ 63 ページ

6.3.7.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
風袋容器	風袋容器を使用するかどうかを設定します。	有効* 無効
差の単位	計算された差のための結果表示を選択してください。 百分率(%) : バック計量値と初回計量値間の差をプレ計量値に対する百分率でレポートします。 絶対百分率 (% Abs.) : バック計量値と初回重量間の差を初回重量に対する百分率でレポートします。 ATRO水分率 (%AM) : サンプルの含水量を灰分重量に対する百分率でレポートします。 ATRO乾燥度 (%AD) : サンプルの湿重量を灰分重量に対する百分率でレポートします。	重量* 百分率(%) 絶対百分率 (% Abs.) ATRO水分率 (%AM) ATRO乾燥度 (%AD)
差の値	作業領域および結果ビューに計算された差を表示します... 未署名(絶対値) : 絶対値を表示します。 署名済み : 代数符号で値を表示します。	未署名(絶対値)* 署名済み

* 工場出荷時設定

計量の初期値

パラメータ	説明	値
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.7.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.7.3 計量

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。	安定 すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない)* 自動、安定しています (ゼロを含む)

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ測定シリーズが有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、統計計算パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

6.3.7.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できま す。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。

* 工場出荷時設定

6.3.7.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番 号 ソフトウェア・ バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチン テスト情報 結果状 態 水平状態 MinWeigh 状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設 定 測定詳細
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 日付/時 刻

6.3.8 設定: アプリケーション「密度」

このセクションでは、密度アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション: ▼ >  >  密度 > 

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  レポート

以下も参照してください

 アプリケーション「密度」 ▶ 63 ページ

6.3.8.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
測定タイプ	比重測定のタイプを定義します。	固体*
密度結果	結果値の小数点以下の桁数を定義します。	小数点以下1桁 小数点以下2桁 小数点以下3桁 小数点以下4桁 小数点以下5桁 使用可能な最小表示は、天びんのモデルによって異なります。

* 工場出荷時設定

計量の初期値

パラメータ	説明	値
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
補助液	使用する置換液のタイプを定義します。	炭酸水* カスタム
温度	置換液の温度を定義します。	数字 (°C)
補助液密度	置換液の密度を定義します。 蒸留水の場合、値はあらかじめ定義されています。	数値 (g/cm ³)

* 工場出荷時設定

6.3.8.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.8.3 計量

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。	安定* すぐに

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
測定シリーズ	一連の測定を実行できます。	有効 無効*
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ 測定シリーズ が有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、 統計計算 パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

6.3.8.4 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン

天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチンテスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定 測定詳細
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 日付/時刻

6.3.9 設定：「質量差測定」アプリケーション

このセクションでは、質量差測定アプリケーションの設定について説明します。

≡ ナビゲーション：▼ >  >  質量差測定 > .

この計量アプリケーションの設定は次のようにグループ化されています。

-  メイン
-  ID形式
-  計量
-  オートメーション
-  レポート

以下も参照してください

 「質量差測定」アプリケーション ▶ 64 ページ

6.3.9.1 メイン

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
サンプル	サンプル数を定義します。	数字 (10* 1...200)
バック計量	サンプルごとのバック質量測定数を定義します。	1 / サンプル* 2 / サンプル 3 / サンプル
計量シーケンス	質量測定のシーケンスを定義します。	最初の重量が初め* サンプルごとに
流出補正	サンプルがこぼれた場合に質量測定結果を修正します。	有効 無効*
風袋容器	風袋容器を使用するかどうかを設定します。	有効* 無効

差の単位	計算された差のための結果表示を選択してください。 百分率(%): バック計量値と初回計量値間の差をプレ計量値に対する百分率でレポートします。 絶対百分率 (% Abs.): バック計量値と初回重量間の差を初回重量に対する百分率でレポートします。 ATRO水分率 (%AM): サンプルの含水量を灰分重量に対する百分率でレポートします。 ATRO乾燥度 (%AD): サンプルの湿重量を灰分重量に対する百分率でレポートします。	重量* 百分率(%) 絶対百分率 (% Abs.) ATRO水分率 (%AM) ATRO乾燥度 (%AD)
差の値	作業領域および結果ビューに計算された差を表示します... 未署名(絶対値): 絶対値を表示します。 署名済み: 代数符号で値を表示します。	未署名(絶対値)* 署名済み

* 工場出荷時設定

計量の初期値

パラメータ	説明	値
単位	計量結果の単位を定義します。	利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

6.3.9.2 ID形式

サンプルID

パラメータ	説明	値
サンプル ID	サンプル識別を定義します。	有効 無効*
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)
自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	編集できません
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。 デフォルト値が定義されている場合、このパラメータは編集できません。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

製品名

パラメータ	説明	値
説明	サンプルの説明を定義できます。	有効 無効*
タイプ	サンプルタイプを定義します。	サンプル* Series
ラベル	サンプルを記述します。	テキスト (1...25文字)
デフォルト値	サンプル説明のデフォルト値を定義します。	テキスト (1...200文字)

自動値	サンプル説明に自動値を生成するかどうかを定義します。	有効 無効*
プロンプト入力	値の入力を求めるかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

6.3.9.3 計量

パラメータ	説明	値
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
重量値取得モード	結果を追加するボタンがタップされたり、結果の追加が自動計量結果の作成で作動したりした場合の動作を定義します。 安定: 天びんは重量の安定を待機します。 すぐに: 天びんは重量の安定を待機しません。 自動、安定 (ゼロを含まない): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値は公表されません。 自動、安定しています (ゼロを含む): 重量が安定するとすぐに結果が公表されます。0 g の値も公表されています。	安定 すぐに 自動、安定 (ゼロを含まない)* 自動、安定しています (ゼロを含む)

* 工場出荷時設定

シリーズ／統計

パラメータ	説明	値
統計計算	統計情報が提供されます。 この設定は、パラメータ測定シリーズが有効になっている場合にのみ使用できます。	有効 無効*
許容範囲	統計計算の許容範囲を定義します。 この設定は、統計計算パラメータが有効な場合のみ使用できます。	有効 無効* 数値 (%)

* 工場出荷時設定

6.3.9.4 オートメーション

パラメータ	説明	値
自動ゼロ点設定	重量が事前定義のしきい値を下回る場合、天びんは自動的に天びんをゼロ設定します。 この設定は特定計量器天びんでは利用できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。

プリセット風袋	固定風袋重量は、手動または計量によって定義できません。	有効 無効* 数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
---------	-----------------------------	--

* 工場出荷時設定

6.3.9.5 レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	どの品質情報を発行するかを定義します。	計量プロファイル 調整日/時 ルーチンテスト情報 結果状態 水平状態 MinWeigh 状態
タスク情報	タスクについて発行される情報を定義します。	アプリケーション設定 測定詳細
結果の詳細情報	測定結果に関連する情報を発行します。	風袋/総重量 日付/時刻

6.4 調整設定

以下も参照してください

[🔗 設定: 調整方法 ▶ 93 ページ](#)

[🔗 調整の編集 ▶ 66 ページ](#)

6.4.1 設定: 内部分銅調整

≡ ナビゲーション: ▼ > アプリケーション > 調整 > 内部 >

設定は以下のサブセクションに分かれています:

- 仕様
- 管理
- レポート

仕様

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	—

計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
「処置前」テスト	調整シーケンスの開始時には、自動的に内部感度テストが行われ、現在の状態を評価します。テスト結果が表示されます。	有効 無効*
「処置後」テスト	調整が完了すると、自動的に内部感度テストが実行されます。テスト結果が表示されます。	有効 無効*
管理限界	設定値に対するプロセスのエラー許容範囲を定義します。管理限界値の超過は品質要件に対する違反のため、プロセスの修正が必要になります。 管理限界値が超過している場合、調整に失敗すると、天びんは規格外になります。 この設定は、「処置前」テストまたは「処置後」テスト設定がアクティブな場合にのみ使用できます。	数値 (0.1%* 0.001...100%)
警告限度	上限または下限を定義し、それを超過した場合、または到達しない場合、より厳格なプロセス監視が必要になります。警告限度は管理限界よりも小さくなければなりません。 値警告限度を超過した場合の結果: 調整は合格しましたが、差異は予期したものより大きいです。 この設定は設定「処置前」テストまたは「処置後」テストがアクティブな場合にのみ利用できます。	有効 無効* 数値 (0.001...100%)

* 工場出荷時設定

管理

パラメータ	説明	値
エラー管理	調整に失敗すると、天びんを自動的にブロックします。	有効 無効*
計画 - イベント開始	調整が自動的に実行されるイベントを計画するために使用します。複数選択が可能です。	有効* 無効 - 温度変更後に開始 - 水平調整後に開始 - 電源オン後に起動
計画 - スケジュール	調整が自動的に実行される時間と曜日を計画するために使用します。 開始時刻: 最大3つの開始時間を定義できます。 実行日数: 月曜日、火曜日、... 日曜日	有効* 無効 数字

* 工場出荷時設定

レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン

天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	天びんの水平状態を発行するかどうかを設定します。	水平状態

6.4.2 設定: 外部分銅調整

≡ ナビゲーション: ▼ > 𠂔 アプリケーション > 𠂔 調整 > 𠂔 外部 > 𠂔。

設定は以下のサブセクションに分かれています:

- 𠂔 仕様
- 𠂔 レポート

仕様

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d

* 工場出荷時設定

レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	天びんの水平状態を発行するかどうかを設定します。	水平状態

6.5 テスト設定

≡ ナビゲーション: ▼ > 𠂔 アプリケーション > 𠂔 テスト

セクションテストは以下のサブセクションに分けられます:

- 𠂔 感度テスト
- 𠂔 繰り返し性テスト
- 𠂔 偏置誤差テスト

6.5.1 設定: 感度テスト

≡ ナビゲーション: ▼ > 𠂔 アプリケーション > 𠂔 テスト > 𠂔 感度テスト > 𠂔。

設定は以下のサブセクションに分かれています:

- 𠂔 仕様

-  管理
-  レポート

仕様

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	—
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
風袋容器	風袋容器を使用するかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

テストポイント

最大2つのテストポイントを定義できます。

パラメータ	説明	値
公称重量	テストに使用する分銅の公称値を定義します。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
分銅クラス	OIMLまたはASTMに従って分銅クラスを定義します。または、 独自 パラメータでカスタマイズされた公差クラスを作成します。	E1 E2 F1 F2* M1 M2 M3 ASTM000 ASTM00 ASTM0 ASTM1 ASTM2 ASTM3 ASTM4 ASTM5 ASTM6 ASTM7 独自
管理限界	設定値に対するプロセスのエラー許容範囲を定義します。値 管理限界 の超過は品質要件に対する違反であるので、プロセス修正が必要になります。 値 管理限界 を超過している場合: テストに失敗すると、天びんは規格外になります。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
警告限度	上限または下限を定義し、それを超過した場合、または到達しない場合、より厳格なプロセス監視が必要になります。 警告限度 は 管理限界 よりも小さくなければなりません。 値 警告限度 を超過した場合の結果: テストは合格しましたが、差異は予期したものより大きいです。	有効 無効* 数字

* 工場出荷時設定

管理

パラメータ	説明	値
エラー管理	調整に失敗すると、天びんを自動的にブロックします。	有効 無効*
計画	テストが自動的に実行されるタイミングを計画します。	有効 無効*

パラメータ**計画**が有効になっている場合、以下のオプションが使用できます。

パラメータ	説明	値
頻度	テストが自動的に実行される頻度を計画します。	日単位* 週単位 隔週 毎月 隔月 年4回 年2回 年次
時間	テストが自動的に実行される時間を計画します。	数字
通知	予定されているテストについてどれくらい前に通知されるかを設定します（時間単位）。	数字

* 工場出荷時設定

レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	天びんの水平状態を発行するかどうかを設定します。	水平状態

以下も参照してください

[🔗 感度テスト ▶ 69 ページ](#)

6.5.2 設定:繰り返し性テスト

≡ ナビゲーション: ▼ > アプリケーション > テスト > 繰り返し性テスト > 。

設定は以下のサブセクションに分かれています:

- 仕様
- 管理
- レポート

仕様

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	–
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d
繰り返しの回数	一連の分銅測定回数を定義します。	数字 (10* 4...20)
風袋容器	風袋容器を使用するかどうかを設定します。	有効 無効*

* 工場出荷時設定

テストポイント

パラメータ	説明	値
公称重量	テストに使用する分銅の公称値を定義します。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
分銅クラス	OIMLまたはASTMに従って分銅クラスを定義します。または、 独自 パラメータでカスタマイズされた公差クラスを作成します。	E1 E2 F1 F2* M1 M2 M3 ASTM000 ASTM00 ASTM0 ASTM1 ASTM2 ASTM3 ASTM4 ASTM5 ASTM6 ASTM7 独自
管理限界	設定値に対するプロセスのエラー許容範囲を定義します。値 管理限界 の超過は品質要件に対する違反であるので、プロセス修正が必要になります。 値 管理限界 を超過している場合: テストに失敗すると、天びんは規格外になります。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
警告限度	上限または下限を定義し、それを超過した場合、または到達しない場合、より厳格なプロセス監視が必要になります。 警告限度 は 管理限界 よりも小さくなければなりません。 値 警告限度 を超過した場合の結果: テストは合格しましたが、差異は予期したものより大きいです。	有効 無効* 数字

* 工場出荷時設定

管理

パラメータ	説明	値
エラー管理	調整に失敗すると、天びんを自動的にブロックします。	有効 無効*
計画	テストが自動的に実行されるタイミングを計画します。	有効 無効*

パラメータ**計画**が有効になっている場合、以下のオプションが使用できます。

パラメータ	説明	値
頻度	テストが自動的に実行される頻度を計画します。	日単位* 週単位 隔週 毎月 隔月 年4回 年2回 年次
時間	テストが自動的に実行される時間を計画します。	数字
通知	予定されているテストについてどれくらい前に通知されるかを設定します（時間単位）。	数字

* 工場出荷時設定

レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	天びんの水平状態を発行するかどうかを設定します。	水平状態

以下も参照してください

 繰り返し性テスト ▶ 70 ページ

6.5.3 設定:偏置誤差テスト

≡ ナビゲーション: ▼ >  アプリケーション >  テスト >  偏置誤差テスト > .

設定は以下のサブセクションに分かれています:

-  仕様
-  管理
-  レポート

仕様

パラメータ	説明	値
使用中のメソッド	アプリケーションに使用するメソッドを定義します。	—
計量プロファイル	計量プロファイルを定義します。	一般* 10d

* 工場出荷時設定

テストポイント

パラメータ	説明	値
公称重量	テストに使用する分銅の公称値を定義します。	数字 利用可能な単位は、 天びんのモデルによ って異なります。
分銅クラス	OIMLまたはASTMに従って分銅クラスを定義します。または、 独自 パラメータでカスタマイズされた公差クラスを作成します。	E1 E2 F1 F2* M1 M2 M3 ASTM000 ASTM00 ASTM0 ASTM1 ASTM2 ASTM3 ASTM4 ASTM5 ASTM6 ASTM7 独自

管理限界	設定値に対するプロセスのエラー許容範囲を定義します。値 管理限界 の超過は品質要件に対する違反であるので、プロセス修正が必要になります。 値 管理限界 を超過している場合: テストに失敗すると、天びんは規格外になります。	数字 利用可能な単位は、天びんのモデルによって異なります。
警告限度	上限または下限を定義し、それを超過した場合、または到達しない場合、より厳格なプロセス監視が必要になります。警告限度は 管理限界 よりも小さくなければなりません。 値 警告限度 を超過した場合の結果: テストは合格しましたが、差異は予期したものより大きいです。	有効 無効* 数字

* 工場出荷時設定

管理

パラメータ	説明	値
エラー管理	調整に失敗すると、天びんを自動的にブロックします。	有効 無効*
計画	テストが自動的に実行されるタイミングを計画します。	有効 無効*

パラメータ**計画**が有効になっている場合、以下のオプションが使用できます。

パラメータ	説明	値
頻度	テストが自動的に実行される頻度を計画します。	日単位* 週単位 隔週 毎月 隔月 年4回 年2回 年次
時間	テストが自動的に実行される時間を計画します。	数字
通知	予定されているテストについてどれくらい前に通知されるかを設定します（時間単位）。	数字

* 工場出荷時設定

レポート

パラメータ	説明	値
ヘッダとフッタ	発行するヘッダーおよび / またはフッターを定義します。	タイトル 日付/時刻 ユーザー Signature 空白のライン
天びん情報	天びんに関するどの情報を発行するかを定義します。	機器タイプ 機器名 機器ID シリアル番号 ソフトウェア・バージョン
品質情報	天びんの水平状態を発行するかどうかを設定します。	水平状態

以下も参照してください

[🔗 偏置誤差テスト ▶ 71 ページ](#)

7 メンテナンス

天びんの機能と計量結果の正確さを保証するには、ユーザーがメンテナンスを実行する必要があります。

7.1 メンテナンス作業

メンテナンスアクション	推奨される間隔	備考
調整の実行	- 毎日 - クリーニング後 - 水平調整後 - 場所の変更後	「調整」を参照
日常点検の実施 (偏置誤差テスト、繰り返し性テスト、感度テスト)。 METTLER TOLEDO 少なくとも感度テストの実施を推奨します。	- クリーニング後 - 天びんの組立て後 - ソフトウェアアップデート後 - 社内規定 (SOP) に従って行う	「テスト」を参照
清掃	- 毎回の使用後 - 汚染等級によります - 社内規定 (SOP) に従って行う	「クリーニング」を参照
ソフトウェアのアップデート	- 社内規定 (SOP) に従って行う。 - 新しいソフトウェアのリリース後。	「ソフトウェアアップデート」を参照

以下も参照してください

[調整 ▶ 66 ページ](#)

[テスト ▶ 68 ページ](#)

[洗浄 ▶ 132 ページ](#)

[ソフトウェアアップデート ▶ 138 ページ](#)

7.2 洗浄

7.2.1 清掃のために分解

i 注

天びんのモデルによって、見た目が異なることがあります。

i 注

ほとんどの場合は、天びんを清掃する際に保護カバーを取り外す必要はありません。

7.2.1.1 風防を備えた天びん



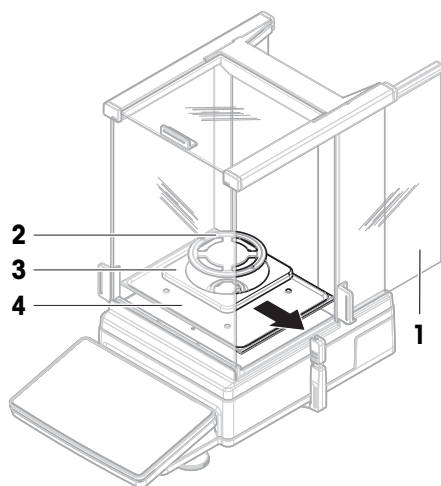
⚠ 注意

鋭い物体や破損したガラスによる負傷

ガラスなどの機器コンポーネントが破損して負傷することがあります。

– いつも慎重に集中して行ってください。

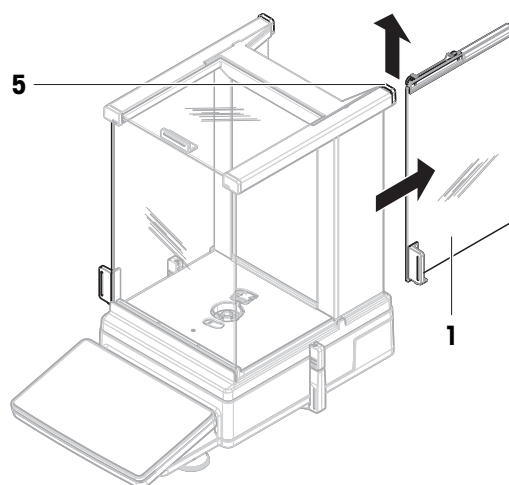
- 1 サイドドア (1) を完全に開きます。
- 2 計量皿 (2) を取り外します。
- 3 最小表示0.01 mgの天びんのみ：風防保護材を取り外します (3)。
- 4 ドリップトレイ (4) を取り出します。



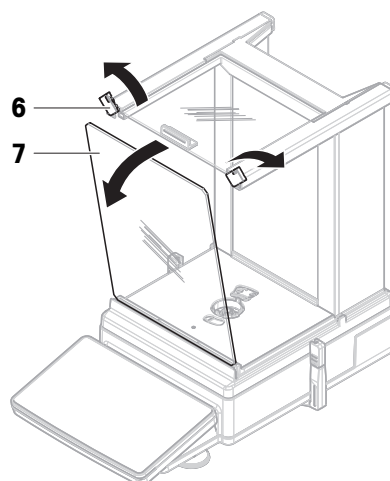
- 5 QuickLock (5) を持ち上げて、サイドドア (1) を後ろに向かって引き、取り外します (右、左)。

注記: 機器の損傷

取り外しの際は、サイドドア (1) をしっかりと保持してください。



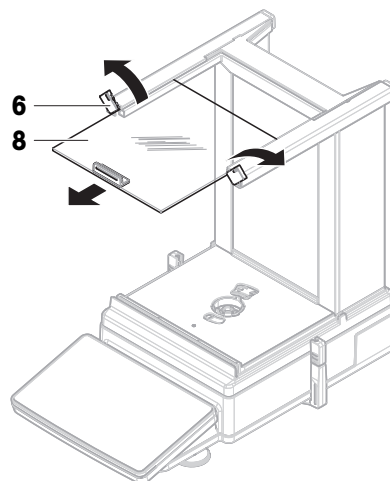
- 6 QuickLock (6、右、左) を回し、フロントパネル (7) を前に傾けて、上に持ち上げて取り外します。



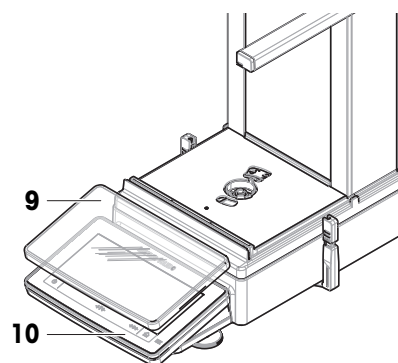
7 上部ドア（**8**）を手前に引いて取り外します。

注

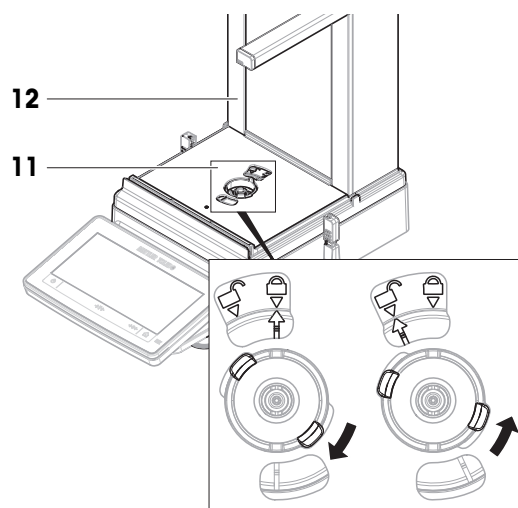
オプション（必要な場合）：洗浄のために、以下の説明に従って保護カバーを取り外してください。



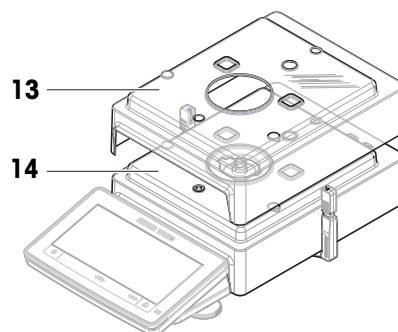
8 保護カバー（**9**）をターミナル（**10**）から外します。



9 QuickLock（**11**）を開き、風防（**12**）を取り外します。

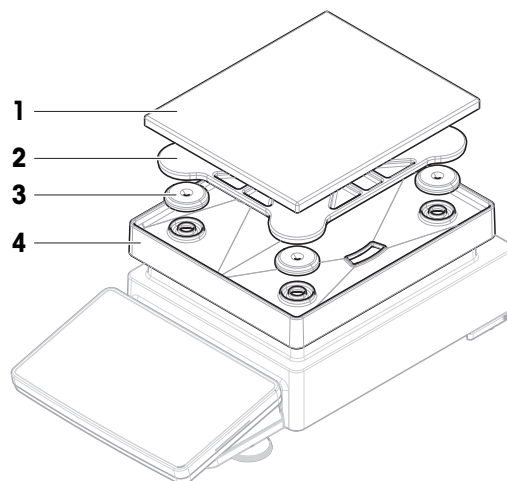


10 保護カバー（**13**）をプラットフォーム（**14**）から外します。

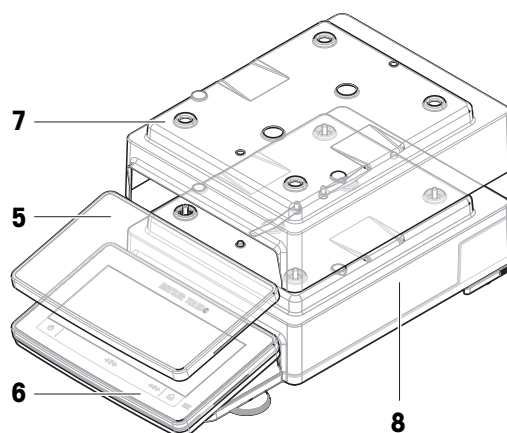


7.2.1.2 風防の無い天びん

- 1 計量皿（1）を取り外します。
- 2 計量皿サポート（2）および/またはサポートキャップ（3）を取り外します（該当する場合）。
- 3 ドリフトトレイ（4）を取り出します。

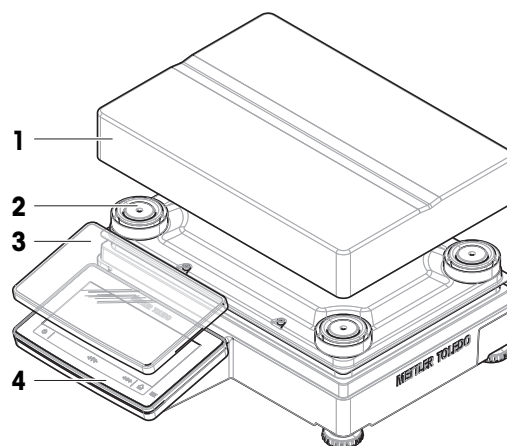


- 4 オプション（必要な場合）：保護カバー（6）をターミナル（5）から外します。
- 5 オプション（必要な場合）：保護カバー（7）をプラットフォーム（8）から外します。



7.2.1.3 天びん、大型

- 1 計量皿（1）を取り外します。
- 2 サポートキャップ（2）を取り外します。
- 3 オプション（必要な場合）：保護カバー（3）を端子（4）から外します。



7.2.2 洗浄剤

次の表に、METTLER TOLEDOが推奨する清掃用具と洗浄剤を示します。表に指定されているエージェントの濃度に注意を払います。

		用具			洗浄剤						
		ティッシュペーパー	ブラシ	食器洗浄機	水	アセトン	エタノール (70%)	イソプロパノール (70%)	塩酸 (3~10%)	水酸化ナトリウム (1~4%)	過酢酸 (2-3%)
天びんのまわり	天びんハウジング	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓
	脚	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓
天びんターミナル	ターミナル	✓	✓	—	✓	PR	✓	✓	✓	✓	✓
	ディスプレイ	✓	✓	—	✓	PR	✓	✓	✓	✓	✓
	ターミナルカバー	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	PR	PR
天びん風防	ガラスパネル	✓	✓	✓	✓	PR	✓	✓	✓	✓	✓
	非着脱式ハンドルとフレーム	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	✓	✓	✓
計量部分	計量皿	✓	✓	✓	✓	PR	✓	✓	✓	✓	✓
	ドリップトレイ	✓	✓	✓	✓	PR	✓	✓	—	—	✓
アクセサリ	ダストカバー	✓	✓	—	✓	—	✓	✓	—	—	PR
	静電気除去キット	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—

凡例

- ✓ METTLER TOLEDOにより推奨：制限事項なしにお使いいただけます。
- PR METTLER TOLEDOにより一部推奨：露出時間との関連を含め、酸およびアルカリに対する個々の耐性を評価する必要があります。
- 非推奨。損傷の高い危険性。

7.2.3 天びんの清掃



注記

不適切な洗浄方法による機器の損傷

液体がハウジングに入った場合、機器に損傷を与える恐れがあります。ある種の洗浄剤、溶剤、研磨剤によって、機器の表面が損傷することがあります。

- 1 機器に液体をかけたり、噴霧したりしないでください。
- 2 ガイド「8 Steps to a Clean Balance」または機器のリファレンスマニュアル (RM) で指定されている洗浄剤のみを使用してください。
- 3 機器の清掃には、少し湿らせたリントフリーの布またはティッシュのみを使用してください。
- 4 こぼした場合は、すぐに拭き取ってください。



天びんの清掃に関する詳細については、「8 Steps to a Clean Balance」を参照してください。

▶ www.mt.com/lab-cleaning-guide

天びん周辺の清掃

- 天びんのまわりから土やほこり取り除き、汚染を予防します。

ターミナルの清掃

- 糸くずの出ない布またはティッシュと中性洗浄剤でターミナルをクリーニングします。

取り外し可能な部品のクリーニング

- 糸くずの出ない布またはティッシュと中性洗剤ですべての取り外し可能な部分をクリーニングするか、食器洗浄機 (80 °Cまで) で洗浄します。

天びんの清掃

- 1 AC/DCアダプターから天びんを切断します。
- 2 中性洗剤で湿らせたリントフリーの布を使用して、天びんの表面をクリーニングします。
- 3 最初に使い捨てティッシュで粉体やほこりを拭き取ります。
- 4 糸くずの出ない湿った布と、水で希釈した溶剤（例えば、70%のイソプロパノールまたはエタノール）を使用して、粘性の高い物質を除去します。

7.2.4 清掃後における機器の準備

- 1 天びんを元通りに組み立てます。
- 2 風防ドア (上部、側面) が普通に開閉することを確認します (該当する場合)。
- 3 AC/DCアダプターに天びんを再接続します。
- 4 水平調整の状態を確認し、必要であれば天びんの水平調整を行います。
- 5 「技術データ」に指定されたウォームアップに従ってください。
- 6 内部分銅調整を実施します。

- 7 社内規定に従って定期的にテストを実施してください。METTLER TOLEDOは天びん洗浄後に感度テストを実施することをお勧めします。
- 8 →0←を押して天びんをゼロ点に戻します。
➡ 天びんは使用するための準備が整っています。

以下も参照してください

- 🔗 天びんの水平調整 ▶ 34 ページ
- 🔗 技術仕様 ▶ 149 ページ
- 🔗 内部分銅調整の実行 ▶ 67 ページ

7.3 サービス

認定サービス技術者による定期的な保守・点検により、長期にわたって信頼性を維持できます。利用できるサービスオプションの詳細については、METTLER TOLEDOのサービス担当者までお問い合わせください。

7.4 ソフトウェアアップデート

ソフトウェアの検索:

▶ www.mt.com/labweighing-software-download

ソフトウェアのアップデートにサポートが必要な場合はMETTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。

METTLER TOLEDO ソフトウェアの更新の前に、データをストレージデバイスに保存することをお勧めします。

7.4.1 ソフトウェアのアップデート

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ≡ メンテナンス > ≡ ソフトウェアアップデート
ソフトウェアアップデート機能は、該当する権限を持つユーザーのみが使用できます。



注記

ソフトウェア更新中にUSBメモリを取り外す

ソフトウェア更新中は、USBメモリを取り外さないでください。取り外した場合、天びんソフトウェアのインストールが不完全または失敗する可能性があります。

- ソフトウェアインストーラを含むUSBメモリを天びんに接続します。推奨のフォーマットはFAT32です。
- 1 ≡ ソフトウェアアップデートをタップします。
- 2 ソフトウェアアップデートを選択します。
- 3 ➡ 次へをタップします。
➡ アップデートウィザードが開くと、手順ごとの測定手順が表示されます。
- 4 指示されたら、**ライセンス契約の条項に同意します**をタップして✓ OKで確定します。

7.4.2 ソフトウェアアップデートの操作の準備

- 1 電源を押して天びんのスイッチを入れます。
- 2 水平状況をチェックします。必要に応じて天びんの水平調整を実施します。
- 3 内部分銅調整を実施します。
- 4 会社の内部規則に従って定期的なテストを実行します。
- 5 →0←を押して天びんをゼロ点に戻します。
 - ➡ 天びんは使用するための準備が整っています。

以下も参照してください

- 🔗 天びんの水平調整 ▶ 34 ページ
- 🔗 内部分銅調整の実行 ▶ 67 ページ

7.5 水平の調整

水準器センター調整機能は、レベルコントロールが正常に機能しているかを定期的にチェックするために使用できます。レベルコントロールのドットが期待どおりに動かない場合は、この機能を使用して水平調整をします。

≡ ナビゲーション：≡ 天びんメニュー > ≡ メンテナンス > ⚙️ 水準器センター調整

- 1 水準器センター調整機能に移動します。
- 2 ▶ 開始をタップします。
- 3 画面に表示されるガイダンスに従います。
- 4 次をタップし、✓ 終了。
 - ➡ 水平調整されます。
 - ➡ 天びんは使用するための準備が整っています。

以下も参照してください

- 🔗 天びんの水平調整 ▶ 34 ページ

8 トラブルシューティング

考えられるエラーとその原因および解決方法については次の章で説明します。次の説明を実行してもエラーが修正できない場合は、METTLER TOLEDOにお問い合わせください。

8.1 エラーメッセージ

エラーメッセージ	考えられる原因	診断	対処方法
天びんにエラーコードが表示されます。	ソフトウェアまたはハードウェアのエラー。	–	天びんを再起動します。エラーが解消されない場合、天びんをリセットしてください。問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
日付と時刻が失われました	バッテリー残量が少なくなっています。 バッテリーバックアップが失われました。	日付と時刻の設定を確認します。	天びんを電源コンセントに接続し、バッテリーを2～3日間充電します。 日付と時刻を設定してください。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
ドラフトシールドとの通信ができません。 バックライト風防付き天びんにのみ適用されます。	コンタクトピンが汚れているか、互いにフィッティングしていません。	天びんと風防の間のコンタクトピンを確認します。	コンタクトピンを清掃または調整します。
	風防が故障しています。	–	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
計量ブリッジとの通信ができません。	内部通信が正常に機能していません。	–	天びんをリセットします。 天びんソフトウェアを再インストールします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。

エラーメッセージ	考えられる原因	診断	対処方法
データメモリ不良	EEPROMが破損しています。	－	天びんをリセットします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
メモリフル。	メモリがいっぱいです。	－	天びんをリセットします。
標準調整なし。	標準調整がないか無効です。	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
プログラムメモリ不良。	保存されているプログラムのチェック・サムが正しくありません。	－	天びんソフトウェアを再インストールします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
温度センサ不良。	セル温度を測定する温度センサが故障しています。	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
タイプデータ破損。	TDNRが破損しています。	－	天びんをリセットします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
起動時に予期せぬ問題が発生しました。	天びんの始動中に問題が発生しました。一部のデータがメモリから正確に読み込めていない可能性があります。	－	天びんを再起動します。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
不明なエラー	特定できない問題による一般的なエラー。	－	天びんを再起動します。 天びんをリセットします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。

エラーメッセージ	考えられる原因	診断	対処方法
ユーザーデータ破損。	ユーザーデータが破損しているか、そのコンテキストが正しくありません。	－	天びんをリセットします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
誤ったセルデータ。	セルデータが破損しているか、またはそのチェックサムが正しくありません。	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
誤った法的に影響を及ぼす認証。 承認された天びんにのみ適用されます。	－	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。

8.2 エラーの症状

エラーの症状	考えられる原因	診断	対処方法
天びんに有効な日付と時刻が表示されません。	バッテリー残量が少なくなっています。 バッテリーバックアップが失われました。	日付と時刻の設定を確認します。	天びんを電源コンセントに接続し、バッテリーを2～3日間充電します。 日付と時刻を設定してください。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
画面が暗くなります。	天びんはスタンバイまたは省電力モードになっています。	－	天びんの電源を入れます。
	電力がない。	AC/DCアダプタとコンセントへの接続を確認します。	天びんを電源コンセントに接続します。 「天びんの接続」を参照してください。
	間違ったAC/DCアダプタが天びんに接続されています。	AC/DCアダプタを確認します。「技術データ」を参照してください。	正しいAC/DCアダプタを使用します。
	AC/DCアダプタが故障しています。	－	AC/DCアダプタを交換します。
	表示に不具合があります。	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。

エラーの症状	考えられる原因	診断	対処方法
天びんがいかなる入力にも反応しません。	ソフトウェアがフリーズします。	–	電源ケーブルを天びんから取り外し、数秒後に再接続します。 天びんをリセットします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
天びんが正常に起動しません。	天びんに電源が接続されていません。	AC/DCアダプタが差し込まれているか確認してください。	AC/DCアダプタを接続します。
	AC/DCアダプタが故障しています。	別のAC/DCアダプタが利用可能かどうかを確認してください。	AC/DCアダプタを交換します。「アクセサリ」を参照してください。
分銅を取り外しても天びんがゼロに戻らない。	計量皿になにかが触れている。 計量皿に汚れや埃が付着している。	計量皿を取り外し、汚れやほこりがないか確認します。	計量皿をクリーニングします。 問題が解決しない場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
風袋引きに失敗しました。	計量台が振動しています。	☑️をタップして、表示値がまだ不安定かどうか確認します。	天びんを振動のない計量台の上に置きます。
	計量サンプルが静電気を帯びています。	計量皿の点検用分銅を減らしてください。計量結果が安定しているか確認します。	風防付き天びん：水容器を計量室に入れて湿度を上げます。 静電気除去装置を使用してください。「アクセサリ」を参照してください。
	天びんが風にさらされています。	風の発生源を確認してください。	天びんを風のない場所に置きます。
内部部分銅調整に失敗しました。	計量皿に分銅が載っています。	–	計量皿から分銅を外します。
	繰り返し性が悪い。	–	繰り返し性テストを実行します。
	内蔵分銅が正常に機能していません。	–	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
感度テストに失敗しました。	計量皿に分銅が載っています。	–	計量皿から分銅を外します。

エラーの症状	考えられる原因	診断	対処方法
	内蔵分銅が正しく機能していません。	－	METTLER TOLEDOサービス担当者にお問い合わせください。
繰り返し性テストに失敗します。	偏置誤差が公差範囲外です。	偏置誤差テストを実行します。	偏置誤差テストに失敗した場合は、METTLER TOLEDOサービス担当者に連絡してください。
	環境が不安定です。	－	天びんを適切な環境条件の場所に設置します。
ディスプレイにオーバーロード/アンダーロードと表示される。	間違った計量皿が取り付けられています。	計量皿を少し傾けるまたは押して、計量が表示されないか確認してください。	適切な計量皿を設置します。
	計量皿が取り付けられていない。	－	適切な計量皿を設置します。
	ドリップトレイが上下逆に取り付けられています。	－	ドリップトレイを回転させて正しい向きに取り付けてください。
	天びんのスイッチを入れたときのゼロ点が間違っています。	－	電源ケーブルを外し、数秒後に再接続します。
	天びんが調整されていない。	－	内部分銅調整を実施します。「内部分銅調整の実行」を参照してください。
画面の値が変動する。	建物の振動、歩行者などによる計量台の振動。	水を入れたビーカーを計量ベンチに置きます。振動は水の表面のさざなみの原因になります。	衝撃吸収材などで計量場所を振動から保護します。 ちがう計量場所を探します。
	風防ががゆるいおよび/または窓が開いていることによる風の影響	風防のすきまを確認します。	風防をしっかりと固定します。 窓を閉めます。
	計量サンプルが静電気を帯びています。	試験荷重を使用して計量結果が安定しているか確認してください。	計量室の湿度を上げる。 イオナイザーを使用します。「アクセサリ」を参照してください。
	場所が計量に適していません。	－	場所の条件に従ってください。「設置場所の選択」を参照してください。

エラーの症状	考えられる原因	診断	対処方法
	計量皿になにかが触れている。	触れているものや、ほこりがあるか確認してください。	触れているものを取り除きます。 天びんをクリーニングします。
画面の値がプラスまたはマイナスにドリフトする。	場所が計量に適していません。	－	天びんを適切な環境条件の場所に設置します。
	計量サンプルは、湿気を吸収または蒸発します。	試験荷重を使用して計量結果が安定しているか確認してください。	計量サンプルを覆います。
	計量サンプルが静電気を帯びています。	点検用分銅を使用して、計量結果が安定しているか確認してください。	計量室の湿度を上げます。 イオナイザーを使用します。「アクセサリ」を参照してください。
	計量サンプルが、計量室の空気より暖かいまたは冷たい。	順応した試験荷重を使用した時に、計量結果が安定しているか確認します。	サンプルを室温にします。
	天びんがまだウォームアップがされていない。	－	天びんをウォームアップします。適切なウォーミングアップ時間は、「一般データ」のセクションに記載されています。
測定データが失われました。 このエラーは、 一般計量アプリケーション が承認された天びんで実行されている場合にのみ発生します。	測定が完了する前に天びんが再起動するか、省電力モードになります。	天びんの再起動後、または天びんが省電力モードを終了すると、測定データが失われます。	測定を完了します。その後、天びんを再起動するか、天びんを省電力モードにします。
天びんの水平調整ができません。	水平が正しく調整されていません。	水平指示部のドットが1つずつ動かない、または期待どおりに反応しません。	水平（ 水準器センター調整 ）の調整を行います。
設定セクション > LabX は使用できません。	機器のソフトウェアのバージョンが2.0未満です。	機器のソフトウェアのバージョンが2.0以降であることを確認します。	機器のソフトウェアのバージョンを2.0以降に更新します。
LabXへの接続に失敗します。	タイムサーバーが正しく設定されていません。	タイムサーバーとドメイン名の設定を確認します。	タイムサーバーを設定します。

エラーの症状	考えられる原因	診断	対処方法
	• 無効なドメイン名		• 適切なドメイン名を入力します。
	イーサネット接続が切断されています。	- イーサネットケーブルの接続を確認します。 - ローカルイーサネットが機能しているか確認します。	- イーサネットケーブルを接続します。 - イーサネット接続を修正するには、担当のIT部門にお問い合わせください。
	機器がLabXから登録解除されています。	—	機器をLabXに登録します。
LabXにログイン中にタイムアウトしました。	タイムアウトのため、LabXにログインできません。	LabXサーバーへの接続を確認します。	電源ケーブルを抜き、再接続します。 LabXサーバーへの接続を設定します。

8.3 LabXのトラブルシューティング

LabXセットアップメニューセクションではローカルアドミニストレータ権限が必要です。ローカルアドミニストレータは、機器のすべてのLabXユーザに適用される設定を調整できます。

以下も参照してください

 ローカル管理者の設定 ▶ 84 ページ

8.3.1 LabXセットアップメニューセクションへのログイン

- ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。
 - 機器の電源をオンにします。
 - LabXログイン画面が表示されます。
- 1  終了してLabXセットアップへをタップします。
 - 2 ユーザ名とパスワードを入力します。
 - 3  ログインをタップします。
- ➔ LabXセットアップメニューセクションが表示されます。

8.3.2 日付と時刻に関連する設定の変更

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  設定 >  天びん >  日付 / 時刻

- ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。
- 1 LabXセットアップメニューセクションにログインします。
 - 2 設定 > 天びんセクションに移動します。
 - 3 日付 / 時刻設定をタップします。
 - 4 必要に応じて設定を調整します。
 - 5  OKをタップします。
 - 6  保存をタップします。

以下も参照してください

 LabXセットアップメニューセクションへのログイン ▶ 146 ページ

8.3.3 イーサネットの設定

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  設定 >  インタフェース

■ ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。

- 1 LabXセットアップメニューセクションにログインします。
- 2 設定 > インタフェースセクションに移動します。
- 3 イーサネット設定をタップします。
- 4 必要に応じて設定を調整します。
- 5  OKをタップします。
- 6  保存をタップします。

以下も参照してください

 LabXセットアップメニューセクションへのログイン ▶ 146 ページ

8.3.4 証明書のアップロード

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  設定 >  LabX

■ ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。

- 1 LabXセットアップメニューセクションにログインします。
- 2 設定 > LabXセクションに移動します。
- 3 CA証明書 / TLSオプションをタップします。
- 4 使用可能な証明書をタップして、詳細情報を表示します。
- 5  をタップして、選択した証明書を削除します。
- 6  をタップして、新しい証明書をアップロードします。

 注

証明書のファイル拡張子は.crtである必要があります。

- 7  OKをタップします。
- 8  保存をタップします。

8.3.5 LabXを無効にする

≡ ナビゲーション：≡ LabXセットアップメニュー >  設定 >  LabX

 注

LabXを無効にするには、機器を工場出荷時の状態にリセットする必要があります。機器に保存されているデータは失われます。

■ ユーザにはローカルアドミニストレータ権限があります。

- 1 LabXセットアップメニューセクションにログインします。
- 2 設定 > LabXセクションに移動します。
- 3 LabX無効化オプションをタップします。
- 4  次へをタップします。

5 **リセット**をタップします。

- ➡ 機器とLabXの接続が解除されました。機器に保存されているデータが失われました。
- ➡ LabXでは、機器と測定データを引き続き使用できます。

以下も参照してください

 LabXセットアップメニューセクションへのログイン ▶ 146 ページ

8.4 サポートファイルの保存

METTLER TOLEDOサービス担当者にヘルプを要請すると、サポートファイルの送信が求められる場合があります。このファイルは分析され、天びんの問題の解決に役立ちます。

≡ ナビゲーション: ≡ 天びんメニュー > ≡ メンテナンス

- **メンテナンス**セクションが開きます。
- USBメモリが使用可能です。推奨のフォーマットはFAT32です。
- 1 **サポートファイルの保存**をタップします。
- 2 USBメモリを天びんに接続します。
- 3 **✓ OK**をタップします。
 - ➡ サポートファイルはUSBメモリに保存済みです。

8.5 エラー修正後の稼働の準備

トラブルシューティングの後、次の手順を実行し、天びんを操作できる状態にします。

- 天びんが完全に組立てられ、きれいな状態であることを確認します。
- AC/DCアダプターに天びんを再接続します。

9 技術仕様

9.1 一般仕様

最小表示が0.01 mg および 0.1 mg の天びんの電源

AC/DCアダプタ:	入力: 100 – 240 V AC $\pm$ 10%、50 – 60 Hz、0.8 A、61 – 80 VA 出力: 12V DC、2.5A、LPS
AC/DCアダプタ用ケーブル:	3芯、国別プラグ付き
天びん消費電力:	DC12 V、1.0A
極性:	

最小表示が1mg以上の天びんの電源

AC/DCアダプタ:	入力: 100 – 240 V AC $\pm$ 10%、50 – 60 Hz、0.5 A 出力: 12 V DC、1.5 A、LPS
天びん消費電力:	DC12 V、1.0A
極性:	

保護および規準

過電圧カテゴリー:	II
汚染等級:	2
防塵防水保護等級コード:	IP41 (最小表示が0.1 mg/1 mgの天びん) IP54 (最小表示が0.01g以上の天びん)

注

前述のIPは、天びんが操作可能な状態の場合のみ達成されます。保護カバーを取り付け、キャップでインターフェース接続部をカバーする必要があります。

安全規格およびEMC規格:	適合宣言を参照してください。
使用範囲:	乾燥した室内でのみ、使用してください

環境条件

天びんは次の環境条件下で使用されるとき、限界値が適用されます:

平均海拔より高い場合:	最大 5000 m
周囲圧力:	500 mbar 以上
周囲温度:	+10 – +30 °C
最大温度変化:	5 °C/h
相対湿度:	30 – 70%、結露がない場合

順応時間: 推奨: 上皿天びんの場合は最大 **4** 時間、分析天びんの場合は最大 **8** 時間。これらの値は、天びんを実際に運用する場所と同じ場所に置いた後に適用されます。

① 注

順応時間は、天びんの最小表示と環境条件によって異なります。

ウォーミングアップ時間: 上皿天びんの場合は **30** 分以上、分析天びんの場合は **60** 分以上、最小表示 0.01 mg の天びんの場合は **120** 分以上。これらの値は、天びんを電源に接続した後、または省電力モードが終了した後に適用されます。スタンバイから天びんにスイッチを入れた場合は直ちに使用可能になります。

天びんは次の環境条件下で使用できます。ただし、天びんの計量性能は、限界値外になる場合があります。

周囲温度: +5 °C – +40 °C

相対湿度: 31 °Cにおいて20%~80%、40 °Cにおいて50%まで直線的に減少、結露なきこと

天びんは次の環境条件下で梱包の切り離しおよび保管ができます:

周囲温度: -25 – +70 °C

相対湿度: 10 - 90%、結露がない場合

9.2 材料

標準天びんのハウジング: ハウジング下部: アルミダイキャスト
ハウジング上部: アルミダイキャスト、粉体塗装仕上げ
ハウジングフレーム: POM
ターミナルフレーム: クロムメッキアルミニウム

大型天びんのハウジング: アルミダイキャスト、粉体塗装仕上げ
ハウジングフレーム: POM
ターミナルフレーム: クロムメッキアルミニウム

風防: POM (U字型トップフレーム、背面QuickLock)、PBT (ボトムプレート)、ガラス (ドア、フロントパネル)、粉末塗装アルミニウム (ポスト)、PA 12 (ハンドル、前面QuickLock)

計量皿：	最小表示0.01 mg/0.1 mgの天びん：ステンレススチール X2CrNiMo17-12-2 (1.4404) 最小表示1 mgの天びん：ダイキャスト亜鉛、クロムメッキ 最小表示0.01 gの天びん：アルミダイキャスト、クロムメッキ 最小表示0.1 gの天びん：ステンレススチール X2CrNiMo17-12-2 (1.4404) 大型天びん：ステンレススチール X5CrNi18-10 (1.4301)
風防エレメント：	最小表示0.01 mgの天びん：ステンレススチール X2CrNiMo17-12-2 (1.4404)
ドリフトレー：	アルミダイキャスト、粉体塗装仕上げ
タッチスクリーン：	ガラス
保護カバー：	PET
脚：	TPE、ステンレススチール X5CrNi18-10 (1.4301)
バッテリー：	ML2032

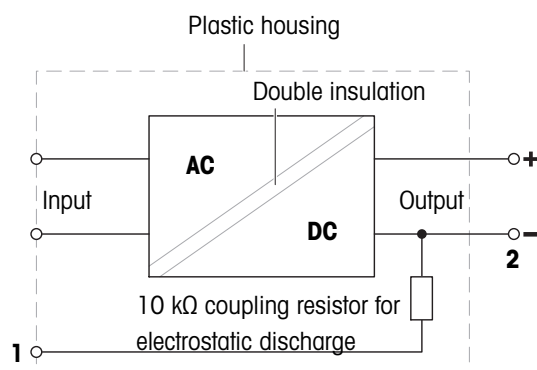
9.3 電源供給メトラー・トレドAC/DC アダプタについて

認定された外部AC / DCアダプタは、クラスII二重絶縁機器の要件に適合しています。保護アース接続ではなく、EMC目的の機能アース接続が提供されます。安全機能のアースが装備されていません。製品のコンプライアンスに関する詳細情報は、すべての製品に付属の「適合宣言」に記載されています。

欧州指針 2001/95/EC に関するテストの場合、AC/DCアダプタと機器クラス II 二重絶縁装置として取り扱う必要があります。

従ってアーステストする必要はありません。電源プラグのアースコネクタと機器の金属製ハウジングの露出部分の間でアーステストを実行する必要はありません。

機器は静電気に敏感なため、10kΩの漏洩抵抗はアースコネクタ (1) とAC/DCのマイナスポール (2) の間に接続されます。この配置を等価回路図に示します。抵抗は電子安全措施の一部ではないため、定期的なテストを行う必要はありません。



9.4 モデル別仕様

9.4.1 分析天びん、最小表示 0.01 mg または 0.1 mg

	MX105	MX105DU	MX205DU
限界値			
最大ひょう量	120 g	120 g	220 g
公称荷重	100 g	100 g	200 g
最小表示	0.01 mg	0.1 mg	0.1 mg
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	42 g	82 g
最小表示（高分解レンジ）	—	0.01 mg	0.01 mg
繰返し性（5%荷重時）	0.02 mg	0.02 mg	0.02 mg
直線性	0.1 mg	0.2 mg	0.2 mg
偏置誤差（試験荷重時）	0.3 mg (50 g)	0.3 mg (50 g)	0.3 mg (100 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	0.4 mg	0.4 mg	0.8 mg
感度:温度ドリフト	0.0002%/°C	0.0002%/°C	0.0002%/°C
代表値			
繰返し性（5%荷重時）	0.0125 mg	0.0125 mg	0.0125 mg
直線性	0.06 mg	0.06 mg	0.06 mg
偏置誤差（試験荷重時）	0.1 mg (50 g)	0.1 mg (50 g)	0.1 mg (100 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	0.25 mg	0.25 mg	0.5 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	25 mg	25 mg	25 mg
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	2.5 mg	2.5 mg	2.5 mg
安定時間	2 s	2 s	2 s
寸法及びその他の仕様			
天びん寸法（幅 × 奥行き × 高さ）	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm
計量皿直径	80 mm	80 mm	80 mm
風防有効高	235 mm	235 mm	235 mm
天びん重量	7.5 kg	7.5 kg	7.5 kg
日常点検用分銅			
分銅（OIMLクラス）	100 g (F2) / 5 g (F2)	100 g (F2) / 5 g (F2)	200 g (F2) / 10 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	100 g (ASTM 1) / 5 g (ASTM 1)	100 g (ASTM 1) / 5 g (ASTM 1)	200 g (ASTM 1) / 10 g (ASTM 1)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

	MX104	MX204	MX304
限界値			
最大ひょう量	120 g	220 g	320 g
公称荷重	100 g	200 g	300 g
最小表示	0.1 mg	0.1 mg	0.1 mg
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	—	—
最小表示（高分解レンジ）	—	—	—
繰返し性（5%荷重時）	0.1 mg	0.1 mg	0.1 mg
直線性	0.2 mg	0.2 mg	0.3 mg
偏置誤差（試験荷重時）	0.4 mg (50 g)	0.4 mg (100 g)	0.4 mg (100 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	0.5 mg	0.8 mg	1 mg
感度:温度ドリフト	0.0002%/°C	0.0002%/°C	0.0002%/°C
代表値			
繰返し性（5%荷重時）	0.05 mg	0.05 mg	0.05 mg
直線性	0.06 mg	0.06 mg	0.06 mg
偏置誤差（試験荷重時）	0.1 mg (50 g)	0.1 mg (100 g)	0.1 mg (100 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	0.3 mg	0.5 mg	0.6 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	100 mg	100 mg	100 mg
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	10 mg	10 mg	10 mg
安定時間	2 s	2 s	2 s
寸法及びその他の仕様			
天びん寸法（幅×奥行き×高さ）	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm
計量皿直径	90 mm	90 mm	90 mm
風防有効高	239 mm	239 mm	239 mm
天びん重量	6.2 kg	6.2 kg	6.2 kg
日常点検用分銅			
分銅（OIMLクラス）	100 g (F2) / 5 g (F2)	200 g (F2) / 10 g (F2)	200 g (F2) / 10 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	100 g (ASTM 1) / 5 g (ASTM 1)	200 g (ASTM 1) / 10 g (ASTM 1)	200 g (ASTM 1) / 10 g (ASTM 1)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

9.4.2 上皿天びん、最小表示 1 mg

	MX303	MX603	MX1203
限界値			
最大ひょう量	320 g	620 g	1.22 kg
公称荷重	300 g	600 g	1.2 kg
最小表示	1 mg	1 mg	1 mg
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	—	—
最小表示（高分解レンジ）	—	—	—
繰返し性（5%荷重時）	0.9 mg	0.9 mg	0.9 mg
直線性	2 mg	2 mg	2 mg
偏置誤差（試験荷重時）	3 mg (100 g)	3 mg (200 g)	3 mg (500 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	6 mg	6 mg	7 mg
感度:温度ドリフト	0.0002%/°C	0.0002%/°C	0.0002%/°C
代表値			
繰返し性（5%荷重時）	0.5 mg	0.5 mg	0.5 mg
直線性	0.6 mg	0.6 mg	0.6 mg
偏置誤差（試験荷重時）	1 mg (100 g)	1 mg (200 g)	1 mg (500 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	4 mg	4 mg	4 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	1 g	1 g	1 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	100 mg	100 mg	100 mg
安定時間	1.5 s	1.5 s	1.5 s
寸法及びその他の仕様			
天びん寸法（幅×奥行き×高さ）	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm	222 × 379 × 353 mm
計量皿寸法（幅×奥行き）	127 × 127 mm	127 × 127 mm	127 × 127 mm
風防有効高	238 mm	238 mm	238 mm
天びん重量	6.3 kg	6.3 kg	6.7 kg
日常点検用分銅			
分銅（OIMLクラス）	200 g (F2) / 10 g (F2)	500 g (F2) / 20 g (F2)	1000 g (F2) / 50 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	200 g (ASTM 1) / 10 g (ASTM 1)	500 g (ASTM 1) / 20 g (ASTM 1)	1000 g (ASTM 1) / 50 g (ASTM 1)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

	MX303N	MX603N	MX1203N
限界値			
最大ひょう量	320 g	620 g	1.22 kg
公称荷重	300 g	600 g	1.2 kg
最小表示	1 mg	1 mg	1 mg
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	—	—
最小表示（高分解レンジ）	—	—	—
繰返し性（5%荷重時）	0.9 mg	0.9 mg	0.9 mg
直線性	2 mg	2 mg	2 mg
偏置誤差（試験荷重時）	3 mg (100 g)	3 mg (200 g)	3 mg (500 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	6 mg	6 mg	7 mg
感度:温度ドリフト	0.0002%/°C	0.0002%/°C	0.0002%/°C
代表値			
繰返し性（5%荷重時）	0.5 mg	0.5 mg	0.5 mg
直線性	0.6 mg	0.6 mg	0.6 mg
偏置誤差（試験荷重時）	1 mg (100 g)	1 mg (200 g)	1 mg (500 g)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	4 mg	4 mg	4 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	1 g	1 g	1 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	100 mg	100 mg	100 mg
安定時間	1.5 s	1.5 s	1.5 s
寸法及びその他の仕様			
天びん寸法（幅×奥行き×高さ）	194 × 379 × 100 mm	194 × 379 × 100 mm	194 × 379 × 100 mm
計量皿寸法（幅×奥行き）	127 × 127 mm	127 × 127 mm	127 × 127 mm
風防有効高	—	—	—
天びん重量	4 kg	4 kg	4.4 kg
日常点検用分銅			
分銅（OIMLクラス）	200 g (F2) / 10 g (F2)	500 g (F2) / 20 g (F2)	1000 g (F2) / 50 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	200 g (ASTM 1) / 10 g (ASTM 1)	500 g (ASTM 1) / 20 g (ASTM 1)	1000 g (ASTM 1) / 50 g (ASTM 1)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

9.4.3 上皿天びん、最小表示0.01 g/0.1 g

	MX2002	MX4002	MX6002
限界値			
最大ひょう量	2.2 kg	4.2 kg	6.2 kg
公称荷重	2 kg	4 kg	6 kg
最小表示	0.01 g	0.01 g	0.01 g
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	—	—
最小表示（高分解レンジ）	—	—	—
繰返し性（5%荷重時）	8 mg	8 mg	8 mg
直線性	20 mg	20 mg	20 mg
偏置誤差（試験荷重時）	30 mg (1 kg)	30 mg (2 kg)	30 mg (2 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	80 mg	80 mg	80 mg
感度:温度ドリフト	0.0003%/°C	0.0003%/°C	0.0003%/°C
代表値			
繰返し性（5%荷重時）	4 mg	4 mg	4 mg
直線性	6 mg	6 mg	6 mg
偏置誤差（試験荷重時）	10 mg (1 kg)	10 mg (2 kg)	10 mg (2 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	50 mg	50 mg	50 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	8.2 g	8.2 g	8.2 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	820 mg	820 mg	820 mg
安定時間	1 s	1 s	1 s
寸法及びその他の仕様			
天びん寸法（幅×奥行き×高さ）	194 × 379 × 103 mm	194 × 379 × 103 mm	194 × 379 × 103 mm
計量皿寸法（幅×奥行き）	170 × 203 mm	170 × 203 mm	170 × 203 mm
風防有効高	—	—	—
天びん重量	4.9 kg	4.9 kg	5.5 kg
日常点検用分銅			
分銅（OIMLクラス）	2000 g (F2) / 100 g (F2)	2000 g (F2) / 200 g (F2)	5000 g (F2) / 200 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	2000 g (ASTM 1) / 100 g (ASTM 1)	2000 g (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)	5000 g (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

	MX6002DR	MX12002
限界値		
最大ひょう量	6.2 kg	12.2 kg
公称荷重	6 kg	12 kg
最小表示	0.1 g	0.01 g
最大ひょう量（高分解レンジ）	1.2 kg	—
最小表示（高分解レンジ）	0.01 g	—
繰返し性（5%荷重時）	8 mg	8 mg
直線性	30 mg	20 mg
偏置誤差（試験荷重時）	100 mg (2 kg)	40 mg (5 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	120 mg	70 mg
感度:温度ドリフト	0.0003%/°C	0.0003%/°C
代表値		
繰返し性（5%荷重時）	4 mg	4 mg
直線性	10 mg	6 mg
偏置誤差（試験荷重時）	32 mg (2 kg)	12 mg (5 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	80 mg	40 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	8.2 g	8.2 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	820 mg	820 mg
安定時間	1 s	1 s
寸法及びその他の仕様		
天びん寸法（幅×奥行き×高さ）	194 × 379 × 103 mm	194 × 379 × 103 mm
計量皿寸法（幅×奥行き）	170 × 203 mm	170 × 203 mm
風防有効高	—	—
天びん重量	5.5 kg	5.6 kg
日常点検用分銅		
分銅（OIMLクラス）	5000 g (F2) / 200 g (F2)	10 kg (F2) / 500 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	5000 g (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)	10 kg (ASTM 4) / 500 g (ASTM 4)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

	MX6001	MX8001
限界値		
最大ひょう量	6.2 kg	8.2 kg
公称荷重	6 kg	8 kg
最小表示	0.1 g	0.1 g
最大ひょう量（高分解レンジ）	–	–
最小表示（高分解レンジ）	–	–
繰返し性（5%荷重時）	50 mg	50 mg
直線性	60 mg	100 mg
偏置誤差（試験荷重時）	200 mg (2 kg)	300 mg (5 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	240 mg	400 mg
感度:温度ドリフト	0.0005%/°C	0.0005%/°C
代表値		
繰返し性（5%荷重時）	40 mg	40 mg
直線性	20 mg	30 mg
偏置誤差（試験荷重時）	60 mg (2 kg)	100 mg (5 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	150 mg	250 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	82 g	82 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	8.2 g	8.2 g
安定時間	0.8 s	1 s
寸法及びその他の仕様		
天びん寸法（幅 × 奥行き × 高さ）	194 × 379 × 104 mm	194 × 379 × 104 mm
計量皿寸法（幅 × 奥行き）	172 × 205 mm	172 × 205 mm
風防有効高	–	–
天びん重量	5.2 kg	5.2 kg
日常点検用分銅		
分銅（OIMLクラス）	5000 g (F2) / 200 g (F2)	5000 g (F2) / 200 g (F2)
分銅（ASTMクラス）	5000 g (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)	5000 g (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)

▲ 内蔵分銅による調整後

▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

9.4.4 上皿天びん、大型

	MX12001L	MX16001L	MX32001L	MX32000L
限界値				
最大ひょう量	12.2 kg	16.2 kg	32.2 kg	32.2 kg
公称荷重	12 kg	16 kg	30 kg	30 kg
最小表示	0.1 g	0.1 g	0.1 g	1 g
最大ひょう量（高分解レンジ）	—	—	—	—
最小表示（高分解レンジ）	—	—	—	—
繰返し性（5%荷重時）	80 mg	80 mg	80 mg	600 mg
直線性	200 mg	200 mg	250 mg	300 mg
偏置誤差（試験荷重時）	300 mg (5 kg)	300 mg (5 kg)	300 mg (10 kg)	1 g (10 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	600 mg	600 mg	800 mg	1 g
感度:温度ドリフト	0.0015%/°C	0.0015%/°C	0.0015%/°C	0.0015%/°C
代表値				
繰返し性（5%荷重時）	40 mg	40 mg	40 mg	400 mg
直線性	60 mg	60 mg	80 mg	100 mg
偏置誤差（試験荷重時）	100 mg (5 kg)	100 mg (5 kg)	100 mg (10 kg)	300 mg (10 kg)
感度オフセット（公称荷重時） ▲	400 mg	400 mg	500 mg	600 mg
最小計量値（USP、許容管理値=0.10%） ▼	82 g	82 g	82 g	820 g
最小計量値（許容管理値= 1%） ▼	8.2 g	8.2 g	8.2 g	82 g
安定時間	1.5 s	1.5 s	1.5 s	1.2 s
寸法及びその他の仕様				
天びん寸法（幅 × 奥行き × 高さ）	354 × 380 × 126 mm	354 × 380 × 126 mm	354 × 380 × 126 mm	354 × 380 × 126 mm
計量皿寸法（幅 × 奥行き）	352 × 246 mm	352 × 246 mm	352 × 246 mm	352 × 246 mm
風防有効高	—	—	—	—
天びん重量	11.7 kg	11.7 kg	11.7 kg	11.7 kg
日常点検用分銅				
分銅（OIMLクラス）	10 kg (F2) / 500 g (F2)	10 kg (F2) / 500 g (F2)	20 kg (F2) / 1 kg (F2)	20 kg (F2) / 1 kg (F2)
分銅（ASTMクラス）	10 kg (ASTM 4) / 500 g (ASTM 4)	10 kg (ASTM 4) / 500 g (ASTM 4)	20 kg (ASTM 4) / 1 kg (ASTM 4)	20 kg (ASTM 4) / 1 kg (ASTM 4)

▲ 内蔵分銅による調整後

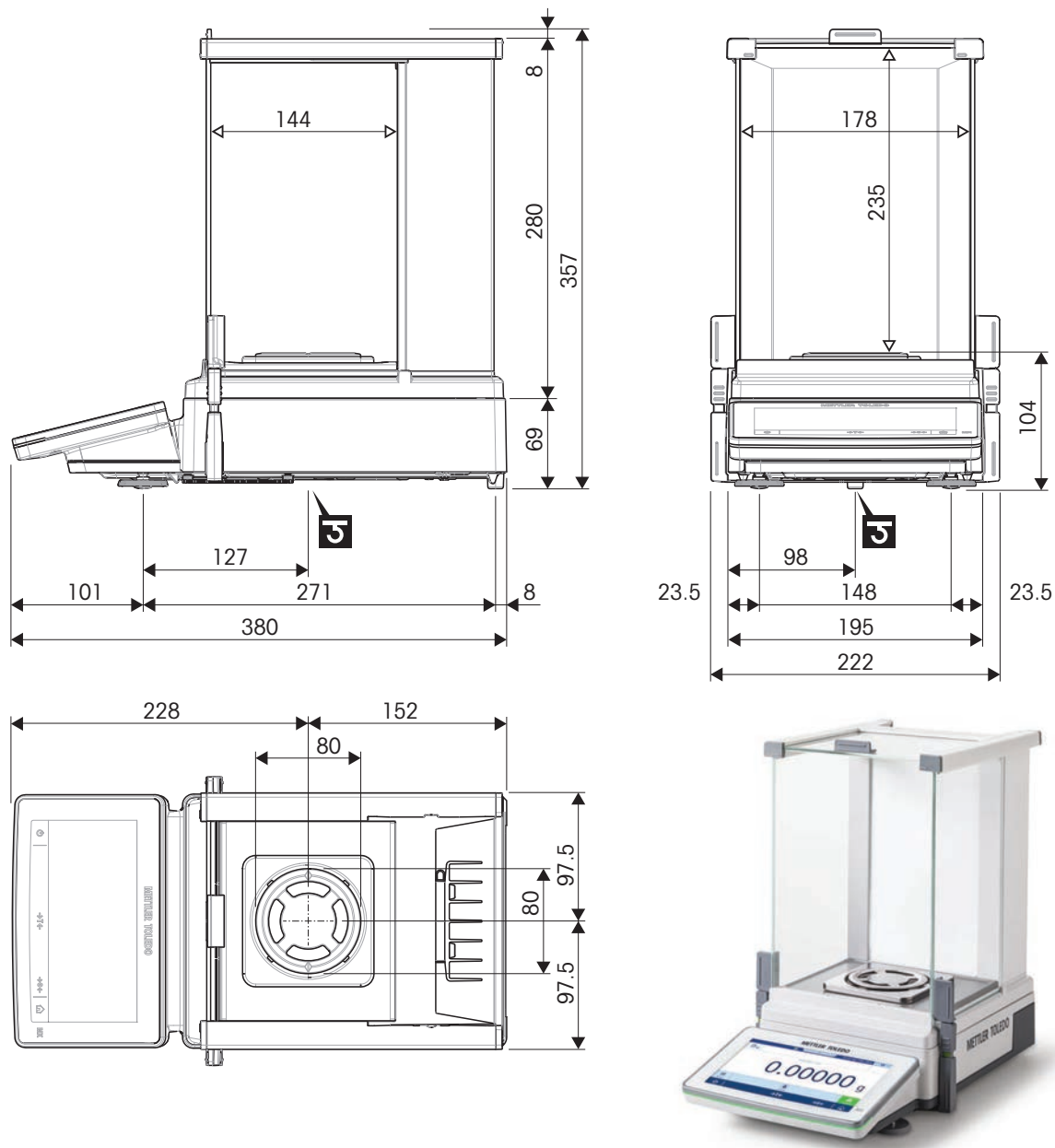
▼ 5%荷重、k = 2の条件にて

9.5 寸法

mm表示による寸法

9.5.1 分析天びん、最小表示 0.01 mg

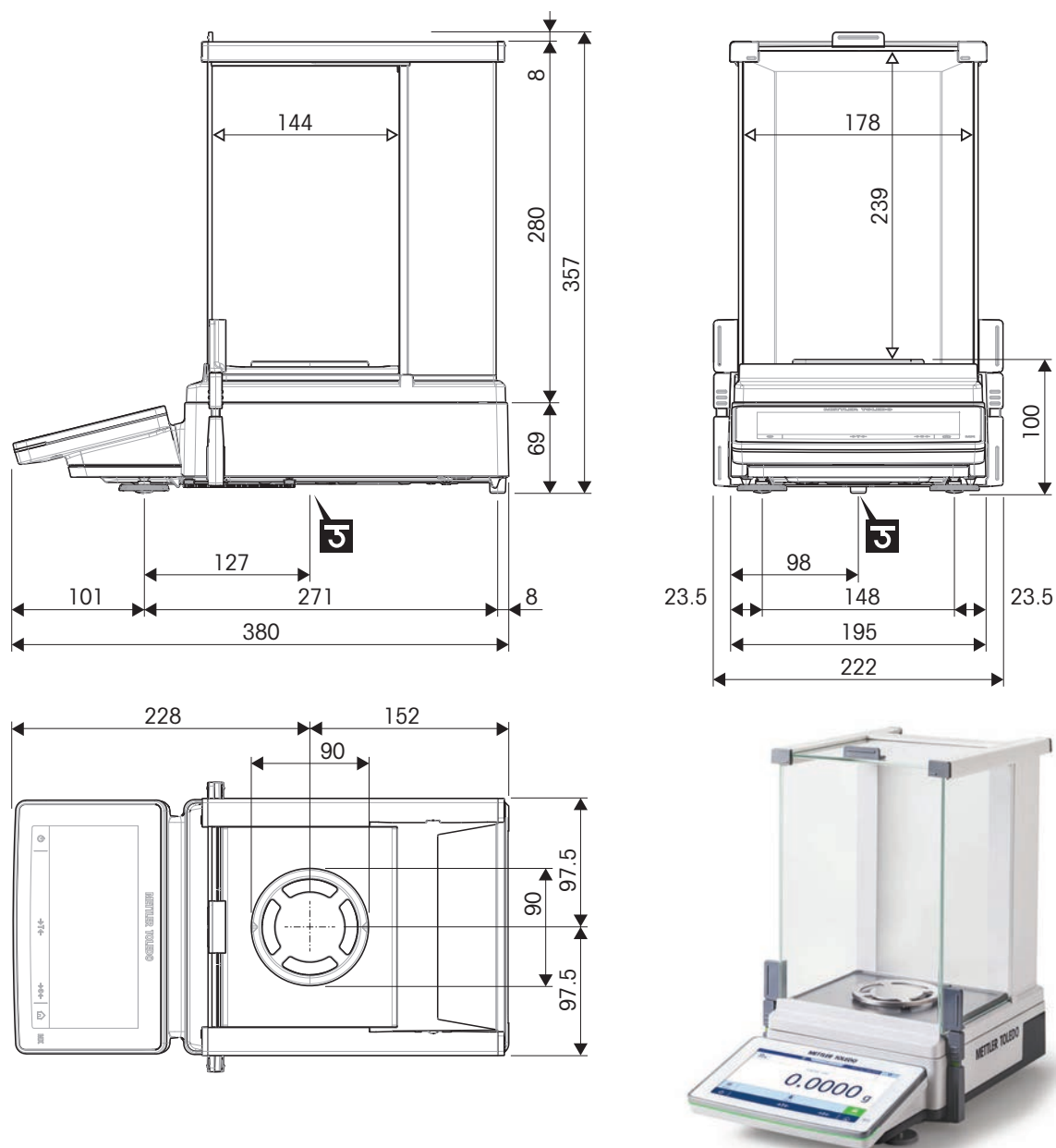
天びんモデル: MX105、MX105DU、MX205DU



↔	外形寸法 [mm]
↔	クリアな寸法 [mm]
5	計量フック軸の位置

9.5.2 MX分析天びん、最小表示 0.1 mg

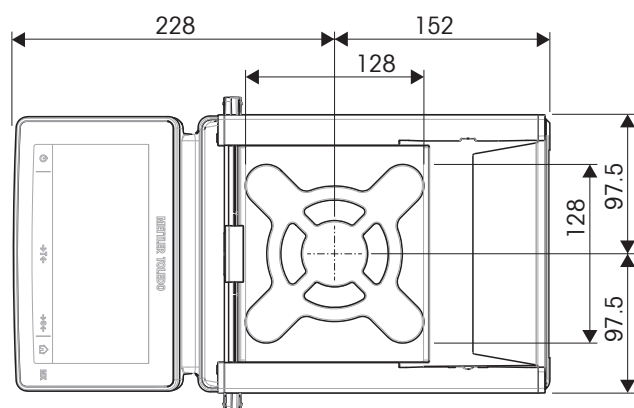
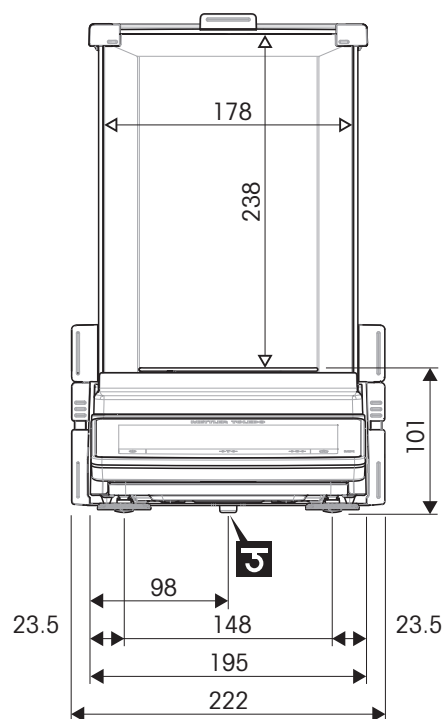
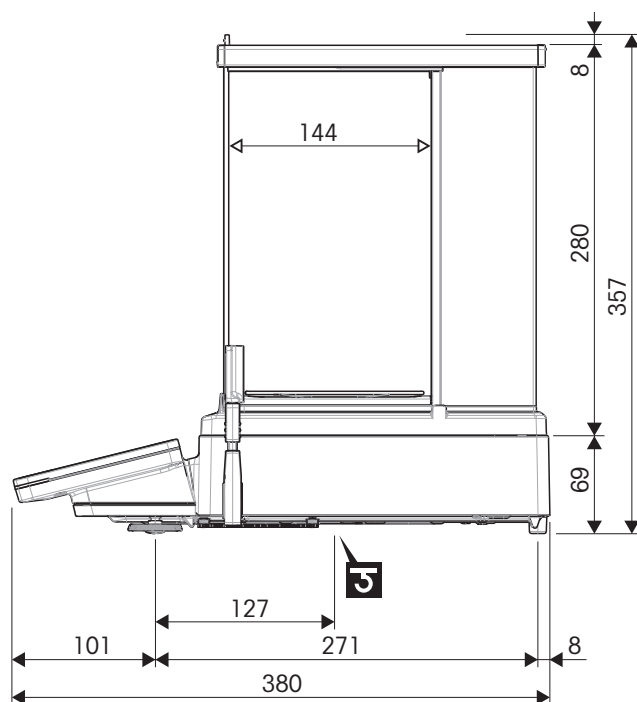
天びんモデル: MX104、MX204、MX304



↔	外形寸法 [mm]
↔	クリアな寸法 [mm]
J	計量フック軸の位置

9.5.3 MX上皿天びん、最小表示1 mg、風防付き

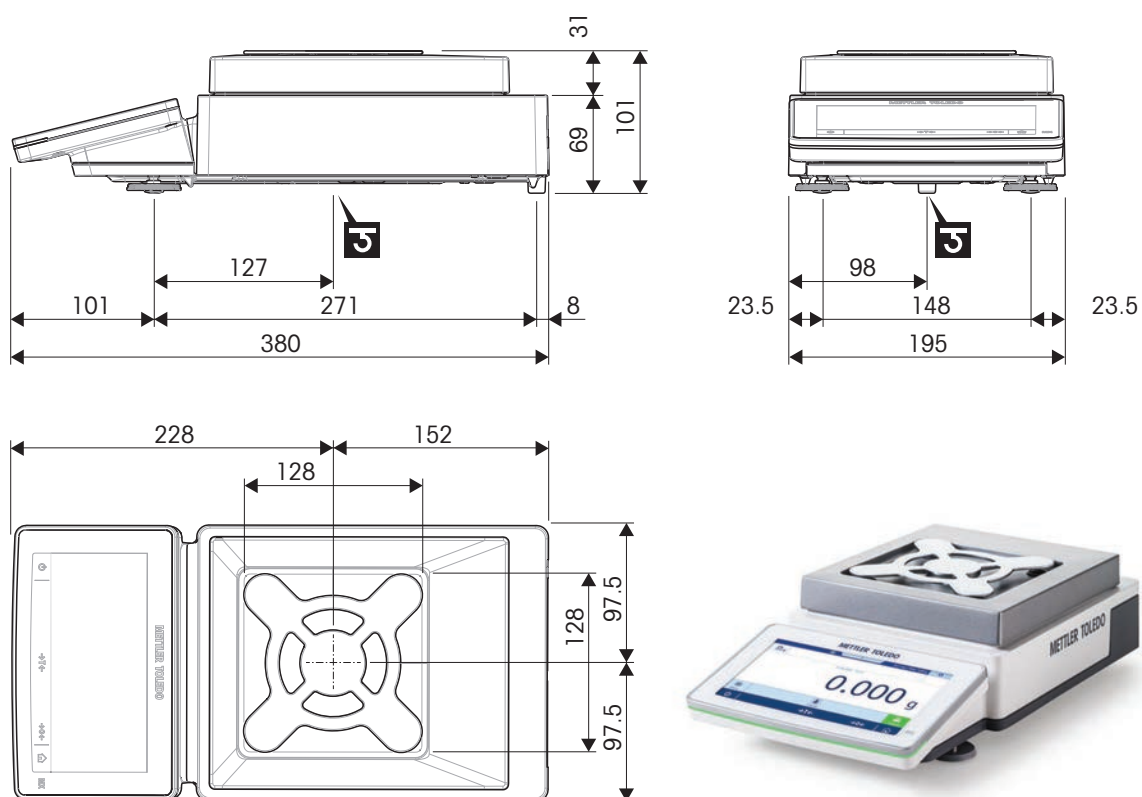
天びんモデル: MX303、MX603、MX1203



↔	外形寸法 [mm]
↔	クリアな寸法 [mm]
J	計量フック軸の位置

9.5.4 MX上皿天びん、最小表示 1 mg、風防なし

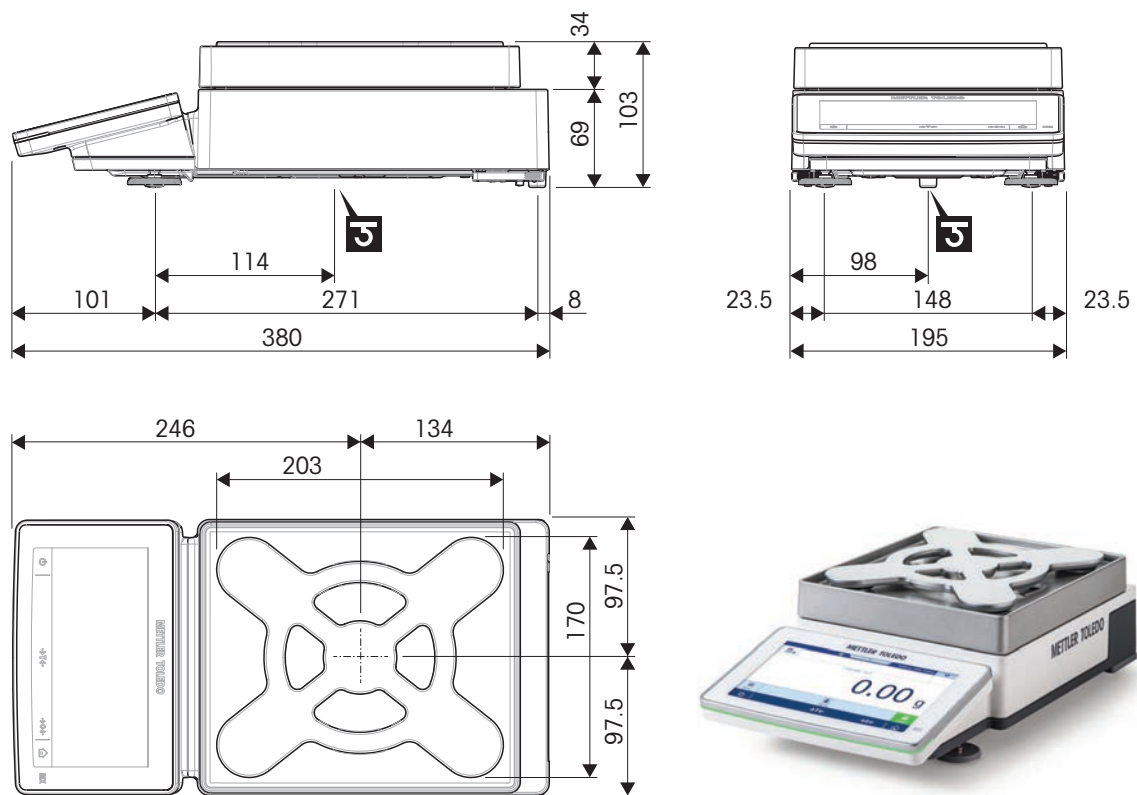
天びんモデル: MX303N、MX603N、MX1203N



↔	外形寸法 [mm]
◁→	クリアな寸法 [mm]
3	計量フック軸の位置

9.5.5 MX上皿天びん、最小表示0.01 g

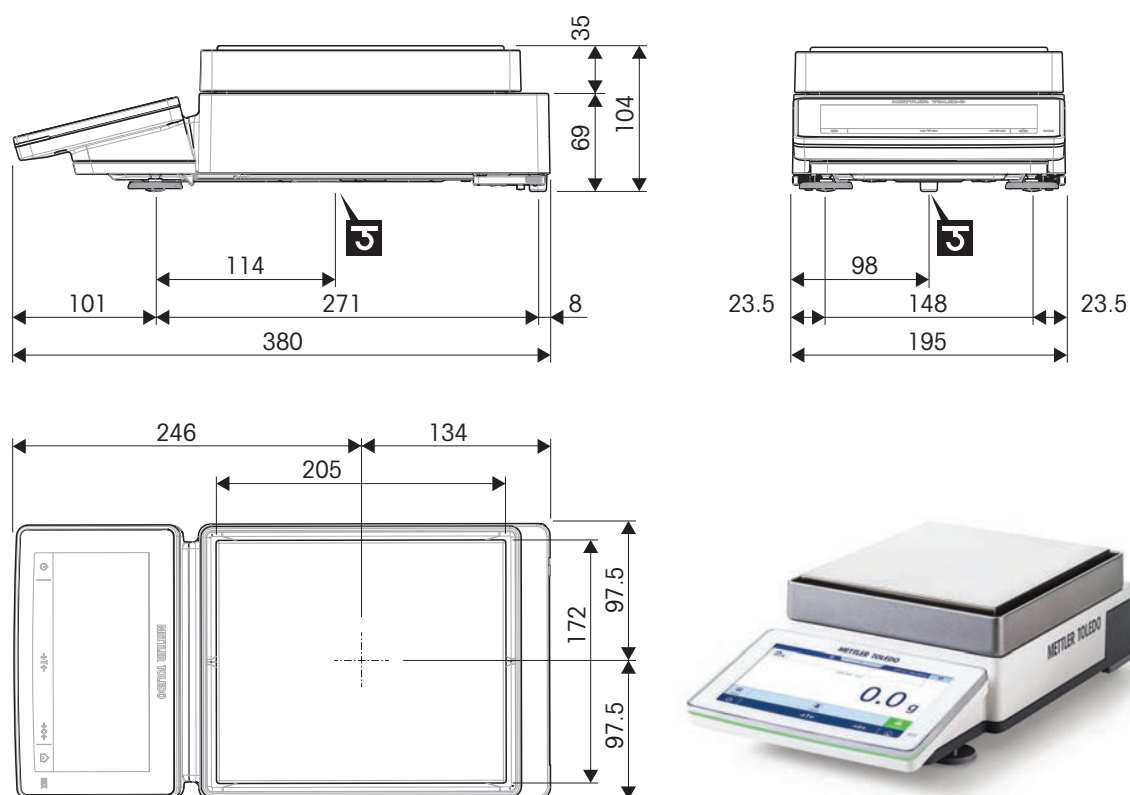
天びんモデル: MX2002、MX4002、MX6002、MX6002DR、MX12002



↔	外形寸法 [mm]
◁▷	クリアな寸法 [mm]
5	計量フック軸の位置

9.5.6 MX上皿天びん、最小表示0.1 g

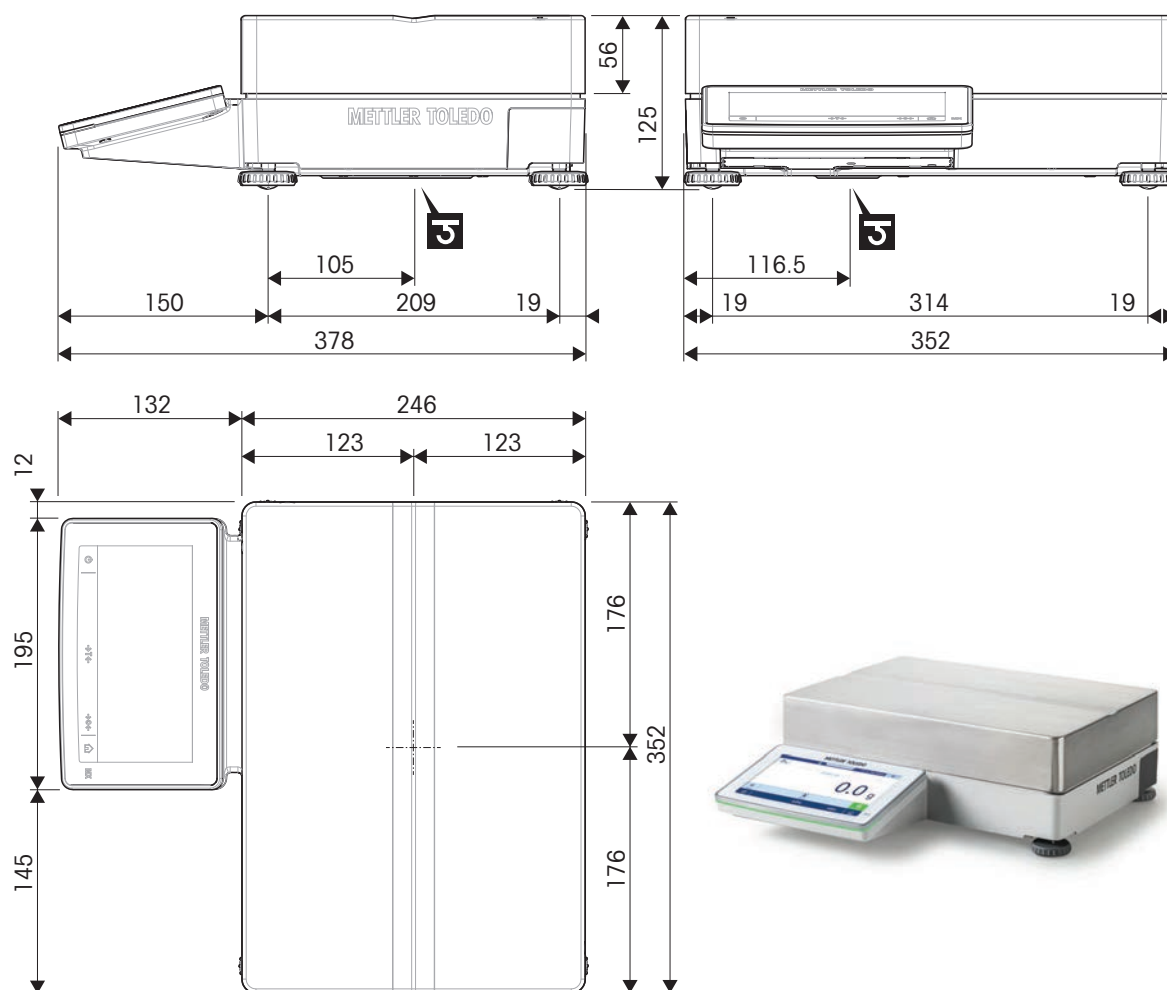
天びんモデル: MX6001, MX8001



↔	外形寸法 [mm]
◁▷	クリアな寸法 [mm]
3	計量フック軸の位置

9.5.7 MX大型天びん、最小表示0.1 g/1 g

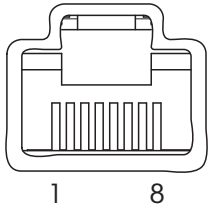
天びんモデル: MX12001L、MX16001L、MX32001L、MX32000L



↔	外形寸法 [mm]
↔	クリアな寸法 [mm]
J	計量フック軸の位置

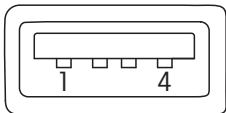
9.6 インターフェース仕様

9.6.1 イーサネット

図	項目	仕様	
	スタンダード	Ethernet 10/100 Base-T	
	ピン配置	1	TX+ (送信データ +)
		2	TX- (送信データ -)
		3	RX+ (受信データ +)
		4	—
		5	—
		6	RX- (受信データ -)
		7	—
		8)	—

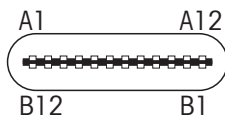
9.6.2 USB-Aポート

USB-Aポートは、プリンタやバーコードリーダーなどに天びんを接続するために使用できます。

図	項目	仕様	
	スタンダード	USB Specification Revision 2.0に準拠	
	速度	フルスピード 12 Mbps (シールドケーブルが必要)	
	消費電力	最大 500 mA	
	コネクタ	Type A	
	ピン配置	1	VBUS (DC+5 V)
		2	D- (Data -)
		3	D+ (Data +)
		4	GND (グラウンド)
	シエル	シールド	

9.6.3 USB-Cポート

USB-Cポートは、コンピュータなどに天びんを接続するために使用できます。



項目	仕様					
スタンダード	USB Specification Revision 2.0に準拠					
速度	フルスピード 12 Mbps（シールドケーブルが必要）					
消費電力	最大 500 mA					
コネクタ	Type C					
ピン配置	A1	GND		B12	GND	
	A4	VBUS		B9	VBUS	
	A5	CC1		—	—	
	A6	Dp1		B7	Dn2	
	A7	DN1		B6	Dp2	
	—	—		B5	CC2	
	A9	VBUS		B4	VBUS	
	A12	GND		B1	GND	

9.6.4 Bluetooth

項目	仕様
接続	USB 2.0（バスパワーデバイス）
周波数	2.4 GHz（2.4 GHz～2.4835 GHz）および5 GHz（5.15 GHz～5.825 GHz）
スペクトラム拡散	FHSS
データ転送レート	基本レート 1.1 Mbpsおよび1.3 Mbps
ワイヤレス規格	v2.1 + EDR/v3.0/v3.0 + HS/v4.2
セキュリティ	シンプルペアリング
ネットワークアーキテクチャ	Piconet、Scatternet
Tx出力電力	最大7.8 dBm
Rx感度	1 Mbps時 -89 dBm、2 Mbps時 -90 dBm、3 Mbps時 -83 dBm
接続範囲（屋外）	最大100 m
動作チャンネル	0～78

10 アクセサリとスペアパーツ

10.1 アクセサリ

アクセサリは、ワークフロに役立つ追加コンポーネントです。

計量皿

	計量皿 • 0.01 mgモデルに対応 • ø 80 mm	30938253
	計量皿 • 0.1 mgモデルに対応 • ø 90 mm	30938254
	計量皿 • SmartPan (pro) 計量皿 127 x 127 mmに対応 • 128 x 128mm	30215433
	計量皿 • SmartPan (pro) 計量皿 170 x 203 mmに対応 • 172 x 205 mm	30215056

静電気除去装置

	汎用静電気除去装置 • 質量測定サンプルや風袋容器から静電気を除去 • 内容物: 大型U字型電極（設置説明書付き）、高電圧電源（ユーザーマニュアルと国別電源ケーブル付き）	11107767
	高電圧電源 • 最大2つのU字型電極に対応 • 対応機種: 大型U字型電極、小型U字型電極 • 内容物: 国別電源ケーブル、ユーザーマニュアル	11107766

	大型U字型電極 - 質量測定サンプルや風袋容器から静電気を除去 - 容量結合コネクタ付き高電圧ケーブル	11107764
	U字型イオナイザー電極（小型） - 質量測定サンプルや風袋容器から静電気を除去 - 容量結合コネクタ付き高電圧ケーブル	11140161
	イオナイザーASK350 計量サンプルや風袋容器から少量の静電気を除去	30893023
密度測定		
	密度測定キット 固体の重量密度測定	30706714
	温度計、校正済み - 密度測定用 - 内容物：ホルダー、校正証明書	11132685
プリンタ		
	プリンタUSB-P25 印字技術: ドットマトリックス	30702998

	P-52RUEプリンター 30237290 印字技術: ドットマトリックス
	ロール紙、粘着紙、ドットマトリクス印刷 11600388 - 対応機種: ドットマトリックスプリンタ 3ロール
	ロール紙、標準紙、ドットマトリクス印刷 72456 - 対応機種: ドットマトリックスプリンタ 5ロール
	リボンカートリッジ 65975 - 対応機種: ドットマトリックスプリンタ - 内容物: 2個
盗難防止ワイヤ	
	盗難防止ケーブル 11600361
ハンズフリーアクセサリ	
	フットスイッチ 30312558 ハンズフリー風袋引き、ゼロ点設定、印刷

バーコードリーダー

	バーコードリーダー 1D Gryphon GD4220 30417466 • バーコードをスキャンし、解読した情報を接続されたデバイスに送信 • インターフェース: USB-A
---	---

ケーブル

	USB-A (メス) - USB-C (オス) ケーブル 30893021 • 機器とUSB-A周辺装置間のデータ転送 • 長さ: 0.16 m
---	---

	USB-C (m) - USB-A (m) 30893022 • 機器とパソコン間のデータ転送 • 長さ: 1.5 m
---	--

	USB-A (メス) - USB-B (オス) ケーブル 30241476 • 機器と周辺装置間のデータ転送 • 長さ: 1m
---	--

	RS232 (メス) - USB-A (オス) ケーブル 30576241 • 天びんと周辺装置間のデータ転送 • 長さ: 1.7m
---	---

	ケーブル RS232 (m) - USB-A (m) 64088427 • 機器と周辺装置間のデータ転送 • 長さ: 2m
---	--

無線インターフェース

	BluetoothアダプタADP-BT-S、単品 30086494 • 機器と周辺装置間のBluetooth接続を確立
---	---

	Bluetooth/Wi-FiコンビアダプタLM842 30893006 機器と周辺装置間のBluetooth/Wi-Fi接続を確立
	Bluetooth/Wi-FiコンビアダプタLM842、米国 30893005 機器と周辺装置間のBluetooth/Wi-Fi接続を確立
ソフトウェア	
	LabX Cloudライセンス、データ 31095433 - 機器制御およびデータ管理ソフトウェアのライセンス - データと結果の管理 - 内容物：機器1台につき1ライセンス
	LabXクラウドライセンス、一元管理 31095432 - 機器制御およびデータ管理ソフトウェアのライセンス - データと結果の管理、ユーザ管理、ワークフローの一元管理 - 内容物：機器1台につき1ライセンス
	LabX Cloudライセンス、規制対象 31095434 - 機器制御およびデータ管理ソフトウェアのライセンス - データと結果の管理、ユーザ管理、ワークフローの一元管理、21 CRF part 11、EU Annex 11対応、監査証跡、電子署名、データの完全性/ALCOA++ - 内容物：機器1台につき1ライセンス
	LabXクラウドライセンス、データの一元化へのアップグレード 31095431 - 機器制御およびデータ管理ソフトウェアのライセンス - データと結果の管理、ユーザ管理、ワークフローの一元管理 - 内容物：機器1台につき1アップグレードライセンス
	LabX Cloudライセンス、一元化から規制対象へのアップグレード 31095371 - 機器制御およびデータ管理ソフトウェアのライセンス - データと結果の管理、ユーザ管理、ワークフローの一元管理、21 CRF part 11、EU Annex 11対応、監査証跡、電子署名、データの完全性/ALCOA++ - 内容物：機器1台につき1アップグレードライセンス

調整用分銅



分銅

- 計量機器のルーチン試験と校正用
- さまざまな精度クラスで利用可能
- 校正証明書付き (OIML/ASTM)

▶ <https://www.mt.com/weights>

ダストカバー



ダストカバー

30893018

- 使用していないときは、機器を埃から保護してください
- 半透明
- 対応製品：風防付き小型天びんモデル
- 材質：PVC



ダストカバー

30893019

- 使用していないときは、機器を埃から保護してください
- 半透明
- 対応製品：小型天びんモデル、風防なし
- 材質：PVC

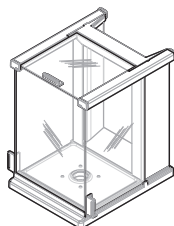
風防



外部風防

30706715

- 気流から保護し、測定の正確度を維持
- ドア：ガラス；フレーム：アクリル、アルミニウム
- 対応機種：天びんモデル、小型、風防なし
- 内寸：長さ：228 mm、幅：190 mm、高さ：309 mm；外形寸法：長さ：304 mm、幅：233 mm、高さ：331 mm



風防

30938251

- 気流や埃から保護し、測定精度を維持
- 1 mg MX天びんに対応

その他



EasyHub USB

30468768

- 最大4台の周辺装置を接続
- ホスト用インターフェース: USB-B

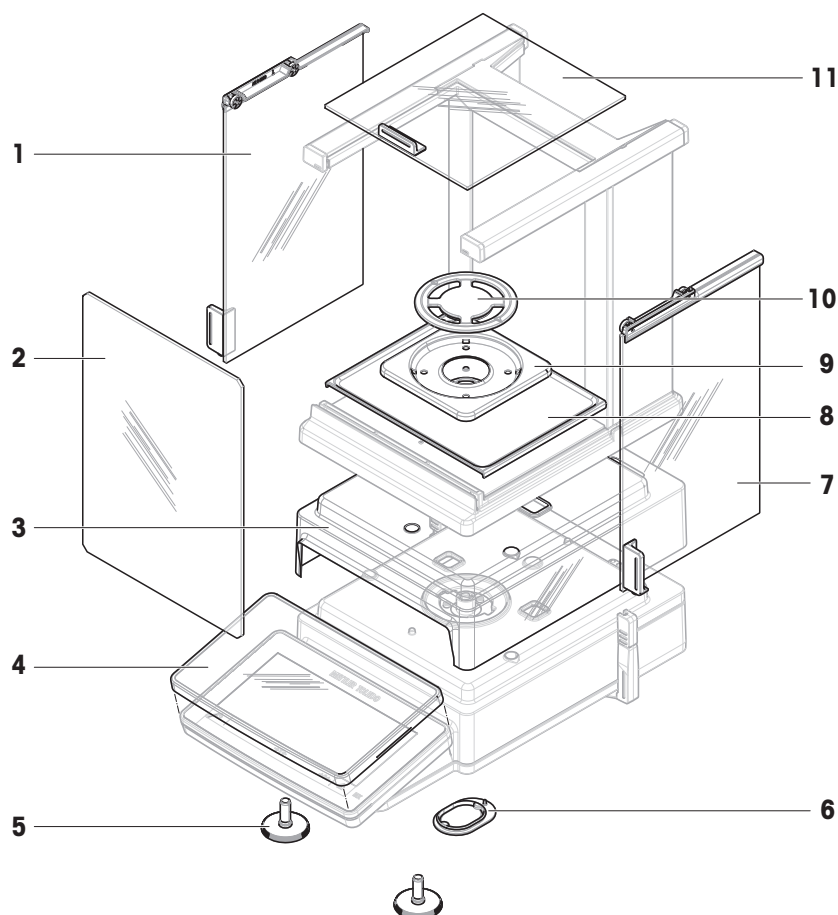
	SmartPrep計量容器 30061260 - 粉体物質の計量用 - 内容物: 50個
	保護カバー 30106207 - 計量皿を保護 - 計量皿172 x 205 mmに対応 172 x 205mm
	ピペッティング容器 50 ml 30215436 ピペット校正時の蒸発を最小限に抑える

10.2 スペアパーツ

スペアパーツは、元の機器と一緒に納品される部品です。ただし、必要に応じて、サービス技術者のサポートを受けずにこれを交換できます。

10.2.1 MX分析天びん、最小表示 0.01 mg

天びんモデル: MX105、MX105DU、MX205DU

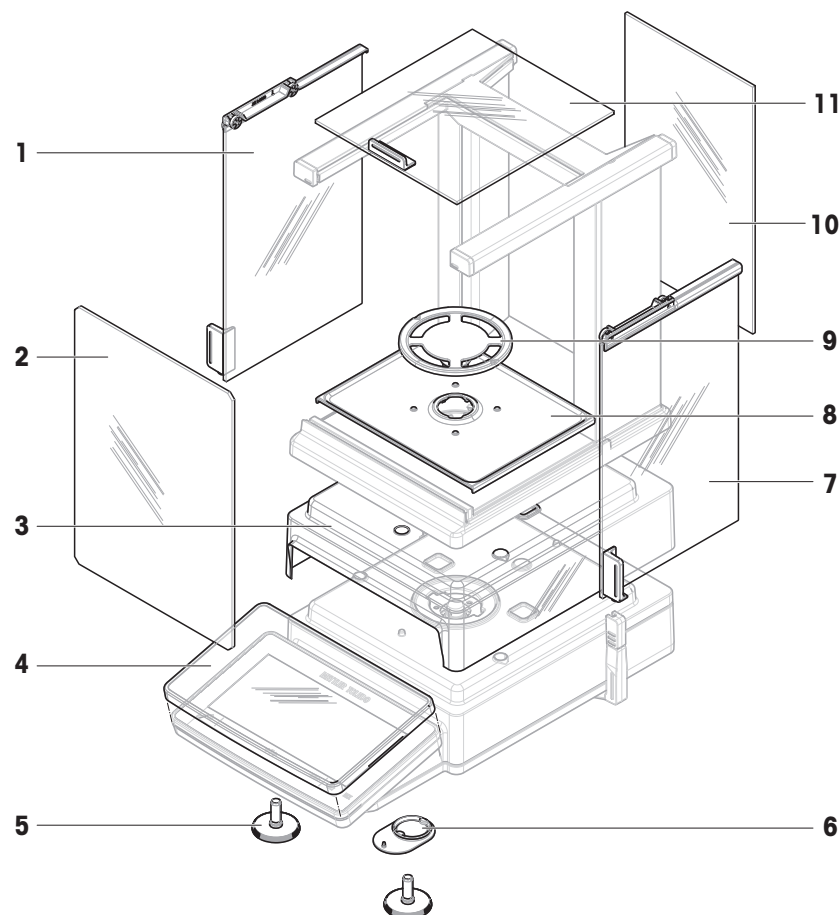


	注文番号	指定	備考
1	30706612	左ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
2	30706614	フロントパネル	材質: ガラス製
3	30706654	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン
7	30706613	右ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
8	30706618	ドリップトレイ	—
9	30706646	風防エレメント	—

	注文番号	指定	備考
10	30706631	計量皿 ø 80 mm	内容物: 計量皿サポート
11	30706611	上部ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル

10.2.2 MX分析天びん、最小表示 0.1 mg

天びんモデル: MX104、MX204、MX304

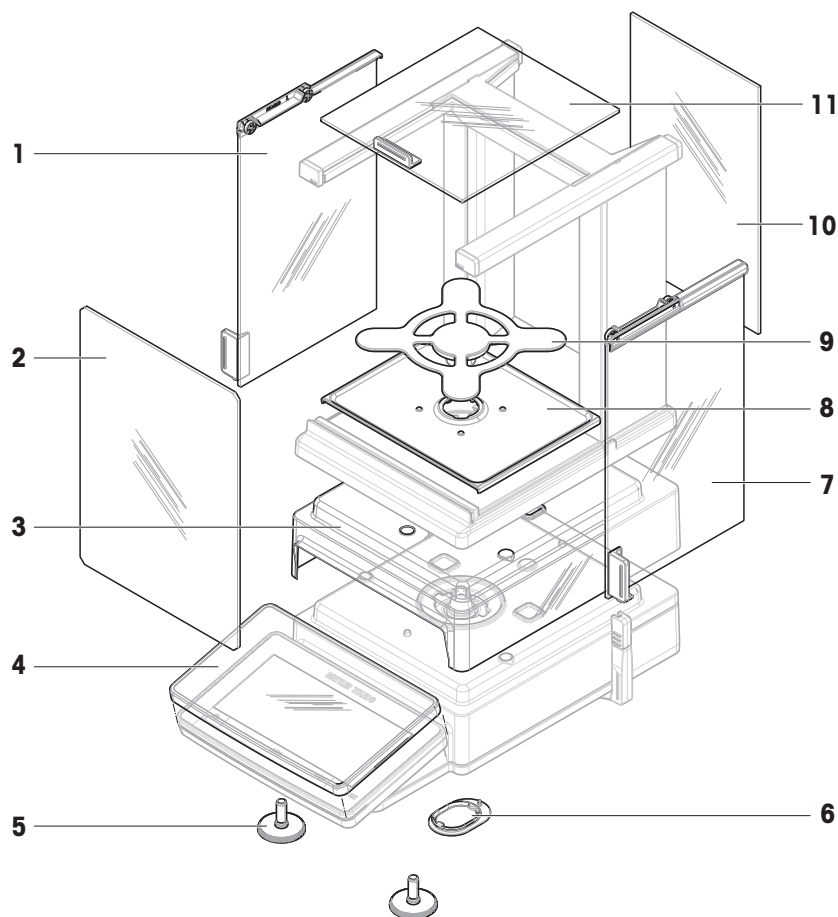


	注文番号	指定	備考
1	30706612	左ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
2	30706614	フロントパネル	材質: ガラス製
3	30706655	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン
7	30706613	右ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
8	30706618	ドリフトトレイ	—

	注文番号	指定	備考
9	30706632	計量皿 ϕ 90 mm	内容物: 計量皿サポート
10	30706615	背面パネル	材質: 不透明ガラス
11	30706611	上部ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル

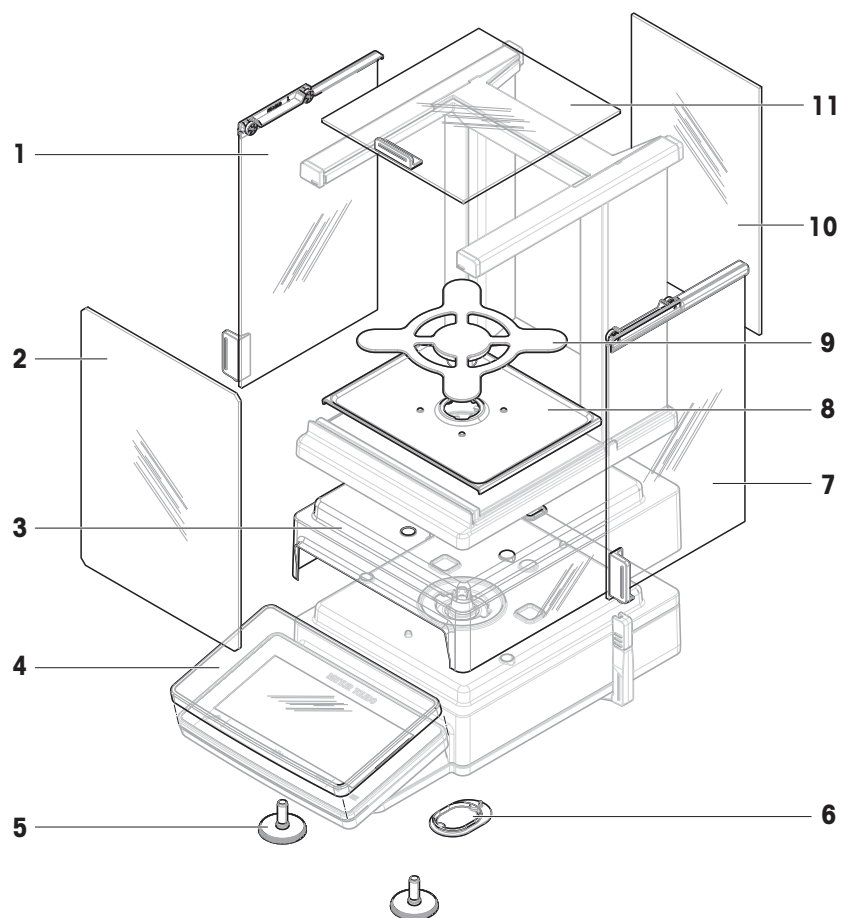
10.2.3 MX上皿天びん、最小表示1 mg、風防付き

天びんモデル: MX303, MX603



	注文番号	指定	備考
1	30706612	左ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
2	30706614	フロントパネル	材質: ガラス製
3	30706655	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン
7	30706613	右ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル

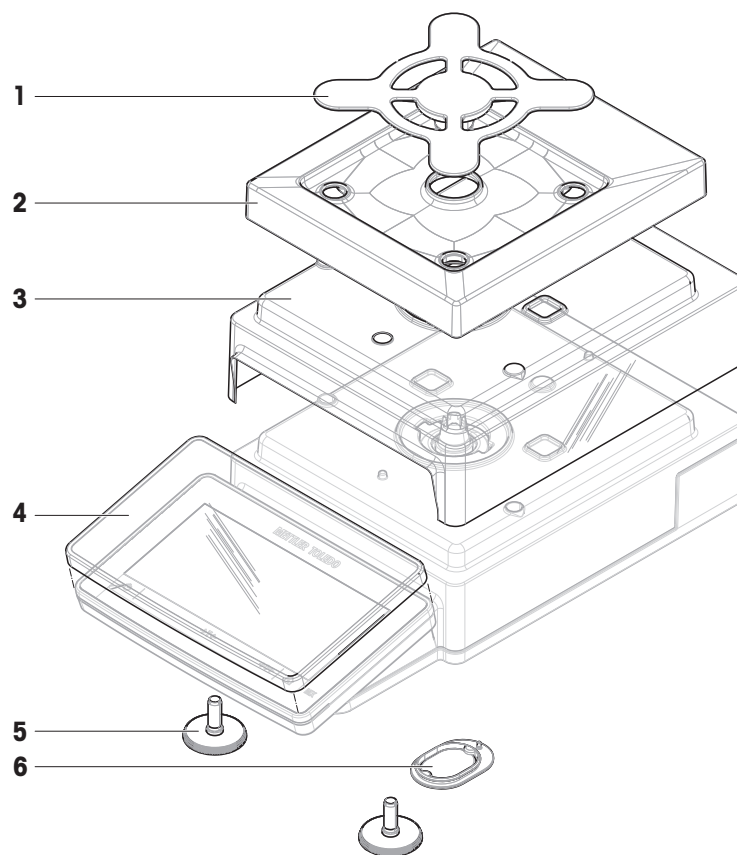
	注文番号	指定	備考
8	30706618	ドリップトレイ	—
9	30706633	SmartPan、計量皿	128 × 128 mm
10	30706615	背面パネル	材質: 不透明ガラス
11	30706611	上部ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル



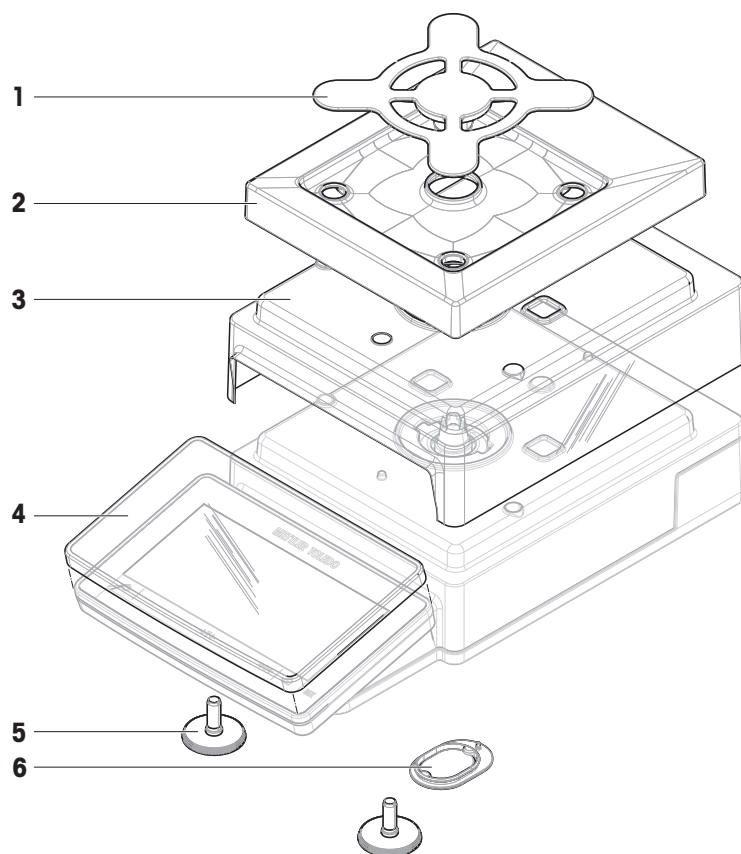
	注文番号	指定	備考
1	30706612	左ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
2	30706614	フロントパネル	材質: ガラス製
3	30706655	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン
7	30706613	右ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル
8	30706618	ドリップトレイ	—
9	30706634	SmartPan、計量皿	128 × 128 mm
10	30706615	背面パネル	材質: 不透明ガラス
11	30706611	上部ドア	材質: ガラス製。以下を含む。ドアハンドル

10.2.4 MX上皿天びん、最小表示 1 mg、風防なし

天びんモデル: MX303N, MX603N



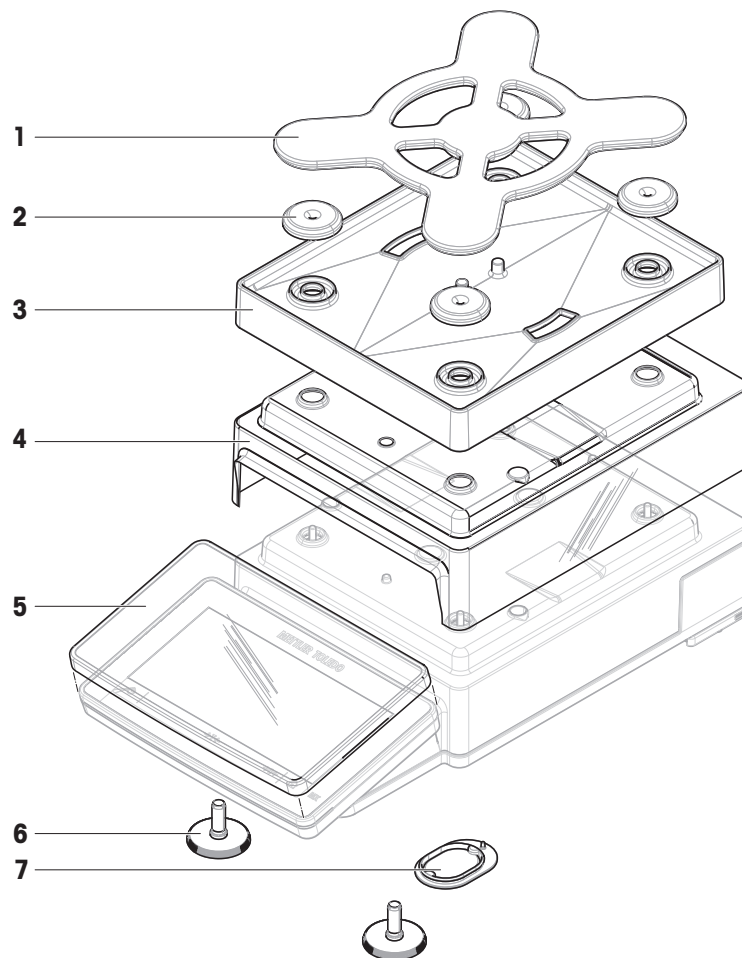
	注文番号	指定	備考
1	30706633	SmartPan、計量皿	128 × 128 mm
2	30706648	ドリップトレイ	—
3	30706655	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物：2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン



	注文番号	指定	備考
1	30706634	SmartPan、計量皿	128 × 128 mm
2	30706648	ドリップトレイ	—
3	30706655	保護カバー	プラットフォーム用
4	30706652	保護カバー	端子用
5	30104835	水平調整脚	内容物：2 個
6	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン

10.2.5 MX上皿天びん、最小表示0.01 g

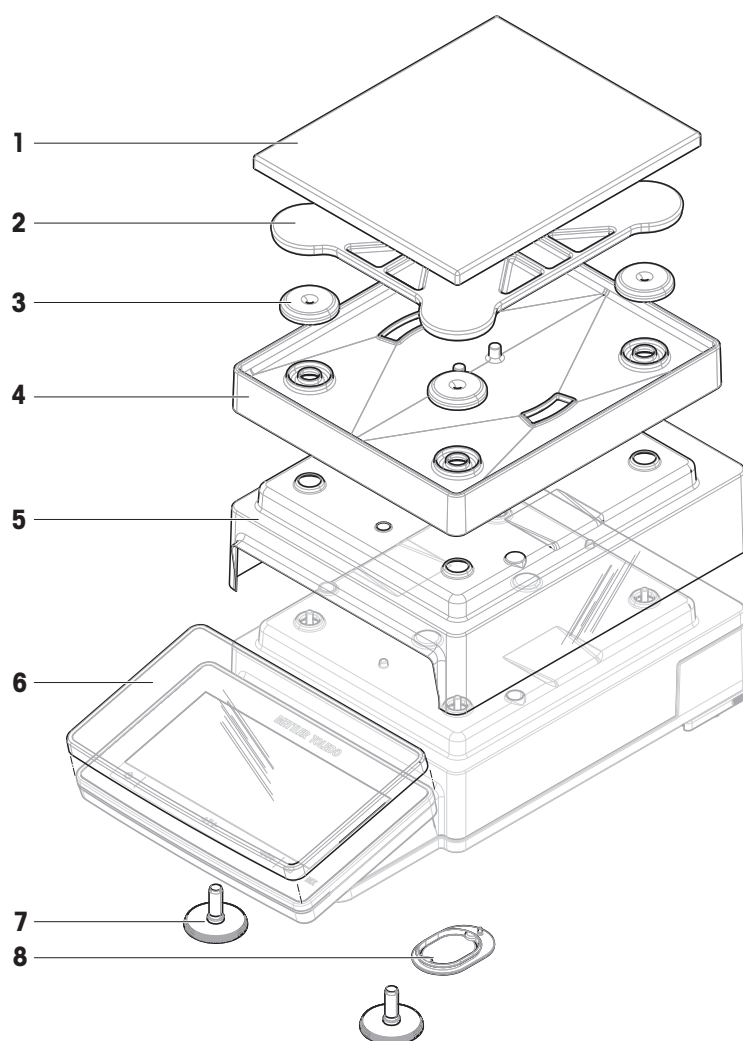
天びんモデル: MX2002、MX4002、MX6002、MX6002DR、MX12002



	注文番号	指定	備考
1	30706635	SmartPan、計量皿	170 × 203 mm
2	30706651	キャップ、計量皿サポート	内容物: 4個
3	30706649	ドリップトレイ	–
4	30706653	保護カバー	プラットフォーム用
5	30706652	保護カバー	端子用
6	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
7	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン

10.2.6 MX上皿天びん、最小表示0.1 g

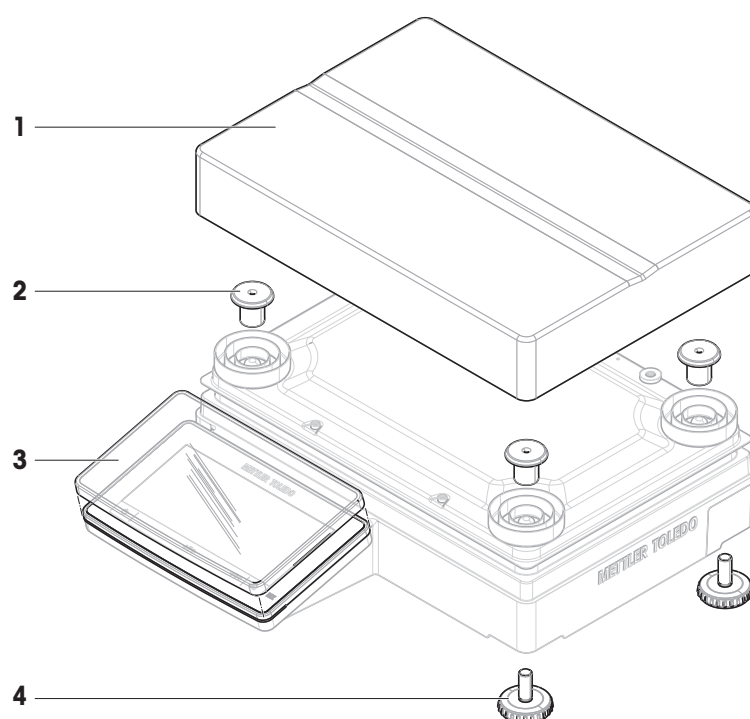
天びんモデル: MX6001, MX8001



	注文番号	指定	備考
1	30215056	計量皿	172 × 205 mm
2	30706645	計量皿サポート	—
3	30706651	キャップ、計量皿サポート	内容物: 4個
4	30706649	ドリップトレイ	—
5	30706653	保護カバー	プラットフォーム用
6	30706652	保護カバー	端子用
7	30104835	水平調整脚	内容物: 2 個
8	30706724	カバー、計量フック	以下を含む。丸型カバー1個、楕円形カバー1個。材質: シリコン

10.2.7 MX大型天びん、最小表示0.1 g/1 g

天びんモデル: MX12001L、MX16001L、MX32001L、MX32000L

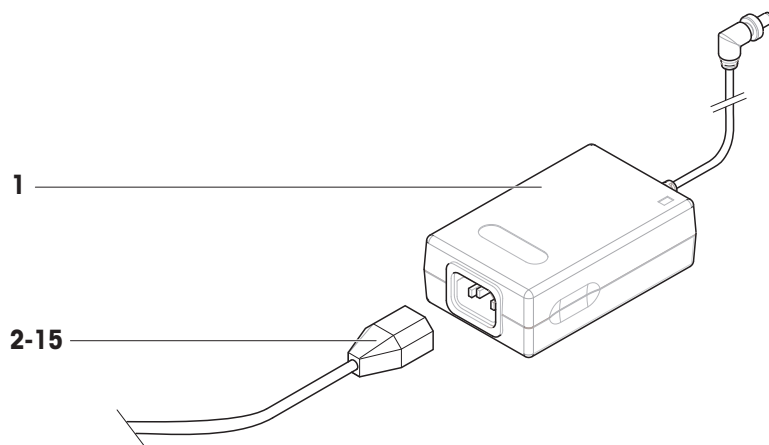


	注文番号	指定	備考
1	30849994	計量皿	246 × 252 mm
2	30849993	キャップ、計量皿サポート	内容物: 4個
3	30706652	保護カバー	端子用
4	30850018	水平調整脚	内容物: 4個

10.2.8 AC/DCアダプタ

10.2.8.1 AC/DCアダプタ

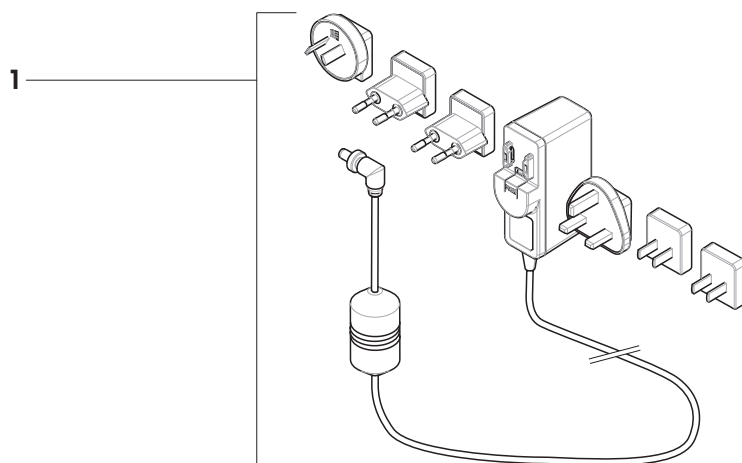
すべてのMX天びんモデルとの互換性あり。



	注文番号	指定	備考
1	11107909	AC/DCアダプタ	出力: 12 V、2.5 A
2	88751	電源ケーブル AU	—
3	30015268	電源ケーブル BR	—
4	87920	電源ケーブル CH	—
5	30047293	電源ケーブル CN	—
6	87452	電源ケーブル DK	—
7	87925	電源ケーブル EU	—
8	89405	電源ケーブル GB	—
9	225297	電源ケーブル IL	—
10	11600569	電源ケーブル IN	—
11	87457	電源ケーブル IT	—
12	11107881	電源ケーブル JP	—
13	11107880	電源ケーブル TH、PE	—
14	88668	電源ケーブル US	—
15	89728	電源ケーブル ZA	—

10.2.8.2 AC/DCアダプタ、ユニバーサル

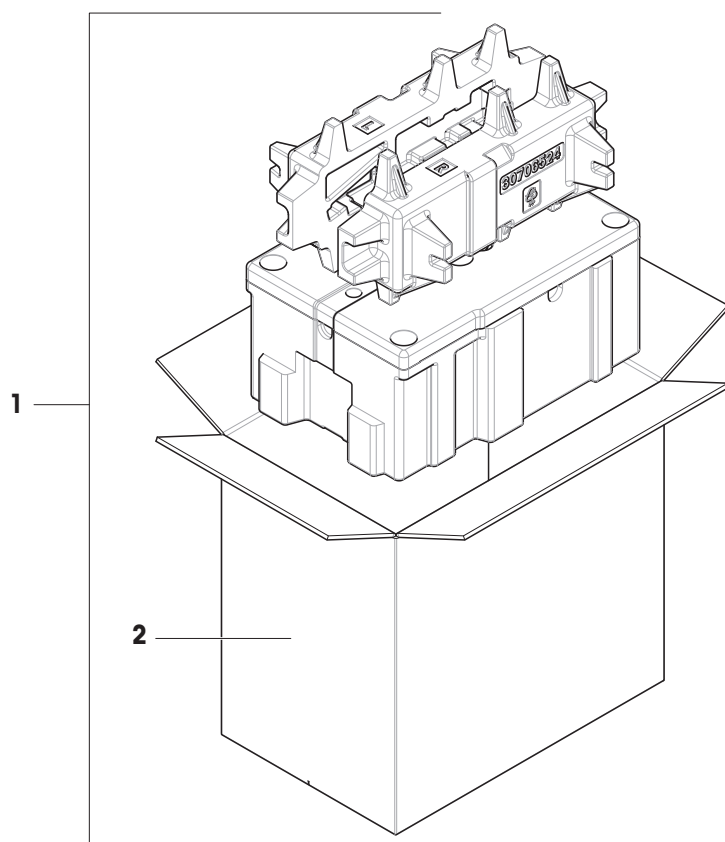
ほとんどのMX天びんモデルにとの互換性あり。以下の天びんモデルには対応していません：
MX105、MX105DU、MX205DU、MX104、MX204、MX304



	注文番号	指定	備考
1	30850039	AC/DCユニバーサルアダプタ	出力：12 V、1.5 A；内容物：6プラグ（EU、UK、US、AU、CN、KR）

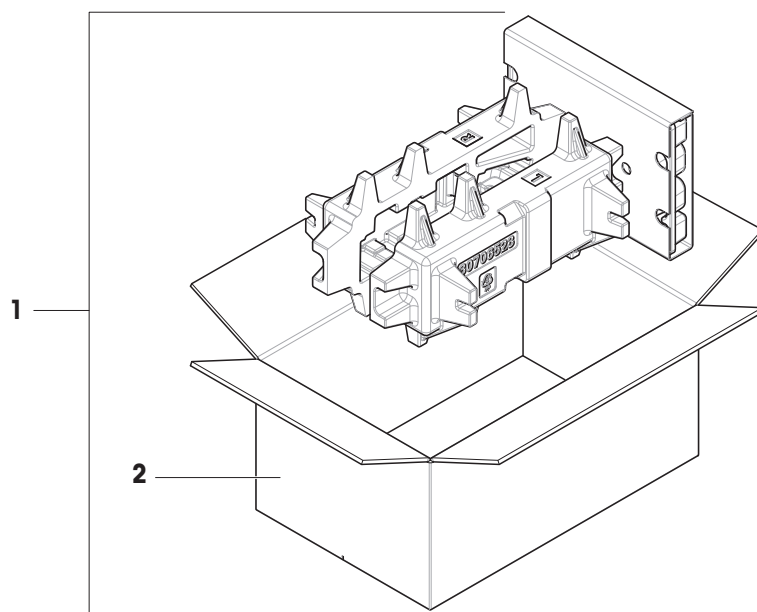
10.2.9 パッケージング（梱包）

10.2.9.1 風防を備えた天びん



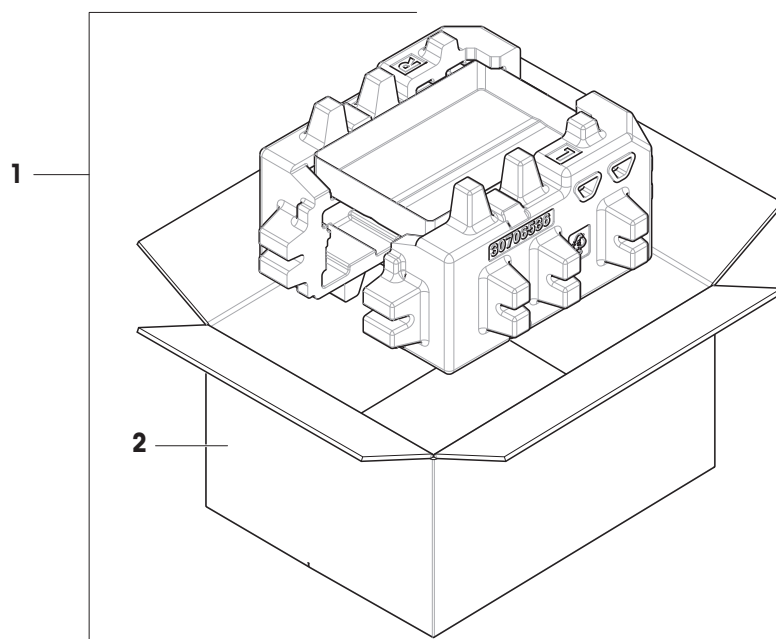
	注文番号	指定	備考
1	30706728	梱包	内容物: 輸出用梱包箱、内部保護材
2	30706731	輸出用梱包箱	以下を除く。内部保護材

10.2.9.2 風防の無い天びん



	注文番号	指定	備考
1	30706729	梱包	内容物: 輸出用梱包箱、内部保護材
2	30706732	輸出用梱包箱	以下を除く。内部保護材

10.2.9.3 天びん、大型



	注文番号	指定	備考
1	30706730	梱包	内容物: 輸出用梱包箱、内部保護材
2	30706733	輸出用梱包箱	以下を除く。内部保護材

11 廃棄

電気・電子機器廃棄物（WEEE）に関する欧州指令2012/19/EUに従い、本機器を一般廃棄物として処分することはできません。これはEU以外の国々に対しても適用されますので、各国の該当する法律に従ってください。



本機器は、各地域の条例に定められた電気・電子機器のリサイクル回収所に廃棄してください。ご不明な点がある場合は、行政の担当部署または本機器を購入した販売店にお問い合わせください。本機器を他方当事者に譲渡する場合は、この指令の内容も譲渡する必要があります。

12 コンプライアンス情報

FCCサプライヤ適合宣言書といった国家承認文書はオンラインで入手可能または/およびパッケージに含まれています。

▶ www.mt.com/ComplianceSearch

機器の各国固有のコンプライアンスに関する質問については、METTLER TOLEDOにお問い合わせください。

▶ www.mt.com/contact

索引

あ

ID	53
アドミニストレータ	
LabX	36, 84
ローカル	36
アプリケーション	
一般計量	56
計量	51
合計	62
個数計算	57
差分計量	64
チェック計量	58
調合	60
動物計量	59
バック計量	63
密度	63
安全性について	13

い

イーサネット	71, 86, 96, 147
EULA	34
印刷	
保存	56
インストール	
使用開始	33
インターフェイス	
イーサネット	71, 86, 96, 147
Bluetooth	72, 96
インターフェース	
USB A	167
USB C	168

う

ウォームアップ	
時間	150
運搬	
近距離	40
長距離	41

え

AC/DCアダプタ	149, 151
エルゴドア	
ハンドル	21, 38

お

音声	
端子	94
温度	149
ウォームアップ時間	150
順応時間	150

か

開梱	
天びん	28
外部	
機器	73, 97
精度調整(標準化)	67
概要	
機器情報ラベル	22
端子	19
カバー	
保護	21
画面明るさ	94
環境条件	28, 149
感度テスト	
実行	69
感度点検	
設定	126

き

キーボードフォイル	77
機器情報ラベル	
概要	22
機器	
キーボードフォイル	77
周辺	73, 97
設定編集	78
バーコードリーダー	76

フットスイッチ	77
プリンタ	73
記号	9
警告	13
許容値	52

く

QuickLock	
風防ドア	22
風防	21
繰返し性テスト	
設定	128
繰返し性テスト	
実行	70

け

警告記号	13
計量	
ロット	54
計量皿	20
計量	
アプリケーション	51
設定	54
プロファイル	47

こ

混合試験荷重	50
合計	62
高度	149
個数計算	57
コンプライアンス情報	191
梱包	
天びん	41

さ

サービス	
ファイルサーバー	79
材料	150
差分計量	64
サンプルID	53

し

時間	
ウォームアップ	150
順応	150
しきい値	106
試験荷重	50
実行	
感度テスト	69
繰返し性テスト	70
偏置誤差テスト	71
湿度	149
自動化	55
重量	
ターゲット	52
順応	
時間	150
省電力	19, 35, 36
消費電力	
天びん	149

す

スイッチ ON/OFF	36
水平調整ガイド	87
水平調整脚	21
据付	
場所	28
据付場所	28
スタンバイ	19, 35, 36
StatusLight	21, 94
寸法	160

せ

接続解除	
LabX	147
接続	
LabX	36
設定	
アドミニストレータ	84
感度テスト	126
繰返し性テスト	128

計量	54
精度調整(標準化)	124
テスト	126
偏置誤差テスト	130
保存	56
LabX	146
ゼロ点設定	19
そ	
ソフトウェア	
バージョン	9
た	
ターゲット分銅	52
端子	21
音声	94
概要	19
画面明るさ	94
StatusLight	94
ち	
チェック計量	58
調合	60
精度調整(標準化)	66
方法	66
調整	
外部	67
設定	124
内部	35, 67
水平	139
て	
テスト	68
編集	68
試験	
設定	126
点検用分銅	50
電源	
AC/DCアダプタを参照	149
天びん	
ブロック	83
ブロック解除	83

と	
ドア	
エルゴドアハンドル	21, 38
ハンドル	20, 21, 38
ロック	22
統計	54
動物計量	59
ドラフト保護	20
ドリフトトレ	20
な	
内部	
調整	35, 67
は	
バーコードリーダー	76
廃棄	190
パスワード	
リセット	83
バック計量	63
範囲	
許容値	52
ひ	
光	
StatusLight	94
表示規則	9
ふ	
ファイルサーバー	79
風防ドア	
QuickLock	22
風防パネル	
リリースボタン	22
風袋引き	19
風防	19
QuickLock	21
フットスイッチ	77
プリンタ	73
Bluetooth	72, 96
ブロック	83

ブロック解除	83
プロファイル	
計量	47
分銅	
点検用分銅	50

へ

調整	
編集	66
偏置誤差テスト	
実行	71
設定	130

ほ

方法	
精度調整(標準化)	66
保護カバー	21
保存	
印刷	56
設定	56
天びん	41

み

密度	63
----	----

む

無効化	
LabX	147

め

メソッド	
削除	52
作成	52
追加	51

ゆ

USB	167, 168
機器を参照	73, 97
床下計量	42

ら

LabX	36, 147
アドミニストレータ	36, 84

設定	146
無効化	147
ローカルアドミニストレータ	36

り

リセット	
パスワード	83
リリースボタン	
風防パネル	22
履歴	84, 88

る

ルーチン試験	68
--------	----

れ

レベル	
インジケータ	24
水平調整ガイド	87
水平調整脚	21
天びん	34
水平	
調整	139

ろ

ローカルアドミニストレータ	36
ログアウト	38
ログイン	38
ロック	
ドア	22
ロット	54

いつまでもベストコンディション

メトラー・トレドのサービスによって、
長年に渡りその品質と測定精度、価値
の維持を保証させていただきます。

弊社の魅力的なサービスの全詳細に
ついて是非お問い合わせください。

▶ www.mt.com/service

www.mt.com/MX-balances

詳細はこちらをご覧ください

Mettler-Toledo GmbH

Im Langacher 44
8606 Greifensee, Switzerland
www.mt.com/contact

技術的な変更が加えられる可能性があります。
© 08/2025 METTLER TOLEDO. 無断転載を禁じます。
31068514A ja



31068514